

第五十六回帝國議會
衆議院

競馬法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
競馬法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年二月八日(金曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 内野辰次郎君

理事 今井 健彦君

理事 野中 徹也君

理事 志村清右衛門君

中川原貞機君 中島 鵬六君

土井 權大君 鈴木 巖君

坂本志魯雄君 丹下茂十郎君

木村 秀興君 平川松太郎君

菅村 太事君 田中千代松君

小山倉之助君 佐藤 與一君

同月六日委員林路一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ石射文五郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月七日委員川島正次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木巖君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 山口 義一君

陸軍參與官 八田 宗吉君

陸軍少將 杉山 元君

農林政務次官 東 武君

農林參與官 砂田 重政君

農林省畜產局長 戸田 保忠君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍騎兵中佐 濱田 陽兒君
農林技師 横屋 潤君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
競馬法中改正法律案(政府提出)

○内野委員長 只今カラ開會ヲ致シマス

○土井委員 一寸議事進行ニ關シテ御相談シテ戴キタイノデスガ、此審議ヲ今日ト、ソレカラ次回ニ一回、二回デ切上グルヤウナコトニシテ戴イタラ宜カラウト思ヒマス、ソレデ今日ハ原則トシテ質問ヲ打切ル、但シ今日ニ於テ若シ質問漏ガアリマシタナラバ、第二日ニ於テ其質問ヲ致シマシテ、二日ノ時ニハ討論ナリ、採決ナリニ移ッテ戴キタイ、斯ウ云フ風ニ大體豫定ヲ決メテ置イテ戴キタイ

○内野委員長 土井君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○内野委員長 御異議ナケレバ左様ニ決定致シマス

○菅村委員 此問題ノ根本ニ於テ大藏大臣ノ言明ヲ得タイノデスガ、本日御出デガナケレバ、私ノ質問ヲ留保シタイト思ヒマス

○内野委員長 是非今日大臣ノ御出席ヲ願ヒマセウ、尙農林大臣ハ本日ハ貴族院ニ出ラレ、コッチニ見エマセヌ、大

臣ニ對スル質問ガアリマスレバ、此次ニ保留シテ下サイ

○菅村委員 私ハ政府委員ニ御尋シタイノデスガ、先ヅ第一ニ御尋シタイノデスガ、此產馬改良ノ事柄ハ言ウマデモナク明治二十七年、八年ノ戰役ニ際シテ、日本ノ馬ノ甚ダ不良デアッタコトガ、軍隊ノ活動ニ非常ナル支障ヲ來シタト云フ

ノ改良シテ軍隊ノ活動ヲ助クベキモノデアルカ、軍隊ノ活動ハ馬ニ在ルト云フヤウナ聲ガアリマシテ馬匹調査會ト云フモノガ出來テ、其馬匹調査會ノ決議ニ基キマシテ、所謂馬ノ改良ヲスルノニハ先ヅ產馬改良ヲ致スコトニア

ルノデアリマス、此產馬改良ヲ致シマスノニハ、ドウシテモ外國種ノ馬ヲ入レル、詰リ血液ノ系統ヲ正シクシテ所謂軍隊ノ活動ヲ主トスベキ馬ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ、三十年計畫ノ案ヲ立テ、サウシテ先ヅ第一期ハ十八年、第二期ハ十二年間ト云フヤウニシテ、種馬ト云フモノハ總テ中間種ヲ以テ充當スルト云フ原則ヲ以テ著々今日マデ進ンダ、而シテ今日ニナツテ見マ

スルト云フト、極メテ良好ナル成績ヲ舉ゲツ、アルト云フコトハ、是ハ軍隊トシテモ亦生産者ニ取ッテモ洵ニ喜ブベキ状態ニナツテ居ルノデアリマス、而

シテ今日ハ既ニ第二期計畫ノ道程ニ在ルノデアリマスカラ、未ダ此產馬改良ガ初期ノ目的ヲ貫徹シタリト云フ所マデニハ到達シテ居リマセヌ、併ナガラ年々歳々馬ガ良クナツテ行クト云フコトハ明カナ事實ヲ示シテ居ル、ソコデ此馬ヲ改良シタ或ハ「サラブレッド」種デアルトカ、「ノルマン」種デアルトカ、或ハ「ギドラン」種トカ云フヤウナ優良馬ノ血液ガ充實シタ以上ハ、今度ハ馬ノ能率ト云フコトヲ高メナケレバナラヌト云フノガ、即チ今日ノ所謂競馬法デア

ル、是ハ馬ノ能率増進ト云フコトヲ試メス所ノ唯一ノ機關デアアルノデアリマス、此唯一ノ機關デアアル競馬ト云フコトガ、既ニ現行ノ競馬法ニ依テ公認競馬場トシテ十一箇所ノ競馬場ガアリマシテ、サウシテ之ニ對シテ弊害ノナイヤウニ、此間モ平川君ノ質問應答ニ依テ見マスルト、是等ハ博奕デアルトカ、賭博デアルトカ、或ハ富籤デアルトカ、其遣リ方ノ如何ニ依テハ甚シキ弊害ヲ起スモノデアアルガ、是ハ嚴重ニ取締ッテ、先ヅ馬ノ能力ノ測定ヲシテ、サウシテ一般同業者ニ獎メル、所謂馬事思想ノ普及發達ヲ圖ルト云フ唯一ノ機關デアアル、私モ此競馬ト云フモノハ唯娛樂的ニヤルモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ確信シテ居リマス、私ハ生産者ノ立場カラ考ヘマシテ、此競馬

ト云フコトヲ完全ニ發達サセテ、此馬ノ改良ノ一手段トシテ能クヤッテ行クト云フコトニ付テハ、極メテ好意ヲ持ッテ同意ヲ表シテ居ルモノデアリマス、併シ此現行ノ公認競馬場ヲ殖シテ行クト云フコトノ是非ニ付テハ、マダ考究ノ餘地ガアルト思ヒマスガ、是ハ意見ニナリマスカラ、追テ他ノ機會ヲ述ベルコトニ致シマスガ、先ヅ現在ノ公認競馬場ニ出場スル馬ハ多クハ「サラブレット」デアアル、即チ平地競走ニ於テ極メテ迅速デアアル、姿勢ガ宜シイ、斯ウ云フ獎勵方法ダケデハ、最初馬ヲ改良シヤウトシテ種馬牧場ヲ設ケ、或ハ種馬所ヲ置キ、サウシテ國有種ヲ以テ一般種馬ヲ充實サセテ本邦ノ馬ヲ改良シ、陸軍ノ要求スル馬ヲ充實サセルト云フ趣旨ニ反スルノデハナイカ、斯様ナ意見ヲ持ッテ居ル、現在ニ於ケル競馬ト云フモノハドウデアアルカト云フト、所謂娛樂ニ失シテ居ル、此競馬デ金ヲ儲ケル、斯ウ云フ趣旨ニ出ヅルト云フコトハ、此馬ヲ改良スル所ノ原則ニ悖ッテ居ルノデハナイカ、現在競馬ノ遣リ方ハ先以テ極メテ輕イ馬、即チ「サラブレット」デナケレバ競馬ニ出ルコトガ出來ナイト云フヤウナ感ジヲ、見ル人ノ方面カラ言ッテモ持ッテ居リ、又出走サセヤウトシテ登録スル人ノ頭モ其處ニアル、此一方ニ進ンデ行タナラバ、將來軍隊ヲ要求スル所ノ馬ハドウナルカ、此競馬ガ大正十三年ニ始メラレテ

以來、今年マデノ表ヲ見ルト非常ニ馬ガ殖エテ居ル、即チ登録馬數ニ於テモ大正十三年ハ一千六百七十八頭デアアルガ、昨年ハ四千二百九十頭ニ上ッテ居ル、而シテ出走馬數ト云フモノモ大分殖エテ來テ居リマスガ、出走馬數ガ登録馬數ノ半分ニモ充タナイト云フノハ何ガ爲メデアアルカ、此競馬法ニ依ルト何頭以上ト云フコトニナッテ居ルガ、一回ノ競馬ニ或ハ五頭モアリ、或ハ七頭モアリ、或ハ八頭モアル、所ガ極端ニ行クト一頭デ走ルコトガアル、是ハ何デアアルカト云フト、詰リ馬ノ能率ヲ試メス、即チ其「レコード」ヲ作ッテ、斯ウ云フ馬ハ斯様ナモノデアアルト云フコトヲ示スニ過ギナイ、「レコード」ヲ作ルト云フコトモ馬匹改良ノ一ツノ方法デアアル、所ガ一頭ノ馬ニハ馬券ハ要ラナイ、然ラバ馬ノ能率ヲ調ベルニ今日デモ斯ウ云フ方法ヲ採ッテ居ルナラバ、何モ馬券ヲ賣ッテ賭博的ナコトヲサセヌデモ宜イデハナイカ、而シテ登録馬ガ澤山アルノニ何故一匹駈ケサセテ「レコード」ヲ作ッテドウスルノデアアルカ、私共斯ウ云フコトハ甚ダ了解ニ苦ム、何トナレバ馬ハ何頭モ竝ベテ競走サセテ見テ、此馬ガ勝ッタトカ、負ケタトカ云フコトニ依テ其馬ヲ見ルノデアアルカラ、一匹ヲ駈ケサセテ「レコード」ヲ作レバ、ソレデ宜イト云フモノデハナイ、而シテ又國防上ノ關係カラ見テ、陸軍ガ要求スル馬ニモ色ミアリマセウガ、陸軍ノ

方ニ於テハ多クドウ云フ馬ヲ御要求ニナッテ居ルカ、只今御配付ニナッテ表ハ能ク熟讀致シマセヌケレドモ、大體ニ於テ馬ト云フモノハ陸軍ノ要求スルモノハ、乘馬ト輓馬ト駈馬ト大別シテ、而シテ其乗用ノ中ニモ「サラブレット」ノヤウナ將校用モ必要デアリ、又騎兵ノ要スル中間種モアル、又駈馬、輓馬ニ於テモ、或ハ砲兵用ノ輓馬モアリ、輓重兵用ノ輓馬モ必要デアアル、又輓重兵用ニハ駈馬ノ必要モアルガ、競馬獎勵ノ方カラシテ現在ノ遣リ方デ「サラブレット」種バカリヲ殖ヤシテ行ッたらドウナルカ、「サラブレット」種ヲ優良馬ナリトシテ此種類ヲ十分増シテ行ッテモ、ソレハ全部優良ナル馬バカリハ出來マセヌ、即チ優良ナル千兩ノ「サラブレット」種ニ頻繁ニ一萬圓ノ種馬ヲ掛ケテモ、必ズシモ優良馬バカリハ出來ナイ、其優良馬以外ニ出來タ馬ノ用途ハ、ソレコソ殆ド用途ガ無クナッテシマウ、サウナレバ折角是マデニ金ヲ掛ケテヤッタコトガ殆ド效力ガ見ラレナイヤウナ結果ニ終ルノデハナイカト考ヘマス、此點ニ付テ先ヅ陸軍省ノ意見ト、農林省ノ意見トヲ承リタイ

○砂田政府委員 菅村君ガ述ベラレタ如ク、我國ガ多年產馬計畫ニ付テ苦心努力ヲ拂ッテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、而シテ日本ノ馬ノ改良ヲ致シマスニ付テ「サラブレット」種、或ハ「アラブ」或ハ「アングロ・アラブ」種等ノ必要ナコトモ御説ノ通りデアリマス、競馬ト云フ方面カラ見テ、現在ノ日本ノ競馬ノ狀態ガ動モスレバ纖細菲薄ナル「サラブレット」種ノミニ偏スルト云フコトニ付テ、此狀態ヲ其儘進メテ行クコトハ甚ダ面白クナイ結果ヲ生ジハシナイカト云フ御説デアリマスガ、固ヨリ政府デモ此點ヲ心配シマシテ、今回改正案ヲ提出シタ理由モ其處ニ存スルノデアリマス、從來ノヤウニ競馬ガ「サラブレット」種ノ纖細菲薄ノ馬ノミガ出來ルト云フ弊ニ陥ラナイヤウニ、努メテ競走ノ距離ヲ長クシテ、負擔重量ヲ重クシテ參リマシテ、餘程其點ニハ、耐久力ノアル競馬ヲ行ハセルト云フコトニ常ニ努力シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、尙ソレダケヲ以テマシテモ日本ノ現在ノ實際ニ必要ナル、國防上ニ必要ナル軍馬、所謂中間種デアルトカ、或ハ輓馬デアアルトカト云フ種類ノモノニ對シテ、徹底シタル獎勵ガ出來ナイト云フコトヲ甚ダ遺憾ト致シテ居ルノデアリマス、ソレデ今回此改正ヲ致シマシテ、競馬場ヲ増加スルトニ致シマシタノモ、努メテ今回ノ競馬ニハ所謂「アングロ・アラブ」種走ヲヤラセル、ソレカラ速歩競走ヲヤラセル、障礙物競走ヲヤラセル、斯様ニ致シマシテ所謂實用ニ適スル馬ノ生産ヲ増加セシメ、之ヲ獎勵シテ行キタイ、斯様ナ趣旨デ今回ノ此改正案ヲ出シタ次第デアリマス、唯先刻御話ノ競馬デ「レコ

「ド」ヲ作ル爲ニ、一頭ダケヲ走ラセテ居ルデハナイカト云フコトデアリマシタガ、サウ云フ目的デ一頭ダケヲ「プログラム」ニ載セマシテ、走ラセルト云フコトヲ計畫シタコトハナイノデアリマス、唯「プログラム」中ニハ競走スベキ馬ヲ入レテ計畫ヲシマシテモ、非常ニ其間ニ差ガアリマス、所謂棄權ヲシテシマツテ、結局競走ヲスルト云フ時ニナリマシテ一頭ニナツテシマウト云フ結果ヲ見タコトハアルノデゴザイマスガ、始メヨリ一頭ダケノ「レコード」ヲ作ルト云フダケノ競馬ト云フモノハナイノデアリマス、其點ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ只今御質問ノ唯競馬ダケデナシニ、實用ニ適スルヤウナ馬ノ生産ヲ圖リ、ソレヲ助長スルト云フコトニ對シテハ、吾々モ十分其必要ヲ認メマシテ、今回ノ豫算ノ中ニハ是等ノ點ニ特ニ注意ヲ致シタノデゴザイマス、即チ其第一ハ所謂馬事振興費ト致シマシテ、更ニ今日ヨリモ種馬所ノ増設ヲ圖リタイ計畫デアアル、尙ホ馬ニ關スル諸種ノ施設ヲ行ヒマシテ、殊ニ最近ニ於キマシテハ、實用馬ト云フモノモ、動モスルト自動車デアルトカ、或ハ其他ノモノニ壓倒サレマシテ、都會地ナドニ於テハ馬ノ能率ヲ自由ニ發揮スルダケニ使用スルコトガ出來ナイヤウニ段々ニナツテ參リマシタ、ソレガ爲ニ其需要ガ減ルト云フコトハ、懸テ產馬ト云フモノ全體ニ影響ヲ及ボシ

テ來ルコト、考ヘマシテ、是等ノ點モ一律ニ馬ノ力ヲ全部利用スルコトガ出來テ、自動車デアルトカ、其他ノ機械的ノ輸送機關ニ劣ラナイダケニ使フコトガ出來ルヤウナ計畫モ出テ、豫算ニ載ツテ居ル次第デアリマス、左様ニシテ一面ニハ競馬ト云フモノニ依テ、所謂馬ノ能率ヲ檢定スルト云フ機會ヲ作り、他ノ一面ニハ馬事ノ思想ヲ普及セシメル傍、實用馬ヲ之ニ出場セシメテ、之ニ趣味ヲ持タセルヤウニ轉換ヲシテ行クト云フコトガ必要ナリト考ヘマシタ、其反面ニ於キマシテハ、只今申上ゲマシヤウナ諸種ノ計畫ヲ立テ、產馬ノ獎勵ヲシ、其能率ノ發揮ガ出來ルヤウニ努メル、以上ノ趣旨ヲ以テ是等ノ計畫ヲ満足ハシマセヌガ、大體ヤツテ參ッタ次第デアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅村委員 只今砂田參與官ノ御説明ニ依リマシテ、競馬ハ全ク馬ノ能率ヲ試メス一ツノ機關デアツテ、色々政府ハ獎勵ニ向ツテ計畫シテ居ルト言ハレマシタガ、只今僕ガ申上ゲタ一頭デ唯「レコード」ヲ作ルノハドウカト云フノハ是ハ極端ノ話デ、固ヨリ競馬ノ編成ニハナイ、編成ニハナイガ、ソコガ問題デア、此馬ハ是ト駈ケレバ是ガ負ケル、斯ウ云フコトヲ言フ騎手ヤ馬主ガアル、ソレハドウカト云フト、是ハ負ケルカラ出サナイノデアルト云フノデアアル、サウナルカラ是ハ所謂一種ノ博奕ニナ

ルノデハナイカト云フ疑ガ其處ニアル、勿論一頭ノ馬ニハ馬券ハアリマセヌケレドモ、少ク共五頭以上デシナイト云フト、本當ノ馬ノ能率ト云フモノハ分ラナイ、ソレカラ過日モ誰方カノ御質問ニアリマシタガ、總テ馬券ヲ買フヤウナ者ハ、馬ノ能率ノ判定ノ附クヤウナ者ガアルノデアアル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタガ、先ヅ現在ノ所デハ多クハサウ云フ者ハ少イ、騎手アタリカラ此馬ガ出ル時ニハ此馬ニ張レト云フヤウナコトヲ以心傳心ノ間ニ傳ヘテ居ル、是ガ弊害ノ最モ甚シイ所デアリマスガ、是等ヲ除去スルノ御考ガアルカ、ナイカラ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○砂田政府委員 過日ノ委員會ノ際カラ問題ニナツテ居リマス點ハ、只今ノ御質問ト併セテ、此際明カニ致シテ置ク必要ガアルト思ヒマスカラ申上ゲマスガ、實ヲ申上ゲマス、競馬法ガ出來マシタ劈頭ニ、私ハ一種ノ賭博デハナイカ、射倖心ヲ唆ツテ非常ナ風儀ヲ案スモノデハナイカト云フ質問ヲ、劈頭ニヤツタ者ハ私デアアル、先日平川君カラ御同様に御質問ガ出タノデアリマスガ、私共左様ナ感じヲ持ツテ最近ニ至ルマデ考ヘテ居ッタノデアリマス、ドウモ是ハ餘リ面白イモノデハナイト云フ感じヲ持ッテ居ッタノデアリマスガ、私農林省ニ入リマシテ後ニ、所管事務デアリマスカラ競馬ノ實際ノ狀況ヲ見タノデアリマ

ス、其結果ハ吾々ガ平常机ノ上ニ於テ考ヘテ居リマスコト、ハマルデ其趣ヲ異ニシテ、是ハ賭博、賭事ニアラズト云フコトノ稍、確信ヲ得テ參ッタノデアリマス、此點ハ特ニ農林省トシテ此際明ニシテ置クコトガ必要デアラウト思ヒマスガ、先日司法省ノ刑事局長ノ泉二君ノ御説モアリマシタ如クニ、法律ノ正面ノ解釋カラ申シマスレバ、要スル競馬法ト云フモノヲ認メテ之ニ對スル勝馬投票ト云フモノヲ認メタ以上ハ、所謂是ハ賭博トシテ罰スベキモノニアラズ、法律ノ適正ヲ之ニ依テ與ヘラレテ居ルモノデアルト云フコトガ根本ニナツテ、御説明ニナツテ居ッタノデアリマスガ、理論ノ上ニ於テハ左様デア

マシテ實狀ヲ見マス、是ハ單純ナル唯賭事ヲ行フト云フ賭事賭博ト云フ性質ノモノデナイト云フ確信ヲ持ッテ來タ、ト申シマスノハ大體競馬場ニ於テハ風儀ノ案レナイト云フコトニ餘程注意ヲ致シマシテ、入場者ニ付テモ一定ノ制限ヲ加ヘルト云フ細カイ處マデ注意ヲ加ヘテヤツテ居ルノデアリマス、サウシテ馬ニ對スル所謂騎手、ソレカラ馬ニ對スル重量ト云フモノ、間ニモ差別ヲ付ケル、所謂良イ馬ニハ重イ物ヲ負ハセ惡イ馬ニハ輕イ物ヲ負ハセテ重量ノ間ニ差別ヲ付ケル、サウシテ投票ヲ行フ者ニ一々其馬ヲ觀覽セシメテ競馬ヲ行フノデゴザイマスカラ、一定ノ

馬ニ對スル知識、騎手ニ對スル意見、ソレカラ其馬ノ負ウテ走リマス重量ノ如何ト云フコトヲ以前ニ考ヘタ上デ、投票ヲセシメルト云フコトニナツテ居リマスカラ、全ク偶然ノ出來事ニ對シテ輸贏ヲ決スルト云フ賭博、賭事ト云フモノトハ、マルデ違フノデアリマス、又富籤ト云フ意味デ非常ニ狭イ意味デ、富籤ニ類似シタモノト云フコトヲ無理ニ言ヘバ言ヘヌコトハナイト思ヒマス、併ナガラ事實ニ於テハ普通所謂廣イ意味ニ於ケル富籤ト云フヤウナモノトハ、只今申上ゲタヤウナ、素質ニ依テ行ハル、ノデアリマスカラ全ク違フ、唯中ニハ偶々何ノ見當モ付カナイデ、イキナリ行ッテヤルト云フ人モアリマセウ、アリマセウガサウ云フ者ニ對シテ所謂賭博ト云フモノ、感ジト同ジヤウナ射倖心ヲ唆ラナイ爲ニ、配當金ニ一定ノ制限ヲ設ケテヤツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、是ハ營村君ハ御承知デアリマセウガ、御承知ノ如ク所謂博奕根性ト云フモノデ、アノ中ニ來テ博奕ヲ専門ニヤル者ナラバ、アノ中ニ這入ッテ來ナイ、這入ッテ來ラレナイヤウニ出來テ居ル、ト申シマスルノハ、御承知ノ如ク競馬ノ馬券ノ賣上ト云フモノニ對シテハ、其百分ノ十五ト云フモノハ俱樂部ノ收得ニ屬スル、殘リノ百分ノ八十五ヨリ配當ヲ受ケナイ、ソレデアルカラ賭ケタ金ノ百分ノ十五ト云フモノハ先ヅ引去ラレテシマ

フト云フコトニナル、殘リノ百分ノ八十五ト云フモノヨリ配當ヲ受ケナイノデアリマスカラ、或ル一定ノ人ト人トガ玆ニ賭博ヲ行フト云フ賭事トハ丸デ其利益ニ非常ナ差ガ出テ來ル、而モ配當スベキ金高ハ二百圓ヲ越エルコトヲ得ズ、所謂十倍ヲ越エルコトヲ得ズト云フコトニナツテ居リマスカラ、其以上ニ大キナモノガ出來レバ其金ト云フモノハ配當ガ受ケラレナイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスカラ、偶然ノ輸贏ヲ決シヤウト云フコトデ、無見當デ這入ッテ來ルモノハ算盤勘定ヲスレバ迎モ引合フモノデナイト云フコトカラ、博奕根性ヲ持ッタ者ガ這入ッテ來ナイ、斯ウ云フ制限ヲ設ケテ無理ヤリニ射倖心ヲ唆ルヤウナコトノナイヤウニシテアリマスカラ、所謂一般ニ言ウテ居ル、賭事賭博ト云フモノトハ丸デ觀念ヲ異ニシテ居ル、觀念ヲ異ニシテ居ル、據ハ、御承知ノ如ク大體素人ノ人モアリマセウガ、大體ニ於テハ見當ヲ付ケテ皆買ヒマスカラ、時々ソレガ誤ッテ其馬ニ當ラナイト大キナ穴ガ出ルト云フヤウナコトガ出來ル、穴ガ出來ルト云フコトハ皆無見當デ買ッテ居ナイト云フ證據デアル、大體見當ヲ付ケテ買ッテ居ル者ガ、偶々何カノ故障ニ依テ其馬ガ勝タナイデ飛ンデモナイモノガ勝ッタト云フヤウナコトガ出來ルト云フコトノアルノハ、見當ヲ大體ノ人ガ附ケテ買ッテ居ルカラ、所謂サウ云フ結果ニナ

ルト云フコトヲ明ニ物語ッテ居ルト思フノデアリマス、左様デゴザイマスカラ吾々ハ現在ノ此公認競馬ヲヤツテ居リマスル場所ニ於テハ風紀ヲ紊シ、或ハ賭事トカ賭博トカ所謂賭事ニ趣味ヲ持ッテ居ル者ノ澤山ニ這入ッテ來テヤルト云フ博奕場ナド、同ジヤウナモノデハナイ、非常ニ嚴肅ナモノニナリツ、アルト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、是ハ私ノ一ツノ偶然ニ感ジタコトデアリマスルガ、御承知ノ如ク横濱、神戸ナドニ居リマスル支那人ナドト云フモノハ非常ニ賭事ガ好きナノデアリマス、所ガ競馬場ニ行ッテ見マスト支那人ト云フモノハ殆ド來テ居ナイ、ソレデ私ハ或ル支那人ニ就テドウシテ君等ハ競馬ニ行カナイカト聞イテ見マスト、アノ位詰ラヌ競馬ト云フモノハナイ、上海ニアル競馬ノヤウニ當ッタ者ニハ何千圓何萬圓ノ金ガ這入ルト云フナラバ吾々ハ喜ンデ行クガ、百分ノ十五ハ引去ラレテ、而モ穴ノ出來タ時ニモ二百圓シカ呉レナイ、コンナ算盤ニ合ハヌモノハナイカラ行カナイノダト言ッテ居リマス、即チ是ガ法規ノ制裁、色々ナ方面ニ取締ラ嚴重ニシタ結果ガ今日ニ於テハ所謂賭博心ト云フモノヲ以テ集マル者ガナクナツテ居ルト云フコトガ、日本ノ競馬ノ世界ニ於ケル特徵ナリト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス、競馬ノ場所ノ數ニシマシテモ世界中デ一番少イ、サウシテ同數ニ於テモ

一番少イ、サウシテ配當ニ於キマシテモ斯様ナ嚴格ナル制限ヲ設ケテ居ルト云フコトノ結果ハ、所謂賭事賭博ト云フモノトハ丸デ趣ヲ異ニシテ、趣味ヲ同ウスル者ガ集マルヤウニ段々ナツテ、所謂其品位ガ向上サレツ、アルノデアリマス、デアリマスカラ、御承知ノ如ク東京ノ目黒ノ競馬場ノ如キデモ、其役員ニナツテ居ル人モ或ハ貴族院議員デアルトカ、其他有力ナ紳士ニ依テ組織セラレテ居ル、其間ニ左様ナ忌ハシイ感ジヲ持ッヤウナ者ガ段々ナクナツテ來テ居ルト云フコトヲ十分ニ物語ッテ居ルコト、思フノデアリマス、此點ハ特ニ此機會ニ明ニ致シテ置ク次第デアリマスルガ、只今御尋ノヤウニ競馬ト云フモノヲ唯馬ノ丸デ性質ノ違フモノ、或ハ丸デ競走ニモ何ニモナラヌモノヲ組合セルヤウナコトヲスルト云フ結果ガ、非常ナ射倖心ヲ唆ルヤウナ結果ニナルノデアリナイカト云フ御疑念ノヤウデアリマスガ、其點ハ十分ニ監督ヲシテ、其危險ノナイヤウニスルノデアリマスガ、偶々其間ニ棄權者ガ出來タリナドシテ一等ニナルナド、云フコトガ出來ルノデアリマスガ、其點ハ要スルニ歸著スル所ハ監督上ノ問題デアラウト思ヒマス、將來ニ於キマシテモ、只今營村君ノ御話ノ如キ結果ヲ成ベク來サナイヤウニ、十分ノ監督ヲ致シ、又サウ云フ懸隔ノ甚シイモノ、組合セテ爲サシメナイヤウニスルト云フコトニ付テ

ハ十分注意ヲスル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○菅村委員 此競馬ノ編成ニ付テ先刻來ノ御説明ニ依リマスレバ、單ニ「サラブレット」ノ輕種バカリデハナイ、所謂中間種ノ馬モ競走ニ加ヘルト云フコトデアリマス、サウナリマス各競馬場ニ於テ一日十回ナラ十回ヤル時ニ、三回ナリ四回位ハ輕種ノ競走或ハ中間種ノ競走ト云フヤウニ、分類ヲ分ケル積リデアリマス、現在ニ於テモ駈足、速歩競走、ソレカラ障礙競走ト云フコトハヤッテ居リマス、併シ是ハ同ジ「サラブレット」デアル、又今日競馬ニ馬ヲ出サウト云フ人ガ、ドウ云フ馬ヲ選定スルカト云フト矢張ソレデアル、今日新抽籤馬ヲ買フニモ先ヅ「サラブレット」デナケレバ買ハヌト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ見マスと今日ノ生産者ト云フモノハ其產地ニモ依リマスガ、私ハ田村郡デアリマスガ、馬ノ一番良ク出來ル所デアリマス、斯ウ云フ所デハ矢張「サラブレット」ヲ飼育シテ良イ馬ヲ造ッテ見ヤウ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、隨テ縣有ナリ或ハ民有ノ種馬ナドヲ買フ時モ、先ヅ今日ハ「サラブレット」デナケレバイカヌ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、サウシテ見マスト所謂此軍用ノ目的ヲ達成スルニ非常ナ所期ノ目的ニ反スルモノデハナイカ、斯ウ云フデアリマスガ、今後此競馬ヲヤラセル方法ノ編成方針ハドウ云フ

風ニ御遣リニナルノデスカ、此點ヲ聽キタイノデアリマス

○戸田政府委員 編成方針ニ付キマシテハ、何レ省令制定ノ際ニ、具體的ニ攻究スルノデアリマスガ、考方トシテハ二ツアリマス、今迄四日ノヲ六日ニスルノデアリマスカラ、二日出マスカラ、或日ニハ特殊ノ競走ヲ行ハシムル遣方モアリマセウ、又一日十一回ノ中ニ五回ハ「アラブ」競走或ハ速歩競走ヲ行フベシト云フコトモアラウト思ヒマス、或ハ併用スルカモ知レマセヌガ、何レニシマシテモ新設俱樂部ニ於キマシテハ、特殊競走ニ重キヲ置クト云フコトハ今度ノ改正ノ眼目デアリマスカラ、寧ろ理想カラ申セバ外國等デヤッテ居リマスヤウニ、或ル障礙物ノ競走専門ノ競馬場、速歩競走専門ノ競馬場ト云フヤウナモノモ理想カラ言ヘバ必要ト思フノデアリマスガ、今日ノ内地ノ現狀デハ其如クニ直ニ行フコトハ今ハ出來ナイト思ヒマス、隨テ重點ヲ特殊競走ニ置イタ競走ヲヤラセナクテハナラヌデ、ソレニハ一日ニ何回以上速歩競走ヲ行フベシト言ッテモ、一日ノ内地ノ障礙物競走ガ一回、速歩競走ガ一回ト云フ譯ニハイカナイカラ、今御話ガアリマシタヤウニ「サラブレット」偏重ノ弊ヲ救フト云フコトハ出來ナイノデアリマス、將來ハ或日ハ「アングロ・アラブ」競走、或日ハ速歩競走ト云フヤウナ仕方ニシマシテモ、一日ノ中ニ五回以上

ハ特殊競走ヲ行フベシト云フコトニシマシテモ今日ハマルデ違ッタ障礙競走ナリ「アラブ」競走ナリ「アングロ・アラブ」競走ヲセラレマス結果トシテ、其影響ハ直ニ馬產地ニ影響スルノデアリマス、今日ハ少シバカリ中山デ「アラブ」競走ヲ申譯のニ一回行ハレテ居ルニ過ギナイノデアリマスカラ、問題ニナラヌノデアリマス、故ニ其影響ガ生産地ニ及ボスコトハ少イノデアリマス、今度ノ新法ニ依テ將來新設セラルベキ競馬場、或ハ舊來ノ競馬場ニ於テモ、比較的サウ云フ方面ガ完備サレルト云フコトニナレバ、馬產地等ニ於テモサウ云フ需要ガ起ツテ來ルノデアリマスカラ、今日ト違ッテ「アラブ」「アングロ・アラブ」或ハ軍馬級ノ馬ノ需要ガ起ル、隨テサウ云フ風ニ馬產地ノ情況ガ、今日單リ「サラブレット」ト云フヤウニ非常ニ偏重サレテ居ルノガ、ソレニ次グ馬モ只今申上グルヤウニ國防上ノ要求ニ合フヤウナ馬ノ需要ト云フモノガ起ツテ、今日トハ餘程違ッタ情況ニナルト云フコトガ想像サレルノデアリマス

○菅村委員 只今畜産局長ノ御話ニ依リマス、是カラ増設スル所ノモノニハ特殊ノ競馬ヲヤルト云フ大體ノ御方針デアッテ、其他既設ノ所ニモサウ云フ風ニシテ所期ノ目的ヲ達スルヤウニシヤウト云フコトデアリマスガ、是ハ矢張主トシテ「サラブレット」種ヲ餘計ニスルカ、輕種ノ馬、中間種即チ陸軍向キノ馬ヲ澤山造ッテ、國防ノ充實ヲ圖リ、サウシテ多數ノ優良馬ノ要求ト云フモノハ即チ軍馬デアリマス、地方ノ生産者カラ言フト軍馬ヲ造ルト云フコトガ非常ニ熱心デアリマス、偶々競馬馬位ヲ作ルヨリモ、毎年軍馬ヲ造レバ間違ガナイ、縱シ軍馬ニ合格シナクトモ、ソレヲ農馬ニ向ケテモ宜シイ、一體競馬ヲ馬ノ獎勵機關トシテヤルナラバ、一番要求ノアル所ノ軍馬ヲ主トシテヤルトシタナラバ、此競馬ノ遣リ方モサウ云フ御方針デアル方ガ、私ハ眞ニ馬ノ改良ニナルノデハナイカ、サウデナイト所謂射倖心ヲ激發シテ、サウシテ競馬ニ出ス馬主ハドウ云フ人ガヤルカト云フト、眞ニ生産ニ從事シテ居ル人ハ少イ、馬ヲ飼ッテ競馬ニ出シテ、サウシテ一頭ノ馬デ三萬圓モ四萬圓モ賞金ヲ貰ハウ、斯ウ云フ人ガ現ニ今日ハヤッテ居ル、生産者ト云フモノニハ何等ノ利益ガナイ、況ヤ今日デハ此競馬法ト云フモノハ内地產ノ馬モアレバ、外國產ノ馬モ飼ッテ居ルガ、此表ヲ見マシテモ、先ヅ競走馬等ノ表ヲ見マシテモ、最近ニ於テ矢張内地產馬ノ一頭平均ガ千二百五十六圓デアル、是ハ大正五年デアリマス、ソレカラ昭和二年ニナルト云フト、内地產ガ僅ニ一千三百五十七圓、サウ云フ風ニナッテ居リマシテ、内地產ノ馬バカリナラバ宜シウゴザイマスケレドモ、外國カラ輸入スル所ノ馬、或ハ外國產デナクトモ内地產ノ馬デモ、競

馬馬トシテ一萬圓或ハ一萬五千圓或ハ二萬圓ノ馬ヲ持ッテ居リマス、サウ云フ馬ガ出ルカラ、ソレカラ下ノ方ノ馬ハ競走ハセヌト云フコトニナル、サウスルト競馬ト云フモノハ無意味ニナルノデハナイカ、サウ云フ風ニ眞ニ内地產ノ馬ヲ改良スルト云フコトデアレバ、種馬ノ血液ト云フモノヲ改良シナケレバナラス、標準トシテハ斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ示スニハ宜シイケレドモ、多クハ競馬ニ出ス馬主ト云フ者ハ、自分ノ馬ハ競馬ニ何同出テ何萬圓ノ賞金ヲ取ッタト云フノデ、矢張是モ錢儲ノ爲ニヤルノデ、本當ニ馬ノ改良ノ爲ニヤルト云フコトハ口實ニ過ギナイト云フ弊害モ私ハ認メル、斯ウ云フコトニ對シテハ、政府ハ何等カノ方法ヲ講ズルノ意思ガアルカナイカ、先ヅ之ヲ伺ヒマス

○戸田政府委員 只今御話ノヤウナ點ハ、今度競馬法ヲ改正シマシテ、新ラシイ俱樂部ニ臨ミ、又ハ舊俱樂部ニモ幾分及ボシテ行ク譯デアリマスガ、特殊競走ヲ主トシテ進メテ行キタイト云フ趣旨ハ、全ク今ノ軍馬其他中間種ノ——單リ「サラブレッド」ニ偏シナイ、國防上竝ニ産業上カラ必要ナ馬ヲ造ル爲ニ役立ッノデアリマシテ、競馬ガサウ云フ風ナ方針デ行ハレルヤウニナレバ、隨テ馬主ガソレニ適スル馬ヲ飼ウヤウニナルノハ當然デアリマスカラ、自然ニ其弊ハ除ケル譯デアリマス、競馬其物

ノ關係カラ言ヒマシテ、詰リ一方「サラブレッド」ノ關係「サラブレッド」偏重ト云フ關係ニ餘リ陷ラナイヤウニ、國防ナリ産業ノ要求ニ合ウヤウニスル爲ニ、今度ノ競馬法ノ改正ハ其方面ニ非常ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ改正ガ行ハレルト云フコトニナレバ、馬主ハサウ云フ馬ヲ持ッ馬主ガ出來ル譯デアリマス、隨テ生産者モ其需要ニ應ジタル馬ヲ造ルト云フコトニナルノデアリマシテ、詰リ馬政上ノ要求ニ基イテ、改正ノ點ヲ此前ノ委員會ノ際ニ申上ゲタノハ、サウ云フ點カラ出發致シテ居ル譯デアリマス

○菅村委員 只今ノ御話デ分リマシタガ、兎ニ角内地產ノ馬カドウカ分リマセヌガ、内地產デアル新抽籤馬ノ方ガ四百圓、ソレカラ最高ガ一萬三千八百圓トアル、ソレカラ昭和二年ニ於テハ最高ガ五百圓デ、サウカト思フト二萬五千圓ノ馬モアル、斯ウ云フモノハ即チサウ云フ馬ノ出來ルノ私ハ希望スル、希望致シマスルケレドモ、是ハ本當ノ種馬トシテ、サウシテマア競馬デ能率ヲ示シタ結果ガ種馬ニナル、牝馬ハ繁殖馬ニナツテ、其馬ノ血液ガ良クナツテ行ク、サウ云フ馬ガ種馬ニ宜イ、アソコニハ斯ウ云フ種馬ガアルカラ、アソコノ馬ヲ買ハウデヤナイカ、斯ウ云フ具合ニ一面獎勵ニナリマスケレドモ、斯ウ云フ馬ヲ買フ人ノ精神狀態ハドウデアルカト云フト、先ヅ此馬デ儲ケル、

二萬五千圓ノ馬ヲ買ッたら七萬圓カハ萬圓ノ賞金ヲ取ル、斯ウ云フ見地デ買フ人ガアル、斯ウ云フコトデハ多數ノ生産者ニ對スル所ノ效力ハナイ、寧ロ斯ウ云フモノヨリモ、平均シタル所ノ種馬ノ充實ヲ圖リ、サウシテ成ベク生産者ニ一ツノ馬ノ改良ノ思想ヲ鼓吹スト云フコトヲ一ツノ根柢ニシナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、デアリマスルカラ今日競馬場ヲ増設シナクテモ、公認競馬場ナドヲ増設シナクテモ、是等ノコト、或ハ障礙競走或ハ中間種馬ノ、特定ノ馬ノ競走ヲサセル場所ヲ別ニ作ラヌデモ出來ルデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ又出場登録馬數ト云フモノガ非常ニ餘計ニアル、サウシテ出走馬數ハ其半數ニモ充タヌ、斯ウ云フコトノ爲ニ期日ガナイト言ヘバ、今度ハ日數ヲ殖ヤシテ吳レルカラ、現在ノ登録馬數ヲ全部出走ヲサセルコトガ出來ル、此點ニ付テ御意見ヲ伺ッテ置キマス

○戸田政府委員 今日ノ狀況デモヤレルデハナイカト云フ御説ハ、此前モ一寸御話致シマシタヤウニ、追々出走ノ馬數ガ増加致シマスルシ、ソレノミナラズ馬政計畫ノ上カラ考ヘテ吾ミノ考ヘル頭數カラ言ヘバ、モット出走ノ機會ヲ與ヘナクチャナラナイノデアリマス、其理想ヲ行フ爲ニ必要ナノデアアル、デ此間申上ゲマシタヤウニ、約三千頭ノ馬

ヲ走ラセルトスレバ、今日ノ開催日數及法人數デハドウシテモ足ラナイ現在ノ狀況デアアル、ソレヲヤラウトスレバ一日ノ同數ヲ殖ヤスカ、或ハ出走ノ頭數ヲ増加スルコトヲシナクチャナラヌノデアリマスガ、出走頭數ヲ無暗ニ増加スルコトハ危險デアアル、一日ノ同數ヲ増加スルコトハ困難デアリマス、是ハ競馬其モノハ多數ノ「ファン」ヲ相手ニスルコトデアリマスルカラ、ホンノ一寸シタ統制ガ案レルト云フコトカラ意外ノ紛擾ヲ起シテ、次ノ競馬ガヤレスト云フヤウナコトモアルノデアリマスカラ、競馬ノ開催執務員ト云フヤウナ者ノ勞苦ヲ考ヘマスレバ、今日以上ニ其同數ヲ増スト云フコトハ、競馬行政ノ上カラ考ヘマシテ甚ダ困難デアルト思フノデアリマス、隨テ三千頭ノ馬ニ出走ノ機會ヲ與ヘルニハ、今日ノヤウナ競馬ヲ開クノミデハイケナイ、「サラブレッド」バカリニ偏重シテハイケナイ、隨テ特殊ノ競走ニ依テ鍛練スル必要アル中間種「アングロ・アラブ」アラブ「ニ出走ノ機會ヲ與ヘタイノデアリマス、ソレニハ競馬場ヲ増設シテヤツテ行クノガ非常ニ近道デアアルノデアリマス、ソレカラ申落シマシタガ、抽籤馬制度ニ付テノ御話ガアリマシタガ、抽籤馬制度ト云フノハ一種ノ過渡時代ノ制度デアリマス、是ハ競賣會ノ方デヤツテ居ッタ制度デアアルノデ、理想トシテハ抽籤場ト云フヤウナ制度ハ必シモ必要デ

ヤナイト思フノデアリマス、ソレデ現
ニ今年カラデアリマシタカ、小倉ノ競
馬俱樂部ハ抽籤馬ヲ廢止シマシタ、追々
詰リ競馬ト云フモノハ、モウ少シ發
達スレバ抽籤馬ト云フ制度ハ必ズシモ
必要ナルモノトハ思ヒマセヌケレドモ、
今日ノ狀態デハ全部廢止ヲ命令スルト
云フ時期ニハ達シテ居ラヌト思ヒマス、
自發的ニ廢止シテ居ル所モアルニハア
ルノデアリマス、ソレカラ出走頭數ノ
コトニ付テ、單走ナドモアルカラト云
フ御懸念モアリマスガ、是ハ特殊ノ關
係カラ馬主ノ懸引カラ來テ居ルノデ、
例ヘバ東京ノ競馬俱樂部デハ新呼馬競
走ニハ往々單走ガアリマス、所ガ東京
ノ俱樂部ハ、第一ノ大俱樂部デアッテ、
其馬主ノ特殊ノ心理狀態カラシマスレ
バ、勝ッ見込ガナイト、引込メルト云フ
ヤウナコトデ、單走ガ行ハレルノデア
リマスガ、同ジ新呼馬ノ競走モ、第二流
ノ大阪京都方面、鳴尾、淀ノ競馬アタリ
ニナリマス、同ジ新呼馬ノ競走ガ二
十頭ニナルト、之ヲ二ツニ分ケテ、甲乙
ニ分ケナケレバナラヌト云フヤウナ狀
況ニアルノデアリマシテ、目黒ニ能ク
單走ガアルト云フノハ、東京競馬俱樂
部ノ特殊ノ狀態ヲ見テ居ル譯デアリマ
ス、ソレデ一概ニソレヲ全國的ニ論ズ
ル譯ニハ行キマセヌノデ、詰リ大阪ノ
俱樂部、京都ノ俱樂部アタリデハ、新呼
馬ノ競走デ二十頭以上ノ時ハ、甲乙ニ
分ケテアル場合モアルト云フヤウナ狀

況デアリマス
○菅村委員 只今ノ御話ニ依レバ抽籤
馬ハ過渡時代デアル、理想トシテ是ハ
ナイ方ガ宜イ、一體生産者ヲ保護シ獎
勵スルト云フ上カラ言ヘバ、陸軍カラ
幼駒二歳ヲ買上ゲルト云フコトハ、即
チ是ハ馬ノ生産者ノ保護デアリ獎勵デ
アルノデアリマス、一體生産者ト云フ
モノハ、先ヅ大概二歳ヲ以テ賣ッテシマ
フ、ソレカラ競馬ト云フモノハ三歳以
上デナケレバ競馬ニ出スコトガ出來ナ
イ、生産者ノ手ヲ離レテ、ソレカラ飼養
者ガ即チ其馬ヲ飼ッテ、サウシテ陸軍ニ
賣レル馬ナラバ陸軍ニ賣ル、戰時ノヤ
ウナ場合ニ臨時購買デモアレバ五歳ノ
馬デモ賣レルカラ、其時ニハ儲カルダ
ラウ、斯ウ云フ積リデ飼ッテ居ル、又是
ハ競馬馬ニナルカシラント言ッテ飼ッテ、
例ヘバ二歳デ二百圓ノ馬ヲ千兩ニ賣ル、
斯ウ云フ山師的ノ者ガ多クアル、サウ
ナルト云フト、生産者ヲ保護獎勵スル
ト云フ意味ハナクナッテシマフ、是ニ於
テ私ハ抽籤馬ト云フコトハ、矢張是ハ
必要デアッテ、サウシテ抽籤馬モナルベ
クハ其俱樂部ノ義務トシテ、毎年所要
ノ抽籤馬十五頭、二回ヤレバ三十頭ニ
ナル、ソコデ初メテ生産者ハ、競馬ノ馬
ハ高クナル、斯ウ云フ馬デナケレバナ
ラヌト云フノデ、優良産馬ノ中ノ最モ
優良ナル「サラブレッド」種ト云フモノ
ガ、ソコニ於テ徹底的ニ是ハ出來ル、尤
モ制限ガアリマスノデ、餘リニ殖ヤス

ト云フコトハ宜イコトデハナイ、ソコ
デ馬ノ改良ト云フモノガ出來ル、若シ
之ヲ今ノ御話ノヤウニスレバ、所謂競
馬馬ト云フモノハ生産者ノ利益ニ少シ
モナラヌ、連モ生産者ハ二歳以上ノモ
ノヲ持ッテ居リマセヌ、賣ッテシマフ、又
翌年仔ヲ取ル、サウシテ實ニ人間ノ子
ヲ愛スルヨリモ、馬ト云フモノヲ愛シ
テ居ル、非常ニ馬ニ熱心ナ人ニ會ッテ御
覽ナサイ、仔ノ生レル時ヲ見ル爲ニ、厩
舎ノ中ニ行ッテ寢テ居ル、サウ云フ風ニ
シテ飼ッタ馬ヲ、ソレヲ買上ゲラレテ、
サウシテ第三者第四者ノ手ニ移ッテカ
ラ競馬馬ニナルト云フコトデハ、生産
ノ保護ニハ一向ナラヌ、サウナルト競
馬ト云フモノハ全ク娛樂機關ニ過ギナ
イ、斯ウ云フ結論ニ到達スル、此邊ノ御
考ハドウデスカ
○戸田政府委員 今一寸御質問ノ趣旨
ガ分リ兼ねマシタカラ、説明委員カラ
此際一寸説明ヲサセルコトノ御諒承ヲ
願ヒマス
○横屋農林技師 委員長ノ御許シヲ得
マシテ、私カラ御説明ヲ申上ゲマス、只
今抽籤馬ヲ幼駒カラシテ——抽籤馬ノ
制度ヲ廢シタナラバ幼駒ノ購買ガ減ッ
テ、各馬產地ニ於ケル所ノ馬ガ、生産者
ノ懷ヲ肥サズニ、第三者、第四者ノ懷ヲ
肥サセルヤウニナル、斯ウ云フ御質問ノ
ヤウニ承リマシタガ、今現在小倉ニ於
テ、先程畜産局長カラ御話ノ抽籤馬制
度ヲ廢止シマシタト云フノハ、是ハ別

ノ意味カラ廢止シマシタ、御承知ノ如
ク九州ニ於ケル育成地ハ主トシテ福岡、
佐賀ノ二縣デゴザイマシテ、小倉ニハ、詰
リ福岡縣附近ニハ非常ニ多數ノ馬ガ居
リマス爲ニ、抽籤馬制度ヲ廢シテモ、即
チ言葉ヲ換ヘテ申シマスト云フト、新
呼馬ノ制度ヲ以テシテモ差支ガナイカ
ラ、廢シタ譯デゴザイマス、抽籤馬、新
馬ヲ廢スルヤ否ヤ、斯ウ云フ議論ハ色々
各人ニ於テモ御意見モアルコトガラ
ウト思ヒマスガ、只今ノ御質問ノ抽籤
馬ト云フ所ノ制度ハ、詰リ比較的振ハ
ナイ所ノ、收入ノ少イ所ノ俱樂部ニ於
テハ、ソレヲ支持スル方法ガ宜イト云
フヤウナ各競馬俱樂部邊リノ御意見ガ、
從來モアルヤウデアリマス、大競馬俱
樂部ニ於テハ抽籤馬制度ト云フモノハ、
廢メテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ
御議論ガ從來アルヤウデアリマス、併
シ今ノ生産者側ノ第三、第四ノ手ヲ經
テ、ソレカラ今ノ競馬場裡ニ使用スル
ヤウニナリハシナイカト、斯ウ云フ御
尋デスガ、馬ヲ購買シマスル所ハ、東北
地方或ハ北海道ニ於キマシテハ二歳前
ト云フコトニナッテ居リマスガ、抽籤馬
制度ヲ設ケテアッテハ、事實其抽籤馬ト
シテ購入スル時機如何ト云フコトニナ
リマス、ト云フト、三歳ニ上ゲテ購買ス
ルノガ本當デアリマシテ、モウ既ニ生
産者ノ手ハ離レテ居ルヤウニ私トシテ
ハ大體ニ於テ心得テ居リマス、唯今非
常ニ各競馬俱樂部ガ競争スル爲ニ、二

歳ノ馬ヲ特ニ競争シテ買ヒマシテ、或ル競馬俱樂部デハ持ッテ居ル方モアリマスガ、サウ云フモノデアリマスカラシテ、極ク一部ニ於キマシテハ生産者側ノ懷ヲ潤スコトモアリ、或ル場合ニハ第三者、第四者ノ懷ヲ潤スト云フヤウニ、現在デハナッテ居ルヤウデアリマス、ソレデ尙ホ今抽籤馬ノ制度ヲ廢メタナラバ、餘程生産者ガ困ルダラウ、斯ウ云フヤウナ御尋デアリマスガ、私ハ先程ノ御議論ヲ拜聴シマシテ、此質問以外ニ一言ヲ申上ゲテ置キタイノハ、此「サラブレッド」ノ頭數ヲ非常ニ増加スルト云フト、使用モ困難デアリ、尙ホ幅モ狭イモノデアル、脚ノ長イモノモ出ル、斯ウ云フヤウナ意味モ入ッテ居リマスガ、「サラブレッド」ト申シマスノハ、馬匹ノ改良上ニ於テモ最モ必要ナコトデアルト云フコトハ、私ガ此處デ申上ゲル迄モナク非常ニ必要ナ種類デアリマスガ、其頭數ニ於テモ先程菅村委員ノ御話ノヤウニ比較的少數デ宜イノデゴザイマス、隨テ此抽籤馬制度ト云フモノハ外國ニハ殆ンド例ノ無イ所ノモノデ、我國ダケノ制度デハアリマスガ、此制度ヲ先程畜産局長ノ御話ノヤウニ「アラブ」「アングロアラブ」競走ト云フヤウナ方面ニ、此制度ヲ以テ左様ナ購買方法ヲシタラ宜イデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○菅村委員 尙ホ御尋致シマスルガ、此陸軍ノ方ノ購買頭數ヲ見マスト分リマスガ、矢張今後モ其位ノ頭數ハ年々必要ト思ヒマスカラ、購買ノ成績ヲ少シ參考ニ承リタイノデスガ、年々所要ノ馬ヲ買フノニ幾分ヅ、カ進歩ノ狀況ガアルヤ否ヤ、又已ムヲ得ズ頭數ヲ充タス爲ニ買フト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、勿論競馬ガ始ッテカラ僅ニ五年デアリマスルカラ、マダ本當ノ成績ヲ見ル譯ニハ行キマセヌガ、是ハ馬ノ改良ヲスル爲ノ機關トモナリ、ソレニ伴ッテ陸軍邊リデ買フ馬ト云フモノハ、此所要ニ對シテハ餘リ骨ヲ折ラヌデ宜イデヤナイカ、斯様ニ考ヘマスルガ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○杉山政府委員 只今ノ御尋ニ御答申シマス前ニ、先刻御尋ノアリマシタコトニ付キマシテ御答ヲ申上ゲマス、陸軍ト致シマシテハ軍馬トシテ成ベク丈夫ナ馬デ、持久力ガアリマシテ、取扱ガ樂デ、又管理飼養ニ容易ナモノヲ希望スル譯デアリマス、斯ウ云フ見地カラ從來ノ競馬ニ於テ、動モスレバ「サラブレッド」偏重ノ傾ガアッタノデハナイカト云フ菅村委員ノ御意見ニ付キマシテハ、私モ同ジ考ヲ持ッテ居ル者デアリマス、然ルニ此度此競馬法ノ改正案ニ依テ見マスト云フト、從來ノ此弊風ノアルノヲ改メラレマシテ、障礙競走、速歩競走、斯ウ云フヤウナ競馬ヲ加ヘラレ、又隨テ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競馬ガ發生シテ來ル、斯ウ云フ現象ニナッテ來ル次第デアリマシテ、障礙ノ競走

ハ申ス迄モナク平坦砥ノ如キ道ノ上ダケデナク、起伏ノ多イ道路外ノ山野ヲ飛ビ歩イテモ差支ノナイト云フ强健ナル馬ガ出來テ參リマス、又速歩競走ニ依リマシテハ、中間種ノ改良ニ非常ニ資スル所ガアリハセヌカト思ヒマス、今農林省ノ方ノ御説明ニ依リマス、更ニ重量モ増加シ、疾走距離ヲ殖スト云フコトニナリマスレバ、軍馬ノ要求トシテ持久力ヲ増シ、又丈夫ナ馬ヲ持ツト云フ要求ニモ適フ次第デアリマシテ、是等ノ見地カラ考ヘマシテ、此度ノ競馬法改正ニ伴フ色々ナ施設ニ付キマシテハ、陸軍トシテハ洵ニ結構ナコトデアルト存ジテ居リマス、第二ノ御質問、只今ノ將來馬ヲ買フコトニ付テノ御質問ノコトニ付キマシテハ、別ニ説明員カラ答辯スルコトノ御許シヲ願ヒマス

○濱田陸軍騎兵中佐 只今ノ陸軍ノ購買ハ、將來モ餘リ變更ナイカト言フコトノ御質問ニ伺ヒマシタガ、是ハ大ナル變更ハナイ見込デアリマス、各地ノ成績ハドウカト言フ御尋ニ付キマシテハ、大體ニ於テ漸次進歩シツ、アルコトハ爭ハレヌ事デアリマシテ、地方的ニ之ヲ見マスト、其進歩度合ハ非常ナル差ガアルコトモ亦否メナイ眞相デアルト思ヒマス、如何ナル點ニ因ッテ居ルカト申シマス、大體ニ於テ尙ホ强健持久、所謂實用能力ノ増加スルコトヲ一般ニ希望致シマスガ、實際平時購買

ノ資源トシテ一番苦シンデ居リマスノハ乘馬デアリマス、競馬法施行以後ノ実績ニ付テノ御尋ハ、實ハマダ廣汎ニ調査シ得ル時期ニ達シテ居リマセヌノデゴザイマスガ、唯競馬法制定後初メテ種付ニ移ツタ馬ガ昨年末ヤット五歳ニ達シテ、軍隊ニ補充サレタヤウナ景況デアリマス、其馬ニ付テ試ニ一部ヲ調べテ見マシタ所ガ育成間、補充部ニ於テ發育スル度合ガ從前ニ比シテ頓ニ増加シタト云フコトヲ認メマシタガ、是ガ果シテ全部競馬法ノ影響デアルト言ヒ得ルヤ否ヤハ疑問デアリマスガ、兎ニ角數字ニ於テ激増シテ居リマス、體幅及胸圍ニ於テ餘程良イ成績ヲ示シテ居リマス

○菅村委員 障礙競走ヲヤルノニハ、矢張起伏ノアル場所デアルト云フコトハ當然ノ事デアルト思ヒマスガ、現在ノ競馬ヲ見マスト云フト起伏ノアル競馬場ガナクテ、單ニ障礙競走ト言ヘバ僅カナ柵見タヤウナモノヲ設ケテ、ソレヲ飛バセル、斯ウ云フコトデハ私ハ障礙競走ニハナラヌ、所謂起伏ノアル、高低ノアル所ヲ本當ニ競走サセテ見ナケレバ、其馬ノ能率ト云フモノハ判ラヌ、唯馬ガ跳ネテ來テ繩ヲ張ッテアル所ヲ飛ンダ位デハ何ニモナラヌト思ヒマスガ、之ニ對シテハ矢張障礙競走ヲサセルト云フ場合ニハ、現在ノ競馬場ニ改善ヲ加ヘルノ意思ガアルカドウカ、將來新設スル所ニハ、サウ云フ意味ニ於

テ來ル次第デアリマシテ、障礙ノ競走ハ申ス迄モナク平坦砥ノ如キ道ノ上ダケデナク、起伏ノ多イ道路外ノ山野ヲ飛ビ歩イテモ差支ノナイト云フ强健ナル馬ガ出來テ參リマス、又速歩競走ニ依リマシテハ、中間種ノ改良ニ非常ニ資スル所ガアリハセヌカト思ヒマス、今農林省ノ方ノ御説明ニ依リマス、更ニ重量モ増加シ、疾走距離ヲ殖スト云フコトニナリマスレバ、軍馬ノ要求トシテ持久力ヲ増シ、又丈夫ナ馬ヲ持ツト云フ要求ニモ適フ次第デアリマシテ、是等ノ見地カラ考ヘマシテ、此度ノ競馬法改正ニ伴フ色々ナ施設ニ付キマシテハ、陸軍トシテハ洵ニ結構ナコトデアルト存ジテ居リマス、第二ノ御質問、只今ノ將來馬ヲ買フコトニ付テノ御質問ノコトニ付キマシテハ、別ニ説明員カラ答辯スルコトノ御許シヲ願ヒマス

テ設置ヲ許可スルカドウカ、之ヲ伺ヒ
タイ

○戸田政府委員 政府ニ於キマシテモ
理想ト致シマシテ、起伏ノアルコトヲ
望ンデ居リマス、現在ノ競馬俱樂部デ
モ、目黒ノ競馬俱樂部ノ如キハ所謂置
キ障得デハナイ、起伏ノアル所デヤッ
テ居リマス、他ノ俱樂部モ理想トシテハ
サウ云フ風ニシタイト思フテ居リマス
ガ、色々經費ノ都合ヤ、御承知ノヤウニ
既設ノ俱樂部ハ競馬法施行前ニアッテ俱
樂部ガ其儘デアリマスノデ、理想カラ
ハ随分マダ遠イ譯デアリマス、理想トシ
テハ成ベクサウ云フ風ニ仕向ケタイト
云フ考ハ持ッテ居リマス

○菅村委員 ソコデ此競馬俱樂部ト云
フモノ、政府納付金デアリマス、斯ウ云
フ風ニ改善ヲ加フルニハ相當費用ガ掛
ルノデアリマス、現ニ現在ニ於テモ、公
認競馬モ一概ニハ言ヘマセヌ、所謂阪
神競馬トカ或ハ目黒競馬ノ如キハ中々
馬券ノ賣上モ多ク、良イ馬モ出マスカラ
相當收入ガアリマスガ、小サナ新潟ト
カ福島、ア、云フ方面ノ競馬ニナリマス
ルト、中々設備其他ノ經費ガナクテ理
想的ニ行カナイ、サウ云フ場合ニ於テ
茲ニ新タニ納付金ヲ増額シテ百萬圓ノ
收入ヲ増スト云フコトニナリマス、
其改善ノ時期ヲ失スルノデハナイカト
思ヒマス、同ジク之ヲ獎勵シ完全ナモ
ノニスルト云フナラバ、此政府ノ納付
金ナド、云フモノハ、餘リ負擔ヲ重ク

サセナイデ、サウ云フ方面ニカヲ注イダ
方ガ、效果ハ舉ルノデハナイカ、斯様ニ考
ヘマスガ、之ニ對スル御意見ハ如何デスカ
○戸田政府委員 理論トシテハサウ云
フ事モ考ヘ得ル譯デアリマスガ、實際
ニ即シタ問題デアリマスノデ、既設ノ
競馬俱樂部ハ競馬法制定以前ノ歴史ニ
依テ出來テ居ル俱樂部デアリマス、サ
ウシテ實行ノ現狀其他沿革的ノ理由ニ
依テ、現在ニ至ッテ居ルノデアリマス
カラ、ソレヲ移轉ノ機會デアリマス
トカ、或ハ改造ノ機會ニ追ヒ理想ニ近
ヅカシメルト云フ事ハ出來ル事デモア
リ、又ソレヲ爲スベキデアラウト思ヒ
マス、併シ馬政上ノ要求ニ依リマシテ、
相當ノ方針ヲ——特ニ今ノ軍事上ノ要
求等ニ合フヤウニ理想的ニシヤウト思
ヒマスノニハ、新タナ競馬俱樂部ニ讓
ル方ガ實際的ダラウト思ヒマス、設備
其他ニ付キマシテモ、既設ノ競馬俱樂
部ト雖モ、追ヒ改善ヲ行ハナケレバナ
ラヌ事ハ勿論デアリマスケレドモ、主
タル特殊競走其他ノ要件ト云フモノ
ハ、既設俱樂部ノ改善ノミデハ容易ニ
理想ノ實現ガ急ニハ出來マセヌ、ソレ
ヨリハ新設俱樂部ノ許可ノ條件ニスル
方ガ、餘程簡單明瞭ニ出來ヤウト思ヒ
マス

○内野委員長 皆サンニ一寸申上ゲテ
置キマスガ、只今大藏大臣ノ出席御要求
モアッタヤウデアリマスガ、是ハ政務次
官共豫算會議ノ方ニ出ラレテ此處ニ出
ラレマセヌ、參與官ガ繰合セテ御出デ
下サイマシタガ、若シ大藏省ニ御質問
ノオアリニナル方ハ、其方カラ先ニ濟
マシテ戴キタイ

○菅村委員 大臣次官ノ御出席ガナイ
ノヲ甚ダ遺憾トシマスガ、參與官ガ御
出席ナラバ一點伺ヒタイ、國防計畫上
ノ目的トスル所ノ馬ノ改良ト云フ事ニ
ハ、多年政府モ相當ナ金ヲ注イデ、種馬
ノ購入トカ色々ヤッテ居リマスガ、最近
本年ノ豫算等ヲ見マシテモ、馬カラ取ッ
タ金ハ馬ノ方ニ使フ、斯ウ云フ事デア
リマス、農林大臣ハ明ニ之ヲ答ヘテ居
リマス、他ニハ使ハナイ、此農林大臣ノ
言明ハ宜シイ、大藏省モ矢張之ニ對シ
テ——雜收入カ何カデ大藏省ヘ入ル
ト、色々此間カラ新聞等ニ依テ見マス
ト、地租委讓ノ爲ニ其財源ニスルノデ
ナイカト云フヤウナ事モアッタ、併ナガ
ラ農林大臣ノ説明ヲ聞イテ、私ハ明ニ馬
カラ取ッタ金ハ馬ニ使フ、斯ウ云フノデ
アリマスカラ其點ハ宜シイガ、大藏省
モ將來馬カラ取ッタ金ハ一文モ他ニハ
使ハヌ、斯ウ云フ言明ガ出來マスカド
ウカ、ソレヲ承リタイ

○山口政府委員 只今ノ菅村君ノ御質
問ニ對シマシテ御答致シマスガ、農林
大臣ノ言ハレタヤウニ此競馬法ヲ改正
致シマスルノハ、馬匹改良ノ上カラ申
シマシテ其必要ニ迫ラレテ改正ヲ致ス、
斯ウ云フ事ニナリマシタノデ、只今菅
村サンガ御心配ニ相成ッテ居ルヤウナ

兩稅委讓ノ財源ヲ茲ニ見出スガ爲ニヤッ
テ居ルノデアラウト云フヤウナ事ハ斷
ジテナイデアリマス、其必要ニ迫ラレ
テ茲ニ競馬法ヲ改正致シタノデアリマ
ス、其改正ノ結果自然茲ニ收入ガ百六
十萬圓程生ジテ參ルノデアリマスガ、
ソレハ只今モ仰セニナッタヤウニ、政府
ノ收入ハ、ドノ財源ヲ以テドノ支出ニ
充テルト云フ風ニ、キツチリ決メテ居ル
モノデハナイノデ、財政計畫上サウナッ
テ居ル事ハ御了承ノ通りデアリマスガ、
今回ノ競馬法ノ改正ヨリ生ジマシタ收
入ニ付キマシタハ、大體ノ此原則ニ對
シマシテ例外ト致シマシテ、此收入ハ
大體馬匹ノ改良、馬事振興等ノ經費ニ
充テル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシ
テ、競馬監督ニ關スル經費、或ハ家畜保
險實施ニ關スル經費、馬ノ傳染病、傳染
流產竝ニ不妊症調査ニ關スル經費、馬
事振興ニ關スル經費等、是ダケ大體舉
ゲマシテモ百四五十萬圓ノ經費ニナッ
テ居ルト云フ譯デアリマス、サウ云フ
譯デゴザイマスカラ、大體ニ於キマシ
テ、此收入ハ馬事振興、馬匹改良ノ方ニ
充テルト云フヤウニ相成ッテ居リマス
カラ、兩稅委讓ノ財源ヲ充タヌガ爲ニ、
此競馬法ノ改正ヲシタモノデナイト云
フコトヲ、茲ニ明カニ申上ゲテ置キマ
ス

○菅村委員 ソレニ關聯シテ是ハ本案
ニ直接關係ハアリマセヌガ、隨分政府
デモ馬ノ事ニ金ヲ出シテ居リマス、又

今御話ノヤウニ今後施設スベキ家畜保
險トカ色、アリマスガ、一番生産者ガ
苦シメ居ル問題ガアル、ソレハ種附ケ
ノ交尾料デアリマス、是ハ數年來生産
地トシテハ政府ニ請願モ致シ、色、致
シタコトガアルガ、是ガ實現シナイト
云フノハ、馬ノ方カラ何等ノ收入ガナ
イノニ澤山金ヲ掛ケルノダカラ、何ボ
デモ取ツタ方ガ宜イト云フ譯デアリマ
シテ、所謂此馬產ト云フモノハ國防計
畫上カラ致シマシテ重大ナル問題デア
ルト云フノデ、今日迄ヤツテ來タ以上ハ、
極メテ少額ナ金デアリマスケレドモ、
交尾料ト云フモノハ非常ニ是ハ苦痛ヲ

農村ノ百姓ニスルト容易ナモノデハナ
イ、今器具ヲ買ハナケレバナラヌ、肥料
ノ代金モ拂ヘナイト云フ所ニ持ツテ來
テ、是ハ季節ガアルノデアリマスカラ、
モウ殆ド時期ガ來タト言ヘバ、現金デ
之ヲ出サナケレバナラナイ、其牝馬ヲ
検査ラシテ合格ヲシタコロデ、ドノ
馬ニ掛ケルト云フ認可ハ得テアツテモ、
掛ケルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ状態
ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ大藏省
ノ主管カ農林省ノ主管カ分リマセヌガ、
是非之ヲ廢止スルノ御意思ハアルカナ
イカ、之ヲ簡單ニ御聽キシマス

○戸田政府委員 種付料ハ色、アリマ
シテ一圓、二圓、三圓、四圓、五圓、七圓、
十圓、十五圓、二十圓ト各種ニナツテ居
リマス、是ハ種馬ノ狀況ニ依テ居ルノ
デアリマシテ、之ヲ絕對ニ廢止スルト
云フ意思ハ今持ツテ居リマセヌ、唯特殊
ノ馬ニ付テハ寧ろ高クシテモ宜イト考
ヘルモノモアリマス、併シ又或馬ニ付
テハ安クスル方ガ宜イト思フモノモア
リマス、特殊ノ「サラブレッド」ニ付テハ
現狀デモ安イカト思フモノモアリマシ
テ、一概ニハ申サレマセヌガ、併シ一般
的ニ申シマセバ、サウ種付料ト云フ
モノヲ國ガ澤山取ラウト云フ意思ハ持ツ
テ居リマセヌ、ケレドモ絕對ニ廢止ス
ルト云フ所迄ハ今ハ考ヘテ居リマセヌ

○菅村委員 先刻横屋サンカラ御話ガ
アリマシタガ、洵ニ其通りデアリマス、
今日生産者カラ買フ馬ト云フモノハ、
大概先ヅ三里塚御料牧場、或ハ小岩井
牧場、斯ウ云フ個人經營ノ牧場ヲ持ツテ
居ル人ハ宜シイノデアリマセウガ、本
當ノ農村ニ於ケル生産者カラ良イ馬ハ
高ク買ヒ、産馬ノ獎勵ヲ圖ルト云フナ
ラバ、陸軍デ馬ヲ買フヤウニ、競馬俱樂部
部ヘ年々三千頭ナラ三千頭宛買ツテ行
クト云フヤウニヤツテコソ初メテ此競
馬ト云フモノハ馬ノ獎勵ニナルモノデ
アル、斯ウ云フコトガ實現ガ出來ルノ
デアル、之ヲ明ケ三歳以上ノモノヲ買ッ
テ抽籤馬ダト、斯ウ云フノデハ殆ド生
産者ノ手ヲ離レテシマウ、例ヘバ或ル
產地カラ買ツテ、今度ハ不生産地ノ所謂
育成地デ育テタ人ガ儲ケテ、生産者ガ
一向儲カラヌト云フコトニナリマスカ
ラ、是デハ馬ノ改良ノ原則ニ悖ルノデ
ハナイカト云フノガ、私ノ御尋シタ趣
意デアリマスガ、一體此競馬俱樂部モ
相當ナ馬ノ改良ノ機關トシテヤル以上
ニハ、ソレ位ノ義務ヲ盡シ、イマ年々二
歳デ買ツテ、サウシテ相當ニ育成シ、サ
ウシテ教調管理ヲ加ヘテ、サウシテ競
馬ニ出ス、ソレト同ジヤウニ矢張此ノ
競馬俱樂部ニサウ云フ義務ト云フカ責
任ヲ持タセルト云フコトガ、是ガ一番
生産者ニ必要ナ條件ニナツテ居ルト思
ヒマスガ、ソレヲサウ云フ風ニスルノ
御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ確メ
テ置キタイ

○横屋農林技師 只今種付料ニ付テノ
御話ガアリマシテ、大體局長カラ御話
ガアッタノデアリマスガ、更ニ私カラ申
上ゲタイト思ヒマス、種付料ハ今約十
五萬圓バカリハ、ズット馬政局時代ヨリ
ノ關係上取ラナケレバナラヌコトニ
ナツテ居ツテ、何等カノ財源ニナツタヤウ
ニ聞イテ居リマス、一圓カラ二十圓迄
現在ニ於テハ取ツテ居リマスガ、元種付
料ハ無料ト云フ時代モアッタノデアリ
マス、サウシマシタ所ガ、無料、二圓、或
ハ二十圓ト云フコトニナルト、ドウモ
無料ノ馬ニ種ヲ付ケルノガソレ程ニ種
馬ニ差異ハナクテモ嫌フ、ソレデ一圓
取ルコトニナツタヤウニ覺エテ居リマ
ス、ソレカラ尙ホ今ノ種付料ノ輕減程
普遍的ノ馬匹獎勵方法ハナイデヤナイ
カト云フコトニ付テハ、私モ秋田邊リ
ノ種馬所長時代ニハ、サウ云フ事ヲ考
ヘテ居リマシテ、始終其意見ヲ具申ヲ
シテ、種付料ト云フモノハ僅ニ十五萬
圓位ナラバ全廢シタ方ガ宜イ、斯ウ云
フ議論ヲ始終持ツテ居ッタモノデアリマ
スガ、サウ致シマスト云フト、其秋田ノ
畜産組合長、先頃御罷メニナリマシタ
畠山君アタリカラシテ、即チ早速地元
カラ反對ガ起キマシタ、ソレハドウ云
フ譯カト申シマスト云フト、國有馬ノ
種付料ヲ低減サレ或ハ全廢サレタナラ
バ、民有種牡馬ヲ秋田邊リハ一縣一組
合デ御承知ノ通り、百六十頭内外ノ種
馬ガ居リマスガ、其馬ニ種付ラシテモ
宜イモノガ、國有種牡馬ノ方ニ押スナ
押スナ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナルカラ

今御話ノヤウニ今後施設スベキ家畜保
險トカ色、アリマスガ、一番生産者ガ
苦シメ居ル問題ガアル、ソレハ種附ケ
ノ交尾料デアリマス、是ハ數年來生産
地トシテハ政府ニ請願モ致シ、色、致
シタコトガアルガ、是ガ實現シナイト
云フノハ、馬ノ方カラ何等ノ收入ガナ
イノニ澤山金ヲ掛ケルノダカラ、何ボ
デモ取ツタ方ガ宜イト云フ譯デアリマ
シテ、所謂此馬產ト云フモノハ國防計
畫上カラ致シマシテ重大ナル問題デア
ルト云フノデ、今日迄ヤツテ來タ以上ハ、
極メテ少額ナ金デアリマスケレドモ、
交尾料ト云フモノハ非常ニ是ハ苦痛ヲ

○戸田政府委員 種付料ハ色、アリマ
シテ一圓、二圓、三圓、四圓、五圓、七圓、
十圓、十五圓、二十圓ト各種ニナツテ居
リマス、是ハ種馬ノ狀況ニ依テ居ルノ
デアリマシテ、之ヲ絕對ニ廢止スルト
云フ意思ハ今持ツテ居リマセヌ、唯特殊
ノ馬ニ付テハ寧ろ高クシテモ宜イト考
ヘルモノモアリマス、併シ又或馬ニ付
テハ安クスル方ガ宜イト思フモノモア
リマス、特殊ノ「サラブレッド」ニ付テハ
現狀デモ安イカト思フモノモアリマシ
テ、一概ニハ申サレマセヌガ、併シ一般
的ニ申シマセバ、サウ種付料ト云フ
モノヲ國ガ澤山取ラウト云フ意思ハ持ツ
テ居リマセヌ、ケレドモ絕對ニ廢止ス
ルト云フ所迄ハ今ハ考ヘテ居リマセヌ

○菅村委員 先刻横屋サンカラ御話ガ
アリマシタガ、洵ニ其通りデアリマス、
今日生産者カラ買フ馬ト云フモノハ、
大概先ヅ三里塚御料牧場、或ハ小岩井
牧場、斯ウ云フ個人經營ノ牧場ヲ持ツテ
居ル人ハ宜シイノデアリマセウガ、本
當ノ農村ニ於ケル生産者カラ良イ馬ハ
高ク買ヒ、産馬ノ獎勵ヲ圖ルト云フナ
ラバ、陸軍デ馬ヲ買フヤウニ、競馬俱樂部
部ヘ年々三千頭ナラ三千頭宛買ツテ行
クト云フヤウニヤツテコソ初メテ此競
馬ト云フモノハ馬ノ獎勵ニナルモノデ
アル、斯ウ云フコトガ實現ガ出來ルノ
デアル、之ヲ明ケ三歳以上ノモノヲ買ッ
テ抽籤馬ダト、斯ウ云フノデハ殆ド生
産者ノ手ヲ離レテシマウ、例ヘバ或ル
產地カラ買ツテ、今度ハ不生産地ノ所謂
育成地デ育テタ人ガ儲ケテ、生産者ガ
一向儲カラヌト云フコトニナリマスカ
ラ、是デハ馬ノ改良ノ原則ニ悖ルノデ
ハナイカト云フノガ、私ノ御尋シタ趣
意デアリマスガ、一體此競馬俱樂部モ
相當ナ馬ノ改良ノ機關トシテヤル以上
ニハ、ソレ位ノ義務ヲ盡シ、イマ年々二
歳デ買ツテ、サウシテ相當ニ育成シ、サ
ウシテ教調管理ヲ加ヘテ、サウシテ競
馬ニ出ス、ソレト同ジヤウニ矢張此ノ
競馬俱樂部ニサウ云フ義務ト云フカ責
任ヲ持タセルト云フコトガ、是ガ一番
生産者ニ必要ナ條件ニナツテ居ルト思
ヒマスガ、ソレヲサウ云フ風ニスルノ
御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ確メ
テ置キタイ

○横屋農林技師 只今種付料ニ付テノ
御話ガアリマシテ、大體局長カラ御話
ガアッタノデアリマスガ、更ニ私カラ申
上ゲタイト思ヒマス、種付料ハ今約十
五萬圓バカリハ、ズット馬政局時代ヨリ
ノ關係上取ラナケレバナラヌコトニ
ナツテ居ツテ、何等カノ財源ニナツタヤウ
ニ聞イテ居リマス、一圓カラ二十圓迄
現在ニ於テハ取ツテ居リマスガ、元種付
料ハ無料ト云フ時代モアッタノデアリ
マス、サウシマシタ所ガ、無料、二圓、或
ハ二十圓ト云フコトニナルト、ドウモ
無料ノ馬ニ種ヲ付ケルノガソレ程ニ種
馬ニ差異ハナクテモ嫌フ、ソレデ一圓
取ルコトニナツタヤウニ覺エテ居リマ
ス、ソレカラ尙ホ今ノ種付料ノ輕減程
普遍的ノ馬匹獎勵方法ハナイデヤナイ
カト云フコトニ付テハ、私モ秋田邊リ
ノ種馬所長時代ニハ、サウ云フ事ヲ考
ヘテ居リマシテ、始終其意見ヲ具申ヲ
シテ、種付料ト云フモノハ僅ニ十五萬
圓位ナラバ全廢シタ方ガ宜イ、斯ウ云
フ議論ヲ始終持ツテ居ッタモノデアリマ
スガ、サウ致シマスト云フト、其秋田ノ
畜産組合長、先頃御罷メニナリマシタ
畠山君アタリカラシテ、即チ早速地元
カラ反對ガ起キマシタ、ソレハドウ云
フ譯カト申シマスト云フト、國有馬ノ
種付料ヲ低減サレ或ハ全廢サレタナラ
バ、民有種牡馬ヲ秋田邊リハ一縣一組
合デ御承知ノ通り、百六十頭内外ノ種
馬ガ居リマスガ、其馬ニ種付ラシテモ
宜イモノガ、國有種牡馬ノ方ニ押スナ
押スナ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナルカラ

○横屋農林技師 只今種付料ニ付テノ
御話ガアリマシテ、大體局長カラ御話
ガアッタノデアリマスガ、更ニ私カラ申
上ゲタイト思ヒマス、種付料ハ今約十
五萬圓バカリハ、ズット馬政局時代ヨリ
ノ關係上取ラナケレバナラヌコトニ
ナツテ居ツテ、何等カノ財源ニナツタヤウ
ニ聞イテ居リマス、一圓カラ二十圓迄
現在ニ於テハ取ツテ居リマスガ、元種付
料ハ無料ト云フ時代モアッタノデアリ
マス、サウシマシタ所ガ、無料、二圓、或
ハ二十圓ト云フコトニナルト、ドウモ
無料ノ馬ニ種ヲ付ケルノガソレ程ニ種
馬ニ差異ハナクテモ嫌フ、ソレデ一圓
取ルコトニナツタヤウニ覺エテ居リマ
ス、ソレカラ尙ホ今ノ種付料ノ輕減程
普遍的ノ馬匹獎勵方法ハナイデヤナイ
カト云フコトニ付テハ、私モ秋田邊リ
ノ種馬所長時代ニハ、サウ云フ事ヲ考
ヘテ居リマシテ、始終其意見ヲ具申ヲ
シテ、種付料ト云フモノハ僅ニ十五萬
圓位ナラバ全廢シタ方ガ宜イ、斯ウ云
フ議論ヲ始終持ツテ居ッタモノデアリマ
スガ、サウ致シマスト云フト、其秋田ノ
畜産組合長、先頃御罷メニナリマシタ
畠山君アタリカラシテ、即チ早速地元
カラ反對ガ起キマシタ、ソレハドウ云
フ譯カト申シマスト云フト、國有馬ノ
種付料ヲ低減サレ或ハ全廢サレタナラ
バ、民有種牡馬ヲ秋田邊リハ一縣一組
合デ御承知ノ通り、百六十頭内外ノ種
馬ガ居リマスガ、其馬ニ種付ラシテモ
宜イモノガ、國有種牡馬ノ方ニ押スナ
押スナ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナルカラ

シテ、國有馬ノ種附料トシテハ相當ノ費用ヲ取ル必要ガアルノミナラズ、現在デハ却テ民有種馬ノ數ガ漸減スルト云フヤウナ關係モアルカラ、全廢論ニ對シテハ考慮シテ欲シイト云フヤウナコトモアツテ、全國ニハ全廢ヲ唱ヘル人モアリ、又只今御話ノ如キ御考ノ方モアリマスノデ、或ル所ニ依テハ種附料ダケハ、馬ニハ上下ハアルガ平均ニ三圓トカ二圓トカ、又ハ五圓トカ取ツタ方ガ宜イノデハナイカト云フ如キ聲モアルノデアリマス、尙ホ抽籤種馬ニ付テ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、此抽籤種馬ハ各公認競馬場デ驅ケマスモノハ皆明ケ四歲以上、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、地方ノ購買ニハ自分ノ知ツテ居ル範圍ニ於テハ岩手縣ノ南郡ニ於テ十一月ノ購買ノ二歲賣リガ一番終リノヤウニ心得テ居リマス、二歲ノ明ケニ買ヒマシテ、詰リ競馬ヲサセル爲ニハ三歲ノ明ケカラ馬體ノ鍛練ヲスル必要ガアリマスノデ、先程ノ御話ノヤウニ二歲ハ三歲ノ明ケカラ競馬ヲヤルコトガ出來レバ宜イノデアリマスガ、是ハ馬ヲ壞スト云フ方面カラ、保存年限トカ、其他種々故障ヲ起スト云フヤウナ意味カラ、四歲カラ公認競馬デ驅ケサセルト云フコトニナツテ居ルカラ、購買ノ方カラ申スト三歲ノ明カラ買ツタ方ガ一番利益デアリマシマスガ、賣ル方カラ申シマスト、先程菅村委員カラ御話ノアッタヤウニ二歲ノ明ケ

ニ買ツテ、一箇年競馬俱樂部ニ於テ育成スルノ期間、詰リ國ノ方デヤツテ居ル種馬育成所ノ如キ機關ヲ設ケテ、多數ノモノヲ育成シテ競馬場裡ヲ驅ケサシタラ宜イノデハナイカト云フコトニナリマスノデ、其利害關係ガ各生産者間ニ於テ違ツテ居ルヤウニ心得テ居リマス
○平川委員 私ハ今菅村君ノ御質問ニ對シテノ山口參與官ノ御答辯ヲ承リマシタガ、ソレニ對シテ一點確メテ置キタイ、御答辯ニ依ルト、競馬ニ依ル增收ガ約百六十萬圓アルガ、是ハ無論馬匹ノ事ニ使用スル積リデアルト云フコトデアリマシタ、サウスルト此百六十萬圓ト云フモノハ今ノ收入ヨリカソレダケ增收ニナルノデアルカラ、結局馬匹ノ事ニ於テ使用スル費用ガ現在ノ費用ヨリカ百六十萬圓ダケ増加スルコトニナルト、結局他ノ財源ニハ利用シナイコトニナルト思ヒマス、換言スレバ現今馬匹ノ事ニ付テ使用シテ居ル費用以外ニ、今度增收ニナツテ居ル百六十萬圓全部ヲ増シテ使用スルト云フノデアリマスガ、其點ヲハッキリ承リタイノデアリマス
○山口政府委員 先程申上ゲマシタ通り、此財政計畫ノ上カラ行キマスト、收入ヲ一團トシ、歳出ヲ一團トシテ居ルノデアリマスカラ、ドノ收入ヲドノ歳出ニ充テルト云フ風ニハ結局決ツタモノデハナイガ、例外トシテ競馬納付金ノ増加百六十萬圓ト云フモノハ、馬匹

ノ改良及振興其他ノ事業ノ爲ニ充テタイ、斯ウ云フ考デアリマス
○平川委員 此表ニ依ルト產馬獎勵費ノミナラズ、一般ニ馬匹ノ改良、増殖其他ニ使用シタ以外ニ、百六十萬圓ハ全部使用スルト云フノデアリマスガ
○砂田政府委員 一寸此機會ニ申上ゲテ置キマス、是ハ大分閣議デモ中々議論ガアツタガ、段々調ベテ見マスト一體競馬カラ取ツタ金ヲ一般ノ費用ニ充テルコトガ、怪シカラスデハナイカト云フ議論ガ競馬法ノ出來ル當時ニアツタ、其當時ノ速記録ヲ調ベテ見マスト、百分ノ一取ルト云フ法律ヲ作ツタ精神ハ、此收入ニ依テ馬事振興ニ充テルト云フ事ニ實施ノ當時明カニナツテ居ル、ソコデハ特例ヲ設ケテ將來共此金ハ馬事ノ振興ニ全部充テル事ニ決定シテ居ルノデアリマス、モウ一ツ申上ゲテ置キマス、是ハ日本ダケデナイ、佛蘭西デモ四百幾十ノ競馬ヲヤツテ居リマスガ、取上ゲタ金ハ全部馬匹ノ改良ニ充テ、餘ツタ金ハ社會事業ニ充テルコトニナツテ居リマス、將來日本ノ競馬ガ發達シテ參リマシテ、御承知ノ通り競馬ノ俱樂部ト云フノハ、利益ヲ目的トシナイ興ニ充テ、餘ツタモノハ一般ノ社會事業ニ之ヲ投ズルコトニナルベキ本質ニナツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ此前ノ説明ガ少シ足ラナカッタト思ヒマスカラ一言申上ゲテ置キマスガ、此改正

ハ百分ノ一ヲ三ト改正スルノデアリマスガ、詰リ百分ノ三以内ト云フコトニナル譯デアリマス、ソレデ百分ノ三取ル場所モアレバ、收入ノ少ナイ、例ヘバ福島或ハ新潟ノ如キ所ハ百分ノ三取ツテハ競馬場ガ立ツテ行カナイカラ、收入ノ狀態ヲ常ニ調ベテ居ルカラ、百分ノ三以内ト云フコトデ、百分ノ二位取ル積リデアリマス、即チ競馬場ノ收支ガ償ヒ、尙ホ設備ヲヤルコトノ出來ル餘地ヲ認メテ取ルヤウニシタイト考ヘテ居リマス
○志村委員 今ノ質問ニ關聯シテ一二聽イテ置キタイト思ヒマス、今平川君、菅村君カラ增收ノ其金ヲドウスルカト云フ御質問ガアリマシタ、私ハ大體同様デアリマス、今御質問ナサツタ趣意及數字ガ餘リ的確デナイヤウデアリマスカラ、自分ノ杜撰ナ調査デアリマスケレドモ、ソレニ對シテ御聞キシタイト思ヒマス、元來今同競馬場ヲ殖ヤシマスノハ政府ハ增收ノ爲デナイト御説明ニナリマシタケレドモ、ソレハ矢張增收ガ一ノ理由デアアル、而モソレガ強イ理由ニナツテ居ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレハ何故カト申シマスト、政府ガ民間ノ或ル團體ニ於テ説明シマシタ時ニ、矢張增收ト云フコトガ御話ノ中ニ出テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、又增收ト云フコトガ考ヘラレナケレバ、此増設ト云フコトモ多少意味ガ殺ガレル形ニナリハセヌカト思ヒマス、ソコ

デ先達農林大臣ハ、先程御説明ノ通り、増收シタモノハ總テ產馬計畫ニ使フ、斯ウ云フ御話ハ私モ聞イテ居リマシタ、ソコデ色々内容ヲ調べテ見マシタガ、ドウモ實際ニ於テハ使ッテ居ナイラシイ、ソレハ私ノ調ガ或ハ違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、種牡馬ノ検査ニ關スル經費ノ増加ガ二十萬九千四百四十圓、競馬及馬匹關係ノ費用ガ四萬六千二百二十八圓、馬ノ傳染性流産並不妊症調査ニ關スル經費ガ二萬二千四百四十七圓——チヨット落チマシタガ、競馬監督ニ關スル經費四萬圓ノ中デ——ソレハ經常部デアリマス、臨時部ノ方ハ尙ホ二萬五千三百五十四圓アリマス、不妊症ニ關スル經費ノ中デ臨時部ニ七萬六千圓アリマス、ソレカラ次ハ馬事振興ニ關スル經費ガ經常部デ十九萬八千五百四十六圓、臨時部ガ五十七萬六千二百圓、其次ハ種馬所及種馬牧場事業擴張ニ關スル經費ガ經常部一萬七千二百二十八圓、ソレカラ種馬所及種馬牧場臨時新營及修繕費ガ臨時部デ十萬圓、馬ノ傳染性貧血豫防ニ關スル經費ノ増加ガ臨時部デ九萬八千五百七十五圓、其他ニ補助費トシテ馬匹共進會ノ補助ガ經常部デ五百圓、競馬會設備補助ガ經常部デ一萬三千三百七十六圓、ソレカラ種畜場補助ガ經常部デ一萬五千圓、是ダケガ馬關係ノ費用ノヤウニ思ハレルノデアリマス、サウシテ其總計ハ先程山口サンハ百四十五萬圓デアルト言ハレマシタガ、此計算

デハ總計ガ百十八萬四百五十四圓トナッテ居リマス、デアリマスカラ今回ノ昭和四年ニ於ケル百分ノ三ヲ基準トシタル政府納付金ノ總額ハ、百八十七萬七千幾ラニナッテ居リマスカラ、ソレニ比較シマシテハマダ餘程餘ッテ居リマス、餘ッテ居ルダケデハアリマセヌ、今舉ゲマシタ數字ハ、從來カラヤッテ居ッタ施設ノ費用ガ大分ソレニ加ッテ居リマス、特ニ昭和四年ニ於テ產馬關係ニ關シテ新シク經費ヲ増額シタ費用ト云フモノハ、又別ニアリマス、ソレハ前年ニ比較シテ見マスト、第一ハ種牡馬ノ検査ニ關スル經費ノ増加ノ中デ、經常部デ一萬二千七百七十四圓、ソレカラ馬事振興ニ關スル經費デ、經常部デ十九萬八千五百四十六圓、臨時部デ二十九萬二千二百圓、種馬所及種馬牧場事業振興ニ關スル經費デ、經常部デ一萬七千二百二十八圓、種馬所及種馬牧場新營及修繕費臨時部デ十萬圓、馬ノ傳染性貧血豫防ニ關スル經費ノ増加デ、臨時部デ九萬八千五百七十五圓、其總合計ガ約ソ七十一萬五千圓昭和四年ニ新シク要求サレテ居ル、馬關係ノ費用ト云フモノハ只今申シタ七十一萬五千圓ヨリホカ出テ居ナイ、而モ改正法ニ依リマシテ政府が見積ラレタ增收額ハ約百六十萬圓アル、其百六十萬圓カラ今ノ七十一萬五千圓ヲ引イタ其殘リノ九十萬圓ト云フモノハ、全ク是ハ馬關係ニハ使ハレテ居ラナイデ、一般財源ノ方ニ繰入レ

ラレテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ此増設ニ依テ得タル收入ヲ總テ馬ノ方面ニ使フト云フコトハ少シ腑ニ落チナイ、是ガ一ツ、ソレカラ今一ツハ政府ノ方ハ此改正案ニ依リマシテ約百六十萬圓ノ增收ヲ見越シテアリマズルケレドモ、果シテ其見越サレタル增收が見越シ通リニ出テ來ルヤ否ヤ、ソレガ甚ダ懸念ニ堪ヘナイ、私ハ百分ノ一ノ納付金ヲ百分ノ三ト云フコトニ總テガ引上ゲラレルモノト計算シテモ、中々其數字ハ出テ來ナイ、併シ全國ガ總テ一列ニ二分ノ三ニ引上ゲルト云フコトニ對シテハ、多少異論ガアツタノデアリマスガ、ソレハ今砂田參與官ノ説明デ、競馬俱樂部ノ賣上ノ狀況如何ニ依テハ、多少斟酌スルト云フ御話ガアリマシタカラ、ソレハ全ク合致シテ居リマスカラ、其點ハ至極結構デアリマス、結構デアリマスガ、ソレハ結構デアリ代リニ、今度ハ數字ノ方ハ尙ホ不結構ニナッテ來タ譯デアル、百分ノ三トシテモ尙且ツ是ダケノ增收ハ困難デアラウト思フノニ、其中デ幾分ナリ百分ノ二ト云フ箇所ガ出テ來レバ、尙ホ其增收ノ數字ト云フモノハ減ッテ來ナケレバナラス、假ニ從來ノ通り百分ノ一トシマスト云フト、豫算表ニ依リマズレバ二十九萬幾ラト云フ收入ニナッテ居リマスルガ、昭和三年度ノ參考書類ニ依ル數字ハ、賣上總額約三千二百萬圓デアリマスカラ、假リニ其最近ノ數字ヲ基準トシテ、サウシテ政府納付

金ノ歩合ヲ計算シマスレバ、三十二萬圓ニナリマス、政府ノ豫算デハ二十九萬幾ラニナッテ居リマスルケレドモ、是ハ實際ハ三千二百萬圓賣レタノデスカラ、三十二萬圓アル譯デアル、所ガ今度ノ方ハ百八十七萬何千圓ト云フモノガアリマスカラ、其後ノ賣上ト云フモノハ何處ヲ基準トシテ、サウ云フ數字ガ出テ來タカ、今マデノ競馬ト云フモノハ、私ハ殆ド馬券ノ賣上ト云フモノハ最高潮ニ達シテ居ルト思フ、一方ニハ色々ナ議論ガアリマスケレドモ、競馬ノ實際ト云フモノヲ見マスレバ賭博デモナケレバ、富籤デモナイ、ソレハ何モ馬ノコトヲ知ラナイデ買フ者ハ賭博或ハ富籤ト云フケレドモ、其點モ先程砂田サンカラ詳シク御説明ガアリマシタガ、全ク其通りデアル、尙ホ進ンデ言フナラバ、馬ヲ知ラザル者ハ馬券ヲ買ハヌ方ガ宜イ、知ラズニ馬券ヲ買ッたら必ズ損ヲスル、サウ云フ人ハソレニ懲リテ二度ト買ハナイ、結局馬ヲ見テ買ハナケレバナラヌト云フノデ、ソコニ初メテ馬事思想ノ普及ト云フコトハ出來ルノデアルカラ、馬場ノ設備ヲ完全ニシ、下見地ノ設備ヲ完全ニシテ、馬券ヲ買フモノハ總テノ馬ヲ見ラレルト云フコトニナラナケレバナラヌダラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ、其點ハ益々設備ヲ完全ニシテ賣フコトヲ要求スル次第デアリマスケレドモ、ソレニシテモ今ノ馬券熱ト云フモノハ可ナリ高潮ニ達シ

テ居リマスカラ、是以上ニ現在ノ競馬場ノ設備現在ノ競馬場ノ狀態デ是以上ニ賣上ゲガ上テ行クト云フコトハ中ニ考ヘラレナイ、寧ロ私ハ減ルト思ヒマス、殊ニ之ヲ増設シテ、他俱樂部ノ所謂抽籤馬ト云フモノガ遠征シナクナッテ來レバ、勝負ハ興味ガ少クナッテ來ル、サウナレバ馬券ガ減ッテ來ル、論ヨリ證據、馬券ガ一番何ニ賣レルカト云フト、所謂「チャンピオン・レース」或ハ「オーハン・レース」サウ云フヤウナ興味アル「レース」ニ一番馬券ガ賣レルノデアリマスカラ、興味ガ單調ニナレバ馬券ノ賣高ガ減ッテ來ル、サウシテ他流試合ガナクナッテ來ルノデアリマス、試合ガ單調ニナッテ來マスカラ、馬券ガ是レ以上賣レルコトハ殆ドナカラウト思フ、シテ見ルト昨年三千二百萬圓賣レテ、サウシテ其一步ノ三十二萬圓シカ取レナカッタモノガ、假ニ新設俱樂部ガ五箇所アルニシタ所デ、又開催日數ヲ四日カラ六日ニ殖ヤストシタ所デ此開催日數ヲ殖ヤシタ率ト新設俱樂部ガ出來タ其新賣上、ソレ等ヲ合計シテ見テモ、サウシテ日本全國全體ニ百分ノ三ト云フ率ニ計算シテモ、尙且ツ政府ノ豫算スルヤウナ百六十七萬圓ト云フ納付金ハ絕對ニ私ハ無イト思フ、ケレドモ御經驗ノアル専門ノ政府ノ方ミガ編成セラレタノデアリマスカラ、定メシ確カナ基準ガアルダラウト思フノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイ

○山口政府委員 競馬法ヲ改正シタノハ增收ヲ目的トシテ居ルノデハナイカト云フコトノ重ネノ御質問デアリマシタガ、先程申上ゲマシタヤウニ、馬匹ヲ改良致シマスガ爲ニ、此競馬法ヲ改正致シタノデゴザイマシテ、增收ヲ目的トシテヤッタノデハアリマセヌ、志村サシモ御承知ノ通り此日本ノ納付金ガ百分ノ一ト云フノハ、元來諸外國ト較ベテ安イノデアリマス、佛蘭西ノ如キハ百分ノ五ト云フ程度マデ納メテ居ルト云フヤウナコトニ比較致シマス、百分ノ一ヲ百分ノ三ニ上ゲルト云フコトハ、是ハ當然デアルト云フ風ニ考ヘマシテ、此競馬法ヲ改正致シタ、其結果茲ニ收入ガ増加シテ來タ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、收入ノ増加ヲ目的ト致シマシテ此競馬法ヲ改正シタノデハナイノデアリマス、ソレカラ只今馬匹關係ノ方ニ使ッテ居ル所ノ金ヲ百四十五萬圓ト言ッタケレドモ、サウナッテ居ハシナイイデヤナイカト云フコトノ御尋デアリマシタガ、私ガ只今百四十五萬圓ト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、斯ウ云フ風ニ相成ッテ居ルノデアリマス、競馬監督ニ關スル經費ガ六萬五千九百六十二圓、家畜保險實施ニ關スル經費ガ十三萬四千七百圓、馬ノ傳染性流産竝ニ不妊症調査ニ關スル經費ガ九萬八千四百七十七圓、馬事振興ニ關スル經費ガ七十七萬四千七百四十六圓、馬ノ傳染性貧血豫防ニ關スル經費ノ増加ガ九萬八

千五百七十五圓、其他牧野改良費等ガ三十二萬九千七百十四圓、合セテ百四十九萬七千五百五十一圓、斯ウ云フ風ニ計算ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、是ハ皆新規ノ計畫デゴザイマシテ、此競馬納付金百六十七萬圓ノ殆ド九分九厘マデハ馬ノ關係ノ支出ガ占メテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ御質問ハ、豫想ダケ上ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ豫算デアリマスカラ結局豫想デアリマスガ、競馬場ヲ新設致シマス、又日數モ殖スノデアリマス、デアリマスカラ私共ハ百六十數萬圓ノ增收ガアルト信ジテ居ルノデゴザイマス、尙ホドウ云フ基準デ以テソレダケノ增收ガアルモノト信ズルカト云フ其基準ト云フコトニ付キマシテハ、農林省ノ方カラ御説明ヲ願ッタ方ガ宜シイト考ヘマス

○戸田政府委員 只今ノ御質問ノ中ノ一部分ニ關シテ、數字ノコトデアリマスカラ念ノ爲ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、馬ニ關スル既定經費ニ付テ、大分政府ノ考ヘテ居ルコトハ違フデヤナイカト云フ御質問デアリマスカラ、ソレヲ明カニシテ置キマス、ソレハ農林本省デ三十八萬八千五百三十二圓ト云フモノガ、馬ニ關スル既定經費デアリマス、其内譯ハ俸給、馬匹去勢費、馬匹改良増殖獎勵費、種畜檢査費、是ハ農林省ニ這入ッテ居リマス、是ハ既定經費デアリマシテ、新規要求デハナイノデアリマス、ソレガ農林本省デ三十八萬八千五百三十二圓デアリマス、ソレカラ種馬所及種馬牧場ノ經費全體デ百五十七萬七千四百四十八圓、試驗場及調査費ノ中デ馬ノ傳染性貧血竝ニ骨軟化症ノ調査費三十九萬七千六百二圓、農村振興ノ經費ハ種牡馬設置獎勵竝ニ牧野共同施設獎勵費、其中ノ牧野改良獎勵費ハ國有限定地ダケノ獎勵費デアリマスガ此計ガ八萬五千二百圓、ソレカラ本省外ノ家畜疾病豫防費、是ハ豫算ノ款項デハドウ云フ名前デアッタカ、ハッキリ記憶致シマセヌガ、實際内容ハ馬ノ傳染性貧血症ノ調査ニ七萬一千九百圓デアリマス、ソレハ本年度ノ豫算ニハ先程大藏參與官カラ御話ノアッタ新規増加九萬八千五百七十五圓ガ、今年ノ額ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フモノヲ合セテ既定經費約二百十六萬餘圓ト云フコトニナルノデアリマス、之ニ今御説明ノアッタ百四、五十萬圓ト云フモノヲ加ヘルト云フコトニナリマスカラ、三百四、五十萬圓ノ經費ト云フコトニナルノデアリマス、其處ハ誤解ガアルトイケマセヌカラ明瞭ニ致シテ置キマス、ソレカラ今度ノ新經費ノ中デ牧野改良費ガ六千三百四十二圓出テ居リマスガ、是ハ三箇月分ノ費用ダケデ、四年度ノ方ハ經理困難デ斯ウナッテ居リマシテ、財政計畫表ニハ五年度カラハ全然認メルヤウニ大藏省ト約束濟ニナッテ居リマス、其經費ガ昭和五年度カ

ラハ十四萬圓乃至十六萬圓ト認メルコトニ財政計畫ガナッテ居リマス、是ハ御參考マデニ申上ゲテ置キマス、ソナヤウナ譯デアリマス、ソレカラ歳入ノ方ノ見積概計ハ、是ハ賣上高ヲ標準トシテ百分ノ二ト云フモノト百分ノ三ト云フモノニ假定シマシタ、即チ一回ノ賣上ノ標準ト致シマシテ百分ノ二ト百分ノ三ニ基礎ヲ求メテ居リマス、總テ百分ノ二ト致シテ居ル譯デアリマセヌ、ソレカラ將來ハ大中小五ツノモノニ凡ソ分ケテ大體見積ヲ立テタノデアリマス、ソレカラ現在ノ豫算ト實收額トノ關係ノ御話ガアリマシタガ、是ハ御説ノ通りデアリマス、現在ノ豫算ハ二十七萬圓ニナッテ居リマスガ、實收ハ一寸ソレヨリ多ウゴザイマス、ソレハ從來此概計表ヲ制定サレマシタ際ニハ、ドウ云フ賣上高ニナルカハッキリ分リマセヌノデ、御承知ノ通り百分ノ一トナッテ居リマシテ、實際ヤッテ見マシタ結果ガ年々増額シテ行ッテ居ルノデ、丁度歳入ノ見積トシテハ、非常ニ何ト言ヒマスカ動キ方ガハッキリ分リマセヌカラ、前々年度ヲ基礎トシテヤッタノデアリマス、ソレガ年々増加シテ來マスノデ、實收ハ年々多イ、ソレハ御説ノヤウニ五年ノ經驗デ大凡ノ見當ガ附イタノデアリマス、ソレデ今度ハ實績ニ依テ積算ヲ直シテ居リマス、ソレデ或ル俱樂部ニ於キマシテ、サウ無限ニ是カラ増加スルトハ考ヘラレマセヌ、ソレデ豫

算ハ現在ノ狀況ヲ基礎トシテ豫算ガ組ンデアル次第デアリマス、唯御話ノアリマシタ點ニ付テハ、是ハ水掛論ト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ狀況ハ多分御否定ニハナルマイト思ヒマス、例ヘバ日本デ一番大キイ目黒ト横濱、アノ二ツノ競馬俱樂部デハ、御承知ノヤウニ目黒邊リハ近々ニ設備ノ改善ヲスベキモノデアルト思ヒマスガ、土地ノ問題デ、今日デハ入場者ガ札ヲ買フ場所ガ狹イ爲ニ混雜シテ、一等席ナドニ居ル人ガ餘リ混雜スルカラ止メルト云フ人モアルノデアリマス、アレガ移轉デモシタ曉ニ、モット大キクナレバ、モウ少シ今ヨリハ人ガ殖エルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、横濱モ亦然リデ、非常ニ土地ノ關係デ狹イト云フ、ソコデ馬券ヲ買フ時ニ非常ニ混ムノデ止シテ置カウト云フ人モアル、ソレハ澤山ナ數デハアリマスマイガ、ソナヤウナ現狀デアリマスカラ、非常ニ増加スルトモ考ヘラレマセヌケレドモ、現在ノ事情ヲ基礎トシテ積算スルト云フコトハ、大シタ誤リハナイト思フノデアリマス、ソコデ收入豫算ハ大體現在ノ事情ヲ基礎トシテノ積算ニナッテ居リマス

○志村委員 今ノ御話ガアリマシタガ、マダ數字ガドウシテモ出テ來ナイ、假ニ目黒ガ改築サレ、横濱ガ改築サレルトシマシテモ、ソレハ昭和四年ニハ間ニ合ハヌ、隨テ昭和四年ノ豫算ニ豫想サレル數字デハ絕對ナイ、横濱ハ現場ヲ見マシタケレドモ、マダ今日明日ノ間題デハナイ、目黒モ府中ノ方ニ引越スト云フコトヲ聽キマシタガ、是モ問題デヤナイ、隨テアナタ方専門家デアリマスガ、馬場ト云フモノハ一箇月ヤ二箇月デ完成スルモノデアアリマセヌカラ、ソレハドウシテモ昭和四年ニ新馬場ニ於テ開始スルト云フ運ビハ絕對出來ナイト思フ、隨テ目黒ヤ横濱ガ改築サレテ増加スルコトハ、昭和四年ノ豫算ニ豫想スルコトハ無理デアラウト思フ、去年ノ賣上ガ三千二百萬圓、是ハ可ナリ誇張シタ豫算デアラウト思フ、サウシテ見マス、是カラ先四日間ガ六日間ニナリマスカラ、同ジ率デ行ッタルト、五割増ス譯デアアル、ソレデ去年ノ最高潮ニ達シタ賣上ゲデアラウト思フ、ソレヲ基準トシテ實數ノ五割増ヲ加ヘテ、ソレデモ尙且ツ後ヘ約二千萬圓ト云フ賣上ゲガ殘ッテ來ル、其約二千萬圓ノ賣上ト云フモノハ、新設俱樂部ノ賣上デナケレバナラス、其新設俱樂部ト云フモノヲ假ニ政府ガ既ニ候補地ヲ内定シテアッテ、彼處デハ何處其處ヘ置ク、而モ置ク所デハ、アノ馬場ヲ引上ゲテ直ニ公認競馬ニスル、斯ウ云フ御内意ガアッテ、著々ト設備ヲ進行サセテ居レバ別デアリマス、先達言ハレタ通り、是ハ全ク利權運動ニハ關係無イモノデ、政府ハ今マデノ十一箇所ノ公認競馬場ト云フモノハ、從來地方競馬ノ馬場ヲ

其儘引上ゲテ公認シタノデアッテ、是マデハ產馬ノ關係カラ言ッテモ、適切ナ場所デナイ、又施設ノ上カラ言ッテモ先程申上ゲタ通り、理想的デナイ、ソコデ總テ此競馬ト云フモノヲ理想的ニヤッテ行カウ、ソレニハ產馬地ノ關係モ考慮シナケレバナラナイ、配置モ考ヘナケレバナラナイ、ソレガ爲ニ新設スルト云フノデアアルナラバ、政府ハ後ノ目星ハ附ケテアッテモ、マダ候補地ノ選定及確定ハシテナイ筈デアアル、シテ見マス、是ハ法律案ニナッテ通過シタ後デナケレバ、其候補地ノ選定ニハ取掛カレナイ筈デアアル、シテ見マスドウシテモ是カラ先ト云フ競馬デアリマスカラ、昭和四年ノ豫算ニハ間ニ合ハナイト思フ、殊ニ先程抽籤馬ノ御話ガアリマシタガ、是ハ意見ガアリマスカラ後デ申上ゲマスガ、三箇月ナリ、四箇月ノ訓練ヲ加ヘテ競馬馬ニ出スト、何ト致シテモ昭和四年ノ春期ニハ間ニ合ハナイ、間ニ合ハナイトスレバ秋期ダケノ賣上シカ計算出來ナイノデアリマシテ、其殘リノ新設五箇所ノ競馬場ノ、而モ秋期ダケノ賣上ハ二千萬圓ト云フ巨額ニ達スベキコトハ、是ハモウ萬々ナイ、目黒トカ、横濱トカ、京都トカ、大阪トカ、中山トカ、俗ニ五大競馬ト申シマスケレドモ、此五大競馬ノ賣上ダケデモ二千萬圓アルカ無シ、而モ新シク造ッテ春期ニハ間ニ合ハナイガ、其賣上ガ二千萬圓ニ達スルト云フコトハドウシテモ

出テ來ナイ、ソレハ私ガ全國總テガ百分ノ三ト云フ率ノ計算ヲシテモ尙且ツサウデア、之ヲ若シ百分ノ二ト云フ場所ガアルトスレバ、尙ホ賣上金ハ殖エテ來ナケレバナラス、益、政府ノ此數字ト云フモノハ基礎ガ不安定ニナツテ來ル、私ハ唯サウ云フコトヲ言フテ異論ヲ唱ヘルガ爲ニ質問スルノデハナイ、ドウカ競馬ト云フモノヲ理想的ニ完全ニ發達サセタイト考ヘマスカラ質問スルノデアリマス、ドウカ其邊ハ御隔意ナク御説明ガ願ヒタイト思フノデス

○戶田政府委員 今ノ東京ト横濱ノコトニ付テ申上ゲタノハ、詰リ將來ノ場合ノコトノ參考ニ申上ゲタバケデス、ソレガ基礎ニハナツテ居リマセヌ、唯斯ウ云フ點ハ考ヘテ居リマス、既往ノ成績カラ言ヒマス、中山ノ競馬俱樂部ハヤリ始めタバカリデアリマスカラ、初メハ少イデスガ、二度目ニハ増加シマシタ、或ハ志村君ノ御見込モ、東京横濱ニ次グモノニナルト云フ御見込デアルト思ヒマスガ、中山ハ特殊ノ扱ヒヲシテ居リマス、今度三月ニヤリマス、新設ノ方ハ御説ノ通りデアリマス、デアリマスカラ見積ガ仕惡イ、是ハ豫算デ

見積ヲ假定的ニ立テルヨリ仕方ガナイ、大中小ト云フヤウニ假定的ニ見テ豫算ノ方ハ其中ノドノ位收入ガ取レルダラウト云フ見當ヲ出シテ居ルニ過ギナイ、ソレハ議論ニナリマスガ、假ニサウヤツテ居リマス、サウシテ外ノ方デハ

最近ノ成績ヲ基礎トシテ收入ヲ實ハ立テ、アノ方ノ計算トシテハ之ヲ政府ノ收入豫算ニ立テタト云フ狀況デアリマス、唯實收トハ差引イテ居リマセヌ、詰リ豫算トシテハ前々年度ノ豫算ガ普通二十七萬圓出ル譯デ、ソレトノ差引デスカラ、金額ハ大キク出ル譯デス、今マデノ實收ニ從タモノハ自然增收ニ這入ツテ居ッタノデス、豫算ノ立方ハサウデアリマスカラ、引ク際ニハ豫算カラ引カナイデ、實收カラ引クカラ二十七萬圓ニナルト云フノデ、先程大藏參與官ガ説明サレタヤウニナルノデアリマ

ス ○志村委員 私ハ後デ自分ノ番ガ來テカラ質問スル考デアリマスカラ、外ノ人ノ質問ノ邪魔ヲシテハ惡イカラ、是ハ讓リマスケレドモ、ソレニシテモ私ハ實收額ト貴方ノ方ノ豫算額トノ間ニ差ガアルト云フコトハ御尤デアルト思フ、私ハ五十歩モ百歩モ讓ツテ、豫算ニハ出テ居ナイケレドモ、參考書類トシテノ計算デアルカラ計算ニハ誤リナイト思フ、貴方ノ御話ニ依レバ、新設競馬場ニハ場所ガ決マツテ居ナイカラ、甲乙丙ニ分ケテ計算シタト云フ御尤ナ話、ソレガ決マツテ居ツテ、例ヘバ、是ハ一例デスカラ決マツタ場所デアリマセヌケレドモ、名古屋ナラ名古屋ニ置ク、大阪附近ニ置ク、或ハ廣島ニ置ク、新聞ニ傳ハツテ居ルダケラ私ハ例ニ引クノデスケレドモ、名古屋ニ置ケバ、此處ハ非常

ニ賣レルト思フ、或ハ長イ將來ニ於テハ、東京大阪ヲ凌グ一流競馬場ニナルルカモ知レナイ、其場所ガ決マツテ居レバ、アノ場所ハ賣上ゲノ算定ガ附クノデス、政府ノ方デ甲乙丙ニ分ケテ概算ガ決メテアルト云フカラ、ソレデ宜カラウト思フ、サウナツテ來ルト尙ホ一層既定競馬場ノ賣上ト云フモノハ殖エテ來ナケレバナラス、私ハ實收額ヲ基礎トシテ計算シテモ政府ノ豫想スルヤウナ收入ハドウシテモ出テ來ナイ、ソレガ出テ來ルトスレバ政府ノ方デハ馬券ガ益賣レテ來ル、而モ從來ノ例ヲ取ツテ見ルト約一割シカ増加シテ居ナイ、從來ノ例ノ一割以上ニ馬券ノ賣レ方ガ殖エテ來ルト云フコトノ基準デナケレバ、此數字ハ出テ來ナイ、ソレハ重ネテ私ノ質問ノ順ガ廻ラテ來タ場合ニ伺ヒマス

○佐藤委員 私ハ農林當局ニ質問シタインデアリマス、最初ニ競馬法ガ制定サレタケレドモ風教上實害甚大ナルモノトシテ廢止サレタコトハ事實デアリマス、又現行ノ競馬法ガ制定サレタ際ニ於テモ、議會ニハ之ニ對シテ反對ノ空氣ガ漲ツテ居ッタノデアリマス、殊ニ貴族院ニ於テハ或ル制限ヲ付シテ議決シタカノ如キ觀ガアッタノデアリマス、即チ此附則ノ示ス所ノ「當分ノ内十一以內トス」トアルノハ是ヨリモ増サナイ、漸次之ヲ制限スル、縮少スルト云フ性質ヲ持ツテ居ッタト云フヤウニ聞イテ

居リマス、而シテ先刻參與官カラ他ノ委員ノ質問ニ對シテ答辯セラレタ所ヲ見ルト、更ニ賭博若クハ富籤類似ノモノデナイ、又風教上ニ於テモ害ヲ及ボスモノデナイト云フヤウニ私ハ拜聽シタノデアリマス、是ハ一昨日農林大臣ガ辯明セラレタ所ト甚ダ矛盾シテ居ルト思ヒマス、或ハ其後御相談ニナツテ變ヘラレタノデアルナラバ、ソレデモ宜イノデアリマスケレドモ、一昨日ハ確ニ富籤類似ノモノデアツテ、風教上ニ害ヲ及ボスト云フコトヲ認メラレテ居ッタノデアリマス、是ハ速記録ヲ讀メバ直グ分ルコトデアリマス、殊ニ司法當局ニ於テモ富籤ト同様ノ性質ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ明ニ述ベラレテ居ルノデアリマシテ、マサカ同一内閣ニ於テサウ云フヤウナ不統一ノコトモナイダラウト思ヒマス、同一省内ニ於テ意見ガ區々デアルト云フコトモナカラウト思ヒマスガ、私ハ第一ニ農林當局ガ一日辯明サレタコト、今日參與官ニ依テ辯明サレタコト、ノ相違ヲ御聽キシタイノデアリマス、ドチラガ宜イカト云フコトヲ第一ニ御聽キシタイ、ソレカラ第二ニハ此競馬ノ開催期日ヲ五割増シ、又開催地モ約五割増スト云フコトニナルト、今デサヘ新潟若クハ福島ノ如キ法人ニ於テハ甚ダ經營困難デアルト云フ御話ガ先刻參與官カラアッタガ、ソレハ此期日ヲ増シ場所ヲ増スコトニ依テ益困難ヲ増スコトニナルト

思ヒマス、サウスルト此競馬法ノ改正ニ依テサウス地方ニ於テ馬匹ノ振興ヲ阻害シ、馬事思想ノ普及ヲ阻害スルヤウナ結果ニナルト思ヒマスガ、ソレヲ改善シナケレバナラヌコトニナルト、自然一方ノ權利ヲ奪フコトニナルガ、此點ニ關シテ農林當局ノ御意見ハ如何デアルカ

○砂田政府委員 農林當局ノ意見ガ區區ニナツテ居リハセヌカ、又司法省ト農林省トノ意見ガ違フハ居ナイカト云フ御尋ニ對シテハ、斷ジテ間違ッテ居リマセヌ、此間大臣ノ答辯ノ中ニモ賭博ニアラズト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併ナガラ競馬ト云フモノガ全然射倖ト云フコトヲ絕對ニ含マヌモノデアルカト云ヘバ、ソレハ多少ノ射倖ト云フモノヲ含ンデ居ルニハ相違ナイ、ダカラソレガ國防ノ關係ノ上ニモ、馬事思想普及ノ上ニモ、馬事振興ノ上ニモ全然必要ノナイコトナラバ、サウスルトコトヲ廢メタ方ガ結構デアラウト云フ意味ノコトハ私モ申上ゲタ、ソレハ單リ此競馬ダケデハアリマセヌ、商賣人ガ年末ニ景品ヲ付ケテ賣出スルノモノ一種ノ射倖デアアル、サウスルトコトヲシナイデ濟ムナラバ全部廢メタ方ガ宜イ、勸業債券ノ割増付抽籤ヲスルコトモ一種ノ賭博富籤ニ近イ、サウスルトコトヲヤラナイデ濟ムナラバ廢メルコトガ理想デアラウ、此意味ノ答辯ヲ大臣ハサレタノデアリマス、吾々モ其點ニ

於テハ同ジ考ヲ持ッテ居リマスガ、現在競馬法ト云フモノヲ實施シテ居ル今日ノ狀態ハ、是ガ爲ニ風紀ヲ紊シ、生業ヲ失フト云フヤウナ危險ナル、今日普通ニ行ハレテ居ル博奕ト云フモノトハ違フ此趣旨ヲ先刻明ニ申上ゲタ積リデアリマス、大臣ノ御答辯ニナツタ點モ私ノ申上ゲル點モ同ジコトデゴザイマシテ、決シテ間違ッテハ居リマセヌ、又司法省ノ答辯モ同様デゴザイマス、是ハナイ方ガ宜イニ違ヒナイ、併ナガラ諸種ノ點カラ考ヘテ、風紀ヲ紊サハル範圍ニ於テ之ヲ法的ニ認メタ、ソレダカラ狹イ意味デ無理ニ言ヘバ富籤ノ一種デアラウ、是ハ競馬法ヲ作ッタ當時ノ林司法次官カラ貴族院及ビ衆議院デ明瞭ニ御答ニナツテ居ル點デアアル、ソレデアルカラ競馬ノ勝馬投票ト云フモノ、馬券ノ發賣ト云フコトガ射倖ト云フコトヲ絕對ニ阻却シタモノナリヤト云フ御質問ナラバ、ソレハ阻却シテ居ナイ、併ナガラソレガ風紀ヲ紊スガ如キ賭博若クハ富籤ニアラザルコトヲ私ハ先刻明ニ申上ゲタ、而モ其内容ハ段々現實ニ進ミツ、アル、ソレダカラ左様ナ點ニ於テハ決シテ心配ガナイト云フコトヲ明ニ申上ゲタノデアリマス、是ダケヲ御諒承願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ若シ今ノ競馬ノ日數ヲ此以上ニ殖ヤスナラバ、新潟或ハ福島、宮崎ト云フヤウナ場所ガ困リハセヌカ、ソレガ爲ニ馬事ノ振興ヲ阻害スルコトニナリハセヌカト

云フ御尋デアリマシタガ、先刻私ノ御答申上ゲタノハ、全國トノ競馬場モ平均デアルガ、百分ノ三ヲ取ルト云フコトハ過大ニ失スル、ソコデ其競馬場ノ馬券ノ賣上ノ狀態ニ鑑ミマシテ、其狀態ニ應ジテ負擔ニ堪ヘラル、程度ニ於テ、百分ノ三ト百分ノ二ノ區別ヲスル積リデ居リマスト云フコトヲ申上ゲタ

ノデアリマス、併ナガラ新潟、福島、宮崎ナドガ現在デモ損ヲシテ居リマスト申上ゲタコトハナイ、ソレカラ此日數ヲ是ヨリ伸バシタナラバ、尙ホ損害ガ大キクナツテ來ルト云フ問題ガ起ツテ來ル道理ガナイ、ソコデ各競馬場トモ今モ相當ニ利益ヲ擧ゲテ居リマス、其利益ノ一部分ヲ割クノデアルガ、ソレニハ百分ノ三ヲ負ハシテモ差支ナイ、併ナガラ乏シイ所ガアルカラ百分ノ三ト二トニ區別シタト斯ウ申上ゲタノデアリマス、ソレデアリマスカラ日數ヲ殖ヤスコトニシタ爲ニ、其競馬場ガ損ヲスルト云フコトハナイ、是ハ夢想ダモシナイ、日數ガ二日間伸ビルダケソレダケ收入ガ殖エル、是ダケハ矢張競馬場ノ利益トシテ擧ッテ來ルモノト考ヘテ、併シドウシテモ損ガ行クト云フヤウナ結論ニナリマスルナラバ、何モ其期間ヤラナクテモ儲カルダケヤツテ止メテモ差支ナイ、併シソレハ事實トハ丸デ反スル、事實ニ於テハ損ヲシテ居ルト云フコトハアリマセヌ、以前ニハ損ヲシタヤウナ所モアリマシタガ、今

日ドノ競馬場デモ損ヲシテ居ルト云フ競馬場ハナイ、隨テ百分ノ二ヲ取リマシテモ、又日數ヲ殖ヤシマシテモ、ソレガ爲ニ現在ノ競馬場ニ影響ガアルト云フコトハ絕對ニナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、是ハ安心ヲ願ッテ差支ヘアリマセヌ

○菅村委員 只今參與官ノ御答ニアル通り、百分ノ三トシテモ、百分ノ二若クハ三ト致シ競馬場ノ實情ニ顧ミテ斯ウ云フ風ニスルト云フ御説明デアリマシタガ、是ハ諒解致シマス、是ハ百分ノ一デモサウスルト先例ガアリマスガ、百分ノ一トシテアツテモ、是迄ノ間ニ百分ノ一以內ノ場所ガアリマシタカドウカ、之ヲ一ツ、ソレカラモウ一ツハ此競馬協會ト云フカ、競馬俱樂部ト云フカ、其政府ノ納付金ノ外ニ矢張馬事改良費ト申シマスカ、何カニ四十萬圓ノ寄附金ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是ハ必ズアリマスカ、若シ之ヲ百分ノ二ト百分ノ三ニ増加シテ行ケバ、其四十萬圓ノ金ノ寄附ハドウナル見込デアリマスカ、之ヲ御尋ネ致シマス

○砂田政府委員 其一番初メノ百分ノ一ト云フノハ……

○菅村委員 現在百分ノ一デスネ、以內トナツテ居ッテ、矢張其以內ヲ取ツタ所ガアルカ、ソレハ一般ニ財政ガ苦シクトモ、ソレダケ取ツタカト斯ウ云フ譯デアリマス

○砂田政府委員 御答申上ゲマスガ、

只今迄ハ百分ノ一以内ト申シマシテモ、皆百分ノ一平均ニ取ツテ居ル、百分ノ一ヨリ少イ所ハアリマセヌ、ソレカラ今一ツノ御尋ノ、其外ニ産馬ノ獎勵ノ爲ニ競馬俱樂部カラ寄附シテ居ルガ、ソレハ依然トシテ寄附ラシテ貰フ積リデアリマス、ソレニ變リハナイ積リデアリマス、ソレヲ止メテシマフコトニナレバ、モウ少し上ゲテ差支ナイ、ソレハ依然トシテ今日迄通り出シテ貰フ計畫ノ下ニ、百分ノ三ト云フコトニ最高ヲ決メタ次第デアリマス、ソレデ收支ハ償フダケノ計算ニナツテ居リマス

ル基礎デアリマス、若シ是ガナケレバ如何ニ競馬ヲ盛シニシテ獎勵ヲ致シマシテモ、良イ馬モ出來ナケレバ現狀ヲ維持スルコトモ出來ヌ、年々此馬ノ頭數モ減少スル傾向ニナルコトハ、全ク是ハ農村ノ今日ノ狀態カラ見マスルト云フト、寒心ニ堪ヘナイ問題デアリマス、ソレデ是迄モ此放牧限定地ヲ見ルト、即チ國有林野乃至御用地等ヲ拜借シテ居ッテ、相當ノ料金ヲモ出シテ居リマスガ、最近承ル所ニ依ルト、農林省ノ方ニ於テ、矢張營林局ト申シマスカ、山林局邊リデハ、成ベク此放牧限定地ヲ縮小シテ行クト、所謂馬ノ頭數ガ減ルカラト云フ意味カ、或ハ又營林局邊リデ植林計畫ノ上カラダカ存ジマセヌケレドモ、兎ニ角非常ニ馬産ト云フコトニ對シテ不安ノ念ヲ抱カセル、現ニ私共ノ福島ノ田村郡邊リデハ、郡山ノ營林署カラ、約半分位ニシテ吳レト云フ談判ヲ受ケテ非常ニ困ッテ居ル、放牧地デ一頭ノ馬ノ使用地ハ五町乃至六町ヲ限度トシテヤッテ居ル、所ガ其放牧地ノ全面積ヲ見マシテモ、崖ガアリ石ガアル、到底其馬ノ行クトガ出來ナイ所迄モ含マレテアル、實際政府ガ使用地トシテ馬一頭ニハ五町歩ト致シマシテ其面積ガアツテモ、十分ニ其處ヲ利用スルコトガ出來ナイ、況ヤ場所ニ依リマシテハ、林間放牧デナイト牧草ガ旨ク繁茂シナイ所ガアル、サウ云フヤウナ所ニハ矢張相當ニ面積ヲ利用セシ

メルト云フコトガ、即チ馬ヲ繁殖セシメ、所謂現勢ヲ維持スル必要條件デアルガ、政府當局ハ現在ノ所ニ於テハ此放牧ノ限定地ヲ縮小スル意思ガアルカナイカ、アツテハ大變ニ困リマスガ、ソコヲ一ツ承リタイ

足シマスガ、事實サウ云フ譯デ、此間農林省ニ陳情ニ來タノデアリマス、是ハ或ハ營林局ノ方ガ獨斷ニヤッタノカ分リマセヌガ、田村郡ノ二瀬村ノコトデスガ、サウ云フコトガナイトスレバ、ソレデ宜シウゴザイマス、只今牧野法ノ御話ガアツテ、是ハ八田君ナドガ毎年主張サレタ所デ、私共モ之ニ共鳴シ、昨年ハ滿場一致デ委員會ヲ通過シタノデアル、所ガ本年ハ何故是ガ出セナカッタカ、來年ハ必ズオヤリニナリマスカ

形式デスネ、任意寄附デスカ
○戸田政府委員 御答致シマス、是ハ總テノ俱樂部カラ一律ニ取ツテ居ルノデハアリマセヌ、餘裕ノアル俱樂部デ負擔シテ居ルノデアリマシテ、將來ト雖モサウデゴザイマス、是ハ又今御尋ノヤウニ、現在ハ任意寄附デアリマス、ソレデ將來モ任意寄附デ行クノガマア一番穩當ダト思ヒマス、特ニ必要ガアレバ競馬法第九條ニ依テ命令ガ出來マス、出來マスアレドモ從來ハ任意寄附デアリ、將來モ任意寄附デ済ムモノハ、ソレデ済マセテ宜イト思ヒマス

○菅村委員 此馬ノ繁殖ヲ圖リ、林業ノ發達ヲ維持シテ行キマスニモ、餘程是ハ考ヘナケレバナラスコトハ、此一大放牧地デアリマス、此放牧地、又ハ牧草採取地ト云フモノハ、是ハ馬ヲ育テ

○砂田政府委員 御答致シマス、一言ニ盡セバサウ云フ意思ハ毛頭アリマセヌ、ナイノミナラズ、牧野ノ改良ト云フコトガ馬産ニ非常ニ關係致スト云フコトヲ考ヘル、是ハ菅村君ナリ農林政務次官ナドガ、長イ間唱ヘラレテ居リマス、牧野法ト云フモノヲ作ッテサウシテ徹底的ニ産馬ノ獎勵ニ資スルヤウニト云フコトハ、長イ間ノ御議論デアリマス、此御議論ヲ尊重スル意味デ、成ベク本年ノ議會ニ牧野法ヲ出シタイト思ヒマシタガ、是ハ本年間ニ合ヒマセヌ、併ナガラ此牧野ノ改良ト云フコトガ一番急務ナリト考ヘマシテ、本年度ノ豫算カラ之ヲ認メテ貰ッテ居ル、僅ニ本年ハ三箇月分ヨリアリマセヌガ、明年度カラ是ハ徹底スルヤウニナツテ参リマス、若シ只今御話ノヤウナ營林署ナドデ、ソシナモノヲ減シテシマウヤウナ計畫ガアレバ、是ハ農林省ノ意思デゴザイマセヌ、ドウゾ御遠慮ナク、サウ云フモノガアリマシタラ御知ラセテ願ヒマス

○菅村委員 今ノ參與官ノ御答辯デ滿

○菅村委員 今ノ參與官ノ御答辯デ滿

○菅村委員 今ノ參與官ノ御答辯デ滿

○菅村委員 今ノ參與官ノ御答辯デ滿

○菅村委員 今ノ參與官ノ御答辯デ滿

競馬ノ例ニ倣ヒマシテ、只觀テハ面白クナイト云フノデ、商品券ノ五圓カ三圓——今デハ十圓マデ許可シテアルガ、矢張是モ取締法ヲ餘程嚴重ニヤラスト云フト、是モ射倖的ニ流レ、サウシテ馬ノ改良ハ出來ナイ、娛樂的ニナル、斯ウ云フヤウナコトガ段々瀾蔓シテ來ルノデハナイカト云フ憂ガアルノデアリマス、之ニ對スル取締ノ方法、竝ニ地方競馬ニ出ス馬ハ登録モナケレバ何モナイヤウデスガ、是等モマサカ荷馬車馬モ出サナイノデアリマセウガ、或ハ騾馬ト云フノガアリマスガ、是モ系統カラ言ヘバ陸軍ガ騾馬ヲ使ッテ居ルト云フコトモアルケレドモ、併シ繁殖ト云フコトヲ目的トスル以上ハ、餘リ騾馬ヲ使フノハ結構ナコトデハナイト思ヒマスガ、之ヲ御答ヲ願ッテ置キマス

○砂田政府委員 地方競馬ニ對スル取締ノ事ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、是ハ御説ノ通りノコトヲ屢々聽クノデアリマス、是ハ御承知ノ通り前内閣ノ時代ニ地方競馬ヲ地方廳限リデ認可スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマシタ所ガ、馬產地デナイヤウナ場所デ、一縣ニ五箇所モ六箇所モ出來ルヤウナ結果ガ、却テ全體ノ風儀ヲ紊スト云フ虞ガアッタノデ、農林内務兩大臣ノ一應ノ諒解ヲ得ル稟議ノ了ルマデハ、勝手ニ許可シナイヤウニスル訓令ガ出テ居ッタノデアリマス、此内閣ニナリマシテ農林内務兩省令ヲ、其土地ニ籍ヲ有ス

ル馬デナケレバ出走スルコトガ出來ナイヤウニ改メマシタ、又其勝馬投票ハ一人一枚限リト云フコトデ、其手續上ニ面倒ナ規則ヲ定メマシテ、嚴重ニ取締ルヤウナ農林内務兩省令ヲ出シタ次第デアリマス、段々ニ是ハ改正ヲサレテ來ルモノト考ヘテ居リマスガ、尙ホ取締ノ徹底シナイ點ガアルヤウデゴザイマスカラ、是等ノ點ニ對シマシテハ十分將來トモ注意ヲ致シマシテ、風儀ヲ紊ラナイヤウニ徹底的ニ取締ラスル方針デ居リマス、ソレカラモウ一ツ騾馬ノコトニ付テハ、チヨット私ニハ分リマセヌカラ、誰カ他ノ人ニ代ッテ答辯致サセマス

○戸田政府委員 農林内務兩省令ニ依リマシテ、地方競馬規則ヲ出シテ、從來非常ニ規則ガ簡單デアッタ爲ニ、必要デナイ所ニ無暗ニ殖エ過ギルト云フヤウナ傾向カラ、競馬其モノ、全體ノ運命ニモ關スルト云フコトカラ取締ヲ致シタノデアリマシテ、實ハ今過渡時代ニ在ルノデアリマス、ソレハ施行方法其他ニ付テハ人ニ依テ色々意見ガアルダラウト思ヒマス、是ハ公認競馬ト地方競馬トガ、動モスレバ混同サレル虞レガアルノデアリマスガ、地方競馬ハ地方競馬トシテ健全ナル發達ヲ遂ゲシムルコトニ致スコトガ必要デアリマス、ソレデ今ノ省令或ハ通牒等ニ於キマシテモ、今過渡時代デアアル爲ニ、十分徹底シテ居ラヌモノモ、モノニ依テハアリ

マスノデ、サウ云フ細カイ施行方法等ニ付キマシテハ少シ模様ヲ見マシテ、色々決メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、今直ニ其精神ガ何レニ在リヤト云フコトヲ御答ヘスルノハ、今ノ狀況デハ一寸六箇敷イト思ッテ居リマスガ、追ミサウ云フコトニ付テモ研究ヲ進メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ只今此處デ是カ非カト云フコトヲ御答ヘスルコトハ六箇敷イノデアリマス、此機會ニ一寸先程ノ御質問ニ付テ、參與官カラ御答辯ガアッタノデアリマスガ、若シ誤解ガアッテハイケマセヌカラ、一應私ハ補足致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ競馬協會ガ各俱樂部カラノ釀出シタ金ヲ任意寄附ト言ヒマスカ、產馬助成金ト言ウテ居リマスガ、地方ノ產馬組合トカ或ハ其他ノ馬ニ關係ノアル團體デアリマスとか云フモノニ助成ヲ致シテ居リマス所ノ金ノ釀出方法デアリマスガ、アレハ全部デハアリマセヌガ、一部分ノ百分ノ一トカ百分ノ三トカ云フ、競馬ノ賣得金ニ關係ノナイ方面カラ一部分出サシテ居リマス、ソレカラ例ノ制限外收入金ノ中カラ一部分ヲ出サセルト云フヤウニシテ居リマスノデ、其點ハ一言申上ゲテ置ク方ガ宜イト思ヒマス(此制限外ノ收入ト言フノハ「ト呼フ者アリ」詰リ大穴ノ二百萬圓ト云フ制限ガアル爲ニ、サウ云フ方面ノ組合ノ金ノ中カラ、一部分出サセル仕組ニナッテ居リマス

○野中委員 私ハ此前ニモ農林大臣ニ御質問致シタノデアリマスガ、ドウモ同ジャウナ趣旨デアリマスガ、此競馬法ノ根本ノ問題ニ付テ御尋ネ致シタイノデアリマス、此前ニ農林大臣ハ此馬政計畫ノ百五十萬頭ヲ維持スル必要ガアルト云フヤウナコトニ御説明ガアリマシタガ、私ハ此百五十萬頭ハ必要ガナイト自分ハ考ヘテ居リマス、併シ其前ニ先ヅ陸軍省ト農林省ノ方ニ御伺ヒシタイノデアリマス、一體陸軍省デハ幾頭位軍事ニ於テ減リ、又ハ臨時ニ必要デアリマスカ、ソレヲ御伺シタイ、更ニ又農林省ノ方ニ付テハ產業上幾ラノ馬ヲ保持スルコトガ、現在ノ日本ニ於テ適當デアアルカ、此數字ニ付テ御伺ヒ致シタイ

○砂田政府委員 農林省ノ御尋ノ點カラ御答致シマスガ、百五十萬頭ノ必要ハナイト云フ御議論ハ是ハ御議論デゴザイマス、農林省トシテノ馬政第二期計畫ハ、產業上ノ施設及助長獎勵ト相俟チマシテ、馬ノ増殖獎勵ヲ圖ルコト、合セテ百五十萬頭ハ是非トモ是ガ無ケレバ日本ノ產業又國防上ニ於テ、合セテ是ダケハ是非維持シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○杉山政府委員 陸軍ノ方デ只今平時ニ持ッテ居ル馬ハ約三萬五千デアリマス、是ハ各部隊ガ持ッテ居ル馬デアリマス、其他ニ軍馬補充部デ持ッテ居ル馬ガ七千頭バカリアリマス、是ガ陸軍デ持ッ

テ居ル馬デアリマス、戰時ニナリマス
ト色ニナ輜重トカ大行李ト申シマスモ
ノハ、彈藥糧食ヲ運ビマスノニ總テ斯
ウ云フ駄馬輓馬デ編制シナケレバナリ
マセヌノデ、非常ナ數ガ要リマス、其數
ハ今此處ニ申上ゲ兼ネマスガ、今迄ノ
統計及研究ノ結果ニ依ルト、若シ歐洲
大戰ノヤウナ長イ戰争ガ續クト、四五
年後ニハ百五十萬頭ノ馬ガ悉ク無ク
ナツテシマウ狀況ニナリマスカラ、百五
十萬頭ヨリ尙ホ多クテモ益、陸軍トシ
テハ其必要ヲ感ズル次第デアリマス

○野中委員 只今陸軍ノ御答辯デ、平
時ニ於テハ約四萬二千頭、而シテ戰時
ニ於テハ歐洲大戰ノヤウナ狀態ガ續イ
タ時ニハ、百五十萬頭デモ尙ホ足ラヌ
ト云フ御意見デゴザイマスガ、其場合
ニ於テハドレ位要ルト云フ計算ヲ定メ
ル基礎ヲ何處ニカ求メナケレバナラヌ
ト思フ、又農林省ノ方面ニ於テ百五十
萬頭維持ト云フノガ現在ノ國勢上必要
デアルト云フナラバ、ソレニ對スル算
出ノ基礎ガナケレバナラヌト思フ、其
基礎ヲ先ヅ以テ御答願ヒタイ

○濱田騎兵中佐 御説明申上ゲマスガ、
陸軍ノ只今ノ計算ノ基礎ハ、戰時ノ兵
力編制ニ觸レマスカラ一寸申上ゲ兼ネ
マスガ、歐洲大戰ノ實蹟ニ依テ吾々ノ
信ジテ居ル所ニ依レバ、國內ノ馬ハ其
二割ヲ取ルト最早産業上ニ重大ナ影響
ヲ及ボスト云フコトヲ認メテ居リマス、
ソレカラソレハ唯一時ノ爲ニ申スノデ

アリマシテ、戰争ヲ長期ニ互リ繼續ス
ルコトニナレバ更ニ一層大キナ數ニ
上ツテ、産業トノ兼合ヒガ頗ル困難ナル
事情ニ陷ルト思ヒマス、然ラバ百五十
萬頭デ十分カト云フト、是ハ尙ホ足リ
ナイト思ツテ居ルト云フ只今ノ御説明
ノ如クデアリマスカラ、是ハ又別ノ方
法ヲ考究スル必要モアル、斯ウ云フコ
トデアリマス

○戶田政府委員 御答致シマス、馬政
第二期計畫ハ第一計畫ニ引繼イダノデ
アリマシテ、合セテ三十年ノ計畫ニナ
リマスガ、今日ノ馬政第二期計畫ガ確
立シタノハ、馬政局ガ廢止ニナツテ現在
ニ移ル前後デアッタト思ヒマスガ、ソレ
ハ農林及陸軍ノ方面、ソレカラ貴衆兩
院方面ノ意見ヲ網羅シテ決定ニナッタ
ノデアリマス、併シ其必要馬數トシテ、
少クトモ内地ニ於テ百五十萬頭ヲ維持
スルト云フ問題ハ、一方産業ノ保護ガ
アルト同時ニ、今陸軍ノ方デ御話ニナ
リマシタヤウニ、少クトモ平時ニ於テ
百五十萬頭ハ内地ニ無ケレバ困ルト云
フ國防上ノ要求ガ強イノデアリマス、
戰時ノ關係トカ色々ノ關係ガアリマス
カラ、内容ニ互テハ實ハ軍機ノ祕密ニ
ナツテ居ルヤウデアリマシテ、吾々ノ方カ
ラ申ス自由ハ有シテ居リマセヌ、基礎
等ニ付テハ陸軍ニ於テ御説明出來ルコ
トハ爲サルト思ヒマスガ、サウ云フ關
係ニナツテ居リマス

○野中委員 只今兩省ノ委員ノ方ミノ
御答ニ依リマシテ、漠然トシタ百五十
萬ト云フ數字ノヤウニ私共ニハ思ハレ
マス、何故カト申スト、今仰セラレマシ
タ中デ、戰時ノ場合ニ於テハ内地ニ在
ル馬ノ約二割ヲ用ヒタル時ニ於テハ、
經濟上ニ於テ是レ以上使フコトハ出來
ヌ、而シテ戰争ガ歐洲大戰ノヤウニ續イ
タ場合ニ於テハ、百五十萬デモ尙ホ足
ラヌト云フヤウナ抽象論ト致シマシ
テ、計算ノ基礎ハ何ンダカ知ラヌガ、軍
機ノ祕密ト云フヤウナ中ニ入ツテ、ボン
ヤリトシテ居リマスガ、要スルニ先ヅ
百五十萬ノ頭數ヲ維持スルカドウカト
云フコトニ對シテハ、確然タル基礎ノ
ナイヤウニ思フガ、ソレハ別問題トシ
テ、今度ハ更ニ質疑ヲ進メマシテ、矢張
此前ニ質問シタ通り、此競馬法ガ布カ
レテカラ、競馬ノ馬ガ増加シテ居ル、増
加シテ居リマスガ、普通ノ一般ノ馬匹
ハ減少ノ傾向ガアル、勿論去年ハ一年
間例外デアリマスガ、先ヅ減少ノ傾向
ガアル、是等ハ恐ラク減少スルコトニ
依テ見マスレバ、此馬匹ノ増加ト云フ
モノト競馬ノ増加ト云フモノトノ間ノ
原因結果ニ關係ガナイヤウニ思ヒマス、
ソレデアリマスカラ私自身ニ言ハセル
ナラバ、競馬場ヲ増加スル必要ガナイ
ト思フ、其理由ト致シマシテ、第一ニ今
菅村君ノ言ハレタ通り出走馬數ガ増加
シテ居ラヌ、ソレカラ第二番目ニ一回
出走數ガ時ニ依テ一匹ノ馬ガアルヤ
ウデアアルカラ、斯ウ云フ場合ニ多數ノ

馬ヲ出走サセルヤウニスルナラバ、登
録馬數竝ニ出走馬數ガ多クナリマシテ
モ、競馬場ヲ特ニ増ス必要ハナカラウ
ト思フ、之ニ對スル計算ノ基礎ヲ聽キ
タイト思ツテ居リマス、競馬場ノ増加
ノ傾向竝ニ其場數ヲ之ニ振當テル割合
ヲ伺ヒマス

○戶田政府委員 今御質問ノ點ハ昨日
カラ今日マデニ申上ゲタ積リデアリマ
ス、今ノ出走馬數ハ實際殖エテ居ラナ
イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、
是ハ數字ノコトデアリマスカラ、實際
各俱樂部ノ出走馬數ヲ吾々ノ方デ調べ
テ、數字上出シタニ過ギナイノデアリ
マス、ソレデ昨日ハ餘リ長クナツテ御迷
惑ト思ツテ略シタノデアリマスガ、大正
十三年ニハ出走馬數ガ千二百二十二頭
デアッタガ、大正十四年ニハ千七百九十
二頭、大正十五年ニハ千二百二十二頭、
昭和二年ニハ千二百二十三頭、昭和
三年ニハ千二百四十二頭ニナツテ、一
年モ例外ナシニ年々増加シテ居ルノデ
アリマス、ソレデ出走馬數ガ二千三百
頭餘デアリマス、馬政ノ第二期計畫ノ
上カラ考ヘテモ、少クトモ三千餘頭ノ
出走馬數ハ競馬ニ依テ鍛練スル必要ガ
アルト云フ點ハ、此前ノ時ニモ申上ゲ
マシタヤウニ、今度ノ吾々ノ考ヘマス
ノハ「サラブレッド」ノミヲ考ヘナイデ、
先程カラ他ノ方カラモ御質問モアリマ
シタヤウニ、又陸軍ノ方カラモ御答ガ
アリマシタヤウニ、堅忍持久力ノアル

馬ヲ競馬ニ依テ鍛練スル必要ヲ感シテ居リマスノデ、馬ノ改良上、能力研究上、競馬ニ依テ鍛練ヲ要スル馬ガ、駈足競走障礙競走等ニ於テ約千七百七十頭、速歩競走ニ於テ約七百三十九頭、合計デ二千五百九頭デアリマスケレドモ、之ヲ凡テ競馬ニ出サウトシテモ、是ハ容易ニ出ナイト思フノデアリマス、其處デ此間申上ゲマシヤウニ種牡馬ヤ有力軍馬ノ生産用ノ繁殖ノ補充ノ目的ヲ持ッテ居ルモノデ、之ヲ細カク申上ゲマスレバ、サウ云フ種類ノ馬ハドレダケト云フ見積ガアルケレドモ、總計シタ所デ約千頭ノ馬ハ出場セシムル要ガアルト思フノデアリマス、サウ致シマス

スト十六箇所「ブラス」若干ト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ偶々單走ガアルデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ先程申シマシヤウニ、競馬ノ種類ニ依テアルノデ、是ハ詰リ稀ニアルノデ、東京俱樂部ノ新呼馬ニ多イノデアリマス、特殊ノ原因ニ基クモノデアッテ、關西地方デハ一回ニハ出來ナイ、二十頭以上出マスカラ二回ニ番組ヲ分ケテアルト云フ譯デアリマス、一律ニソレヲ以テ推ス譯ニハ參ラヌノデアリマス

○野中委員 其點ニ付テハ既ニ過日モ質問シマシタガ、ソレカラ更ニ馬ノ頭數ト競馬上ノ關係ニ付テモウ一ツ承リタイノハ、今度日數ヲ増シマシテ六回、私共ガ外國ニ居リマスル間ニ屢々競馬場ニ參リマスルガ、其時ニ於キマシテハ一週間乃至多イ時ニナルト二週間ニ續イテヤル場合ガアリマス、ソレデアリマスカラ、若シ此日數ヲ増加シテ行ッタナラバ、所謂場所ハ増加シナイデモ宜イカト思ヒマスルガ、參考的ニ外國デハドンナ風ナコトデアリマスルカ、又現在ニ於テモ設備ヲ改良シテ行ッタナラバ、同ジ競馬場ニ於テモ尙ホ日數ヲ繰延バセバ競馬場ノ場數ヲ殖ヤサヌデモ宜クハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○砂田政府委員 先刻私ガ申上ゲマシタ趣意ハ、投機心ヲ誘ッテ所謂正業ヲ失フヤウナモノニナッテ居ナイト云フコトヲ、實狀カラ御話申上ゲマシタノデアリマスカラ、投機的心ノモノカ、賭博的ノモノカト云フコトヲ前提トシテ御尋セバ其地方ノ風紀ガ惡クナルデハナイ

○戸田政府委員 例ヘバ佛蘭西ノ例ヲ申シマスレバ、四百何箇所ノ競馬場ガ殆ド百年中ヤッテ居リマス、特殊競走ニ於キマシテモ、今度ノ吾々ノ改正デハ佛蘭西ノ如ク徹底的ニハ日本ノ狀況デハイカヌト思ヒマスカラ、多少理想カラ離レテハ居リマスガ、向フニハ速歩競走ノ專門ノ競馬場、障礙競走ノ專門ノ競馬場デアリマス、サウシテ殆ド年百年中ト申シテモ、一日モ缺ケナシト云フ譯ニハ行キマセヌガ、感ジノ上カラ言ヘバ年百年中ト言ッテモ宜イ程ニヤッテ居リマス、ソレカラ先程申シマシタヤウニ、數字上ノ根據カラ言ヒマス、日數ノ増加ダケデハ足りマセヌノデ、法人ノ増加ト兩方ニナッテ居リマス、サウシテ特殊競走ヲ致スニハ新法人デアル方ガ便宜デ、其實ヲ舉ゲ易イト思ヒマス、ソレカラ既設ノ競馬俱樂部ニ是ダケノ出走ノ機會ヲ與ヘルヤウニ日數ノ増加ヲ致スト云フコトハ、現在ノ狀況ニ於テハ餘程番組ノ編成其他技術的ノ問題、若クハ俱樂部ノ實際ノ實情カラ不可能デアリマス

○野中委員 日數ノ問題ハソレマデニ致シマシテ、更ニ今度ハ場數ノ増加ニ付テ先刻平川委員並ニ佐藤委員カラ御尋ガアリマシタガ、場ノ増加ト云フコトハ或意味ニ於テ投機心ヲ擴ゲルモノデヤナカラウカ、投機的心ノ競爭ヲ擴ゲルモノデハナカラウカ、勿論投機的心ノ問題ニ付キマシテハ、砂田政府委員並ニ泉二政府委員等ガ、ソレハ賭事デハアルガ、犯罪ノ模倣性ヲ缺イタモノデアルカラ、別ニ自分ハ投機的心ノモノダ

トハ思ッテ居ラヌト云フヤウナ御意見ガアリマシタガ、併シ犯罪ノ模倣性ヲ缺イテ居ルニ致シマシテモ、幾分投機的心デアルト云フコトハ事實デアラウト思フ、又砂田政府委員ガ説明シマシタ競馬ノ穴ト云フモノハ、或意味ニ於テ投機的心デナイト云フコトノ一ツノ證明デアルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、ソレハ反對解釋モ取り得ル、穴ガアルカラコソ投機的心ノ傾ニナリ得ルト思フ、是ハ議論ノ岐レル所デアリマスカラ、意見ノ相違ト致シマシテモ差支アリマセヌガ、兎ニ角所謂投機的心ノモノデアッテ、投機ニ類似スルモノデアルト見テ差支ナイモノデアルト思フ、果シテ然ラバ、例ヘバ東京或ハ此近在デアリマスルトカ、名古屋デアルトカ、或ハ富山デアルト云フヤウナ工合ニ、此競馬場ガ擴ガリマシテ、サウシテソレガ擴ガッテ其數ガ殖エマシタナラバ、隨テ其地方ニ於ケル一種ノ投機的心ノ氣分ガ起ルモノデハナカラウカ——涵養セラル、モノデハナカラウカ、此點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○砂田政府委員 先刻私ガ申上ゲマシタ趣意ハ、投機心ヲ誘ッテ所謂正業ヲ失フヤウナモノニナッテ居ナイト云フコトヲ、實狀カラ御話申上ゲマシタノデアリマスカラ、投機的心ノモノカ、賭博的ノモノカト云フコトヲ前提トシテ御尋セバ其地方ノ風紀ガ惡クナルデハナイ

○戸田政府委員 例ヘバ佛蘭西ノ例ヲ申シマスレバ、四百何箇所ノ競馬場ガ殆ド百年中ヤッテ居リマス、特殊競走ニ於キマシテモ、今度ノ吾々ノ改正デハ佛蘭西ノ如ク徹底的ニハ日本ノ狀況デハイカヌト思ヒマスカラ、多少理想カラ離レテハ居リマスガ、向フニハ速歩競走ノ專門ノ競馬場、障礙競走ノ專門ノ競馬場デアリマス、サウシテ殆ド年百年中ト申シテモ、一日モ缺ケナシト云フ譯ニハ行キマセヌガ、感ジノ上カラ言ヘバ年百年中ト言ッテモ宜イ程ニヤッテ居リマス、ソレカラ先程申シマシタヤウニ、數字上ノ根據カラ言ヒマス、日數ノ増加ダケデハ足りマセヌノデ、法人ノ増加ト兩方ニナッテ居リマス、サウシテ特殊競走ヲ致スニハ新法人デアル方ガ便宜デ、其實ヲ舉ゲ易イト思ヒマス、ソレカラ既設ノ競馬俱樂部ニ是ダケノ出走ノ機會ヲ與ヘルヤウニ日數ノ増加ヲ致スト云フコトハ、現在ノ狀況ニ於テハ餘程番組ノ編成其他技術的ノ問題、若クハ俱樂部ノ實際ノ實情カラ不可能デアリマス

○野中委員 日數ノ問題ハソレマデニ致シマシテ、更ニ今度ハ場數ノ増加ニ付テ先刻平川委員並ニ佐藤委員カラ御尋ガアリマシタガ、場ノ増加ト云フコトハ或意味ニ於テ投機心ヲ擴ゲルモノデヤナカラウカ、投機的心ノ競爭ヲ擴ゲルモノデハナカラウカ、勿論投機的心ノ問題ニ付キマシテハ、砂田政府委員並ニ泉二政府委員等ガ、ソレハ賭事デハアルガ、犯罪ノ模倣性ヲ缺イタモノデアルカラ、別ニ自分ハ投機的心ノモノダ

トハ思ッテ居ラヌト云フヤウナ御意見ガアリマシタガ、併シ犯罪ノ模倣性ヲ缺イテ居ルニ致シマシテモ、幾分投機的心デアルト云フコトハ事實デアラウト思フ、又砂田政府委員ガ説明シマシタ競馬ノ穴ト云フモノハ、或意味ニ於テ投機的心デナイト云フコトノ一ツノ證明デアルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、ソレハ反對解釋モ取り得ル、穴ガアルカラコソ投機的心ノ傾ニナリ得ルト思フ、是ハ議論ノ岐レル所デアリマスカラ、意見ノ相違ト致シマシテモ差支アリマセヌガ、兎ニ角所謂投機的心ノモノデアッテ、投機ニ類似スルモノデアルト見テ差支ナイモノデアルト思フ、果シテ然ラバ、例ヘバ東京或ハ此近在デアリマスルトカ、名古屋デアルトカ、或ハ富山デアルト云フヤウナ工合ニ、此競馬場ガ擴ガリマシテ、サウシテソレガ擴ガッテ其數ガ殖エマシタナラバ、隨テ其地方ニ於ケル一種ノ投機的心ノ氣分ガ起ルモノデハナカラウカ——涵養セラル、モノデハナカラウカ、此點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○砂田政府委員 先刻私ガ申上ゲマシタ趣意ハ、投機心ヲ誘ッテ所謂正業ヲ失フヤウナモノニナッテ居ナイト云フコトヲ、實狀カラ御話申上ゲマシタノデアリマスカラ、投機的心ノモノカ、賭博的ノモノカト云フコトヲ前提トシテ御尋セバ其地方ノ風紀ガ惡クナルデハナイ

カト、斯ウ御質問ニナルト、其前提トシテ私共ガ現在ノ競馬ノ状態ヲ見ルト、賭博ト云フモノヲ罰スル趣旨ハ何モ賭ケ事ヲスルコトガ惡イト云フ意味デヤナイ、ソレガ爲ニ己ノ正業ヲ失フコトニナルカラ、政府ガ之ヲ取締ルト云フコトガ本旨デゴザイマス、其危險ニ陷ラシメナイダケノ規則上ノ取締ガアルノト、實際上ニ於テハ先刻申上ゲタヤウニ利益ニナラヌト云フコトニナリマスルカラ、投機ノ所謂賭博根性ヲ持ッテ居ルト云フコトノ實狀ヲ御話シマシタガ、其意味デ私共ハ場所ヲ殖ヤシマシテモ、決シテ是ガ爲ニ正業ヲ失フトカ、其爲ニ地方ノ風紀ヲ紊スト云フヤウナ危險ハナイト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、是ハ私共ハ初メ實際見ル前ニハアナタ方同ジヤウナ意見ヲ持ッテ議會デ演說マデヤツタ、所ガ實際ヲ行ッテ見マスルト云フト、サウ云フモノデハナイト云フコトガ明ニ分ッテ參リマシタノデ、此事ヲ申上ゲルノデゴザイマス、丁度幸ヒ近イ中ニ又競馬モアルヤウデスカラ、一度行ッテ見テ戴クト、非常ニ能ク諒解ガ行ケルト思フ

リトモ利ヲ得ヤウト云フ氣持デ行クノデハナカラウカト思フ、若シ競馬場ヘ入ル人ノ氣持ガ幾分ナリトモ利得ヲ得ヤウト云フ考デアルト、シタナラバ、其意味合ニ於ケル投機ノ氣持ヲ以テ行クノデハナカラウカ、更ニ砂田政府委員ノ言ハレタ競馬ノ穴ガ存在スルノハ、普通ハ此馬ハ勝ツデアラウ、之ニ入レヤウト云フノデ其馬ハ澤山ノ人ガ入レル爲ニ、其馬ガ負ケルト穴ガ開ク、即チ穴ガ開クト云フコトハ所謂投機ノナ分子ヲ除クモノデアルト云フ御話ノヤウデゴザイマスガ、私ニ言ハセレバ、其穴ニ依テ事ニ依タラ餘計ナ收入ヲ得ヤウト云フ考デアリ人ガ、大部分デアラウト思フ、果シテサウ云フモノデアルトスレバ、必要モナイ所ニ競馬場ヲ殖シテ、今マデ競馬場ニ行カナカタ人ニマデ其氣持ヲ及ボスト云フコトハ、或ル意味ニ於ケル投機心ヲ擴大スルモノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ今度ハ此前提カラ出發致シマシテ、所謂投機ノ氣分ヲ持ッテ行クトスルナラバ、ドウシテモ場所ヲ成タケ縮少シテ行クトコトガ宜カラウト思フ、政府ハ此場所ヲモット少クシテモ宜イト云フ御考ハ御持チニナリマセヌデセウカ

○砂田政府委員 野中君ノ御意見ニ依リマス、競馬ヲ許シテ居ルノハイカヌカラ、之ヲ止メタラ宜カラウト云フ結論ニ到達スル、併ナガラ是ハ過日來屢申ス通り、之ニ依テ馬ノ能力鑑定ヲ行ヒ、馬事思想ノ普及ヲ圖ルト云フコトガ目的デ、ソレガ懸テ國防ノ上ニモ影響ガアルトノ意味デ、法規ガ認メテ居ルノデアリマス、隨テ現在ヨリ場所ヲ減スト云フコトハナイ、寧ろ殖シタイト云フ考デ、此案ガ出テ居ルノデアリマス、ソレハ御諒解ヲ願ヒタイ、ト同時ニ私ガ先刻申上ゲマシタ穴ガ出ルト云フコトハ、即チ馬ト云フモノニ對スル思想ガ發達シテ來テ、其ノ結果良イ馬、良イ騎手ヲ狙ッテ買フ人多イカラ、其處ニ穴ガ出來ル、即チ馬ノ思想ガ段々普及シテ來、又賭博ノヤウニ唯見當ナシニ買フモノデナイト云フ一ツノ例證ニ申上ゲタノデ、ソレヲ以テ總テヲ律スルト云フ譯デハナイノデアリマス、サウ云フ傾向ニ在ルコトモ一ツノ見方デアルト先刻申上ゲタノデアリマス、ソレヲ捕ヘテ總テ賭博ニ非ズ、投機心ニ非ズト云フコトハ認メナイ、外國ノ競馬ヲ御覽ニナツタノナラ分リマスガ、外國ノハ本當ノ賭博デアアル、ダカラ一ツ穴ガ開ケバ十圓二十圓ノモノガ何千圓、何萬圓ニナル、サウ云フモノデハ投機心ヲ唆ルコトガアルカモ知レナイ、ソコデ日本ノ法律ハ其邊ニ十分警戒ヲ加ヘ、今日デハ競馬ノ爲ニ正業ヲ失フ者ガナイ、此點ガ現在ノ競馬法ノ喜ブベキ現象デアルト申上ゲタノデアリマス、射倖心ヲ唆リ、風紀ヲ紊スモノデアルト云フ前提ノ下ニ議論ヲ進メラレテハ困ル、是ハ競馬ニ趣味ヲ持チ、實

狀ヲ御覽ニナツテ居ル方ニハナイノデアリマス、私共モ見ナイ中ハ貴方同ジ考デアツタガ、ヤツテ見ルトマルデ反對ノ實狀ダツタノデ、驚イタヤウナ次第デアリマス

○志村委員 私ハ先程ノ質問ノ續ヲ伺ヒマスガ、度々賭博トカ、富籤トカ云フ話ガ出マスガ、變ナ御話ダト思フ、皆様モ實際中山ヘ御案内シテ實地見學ヲシタ方ガ宜イ、併シ政府ノ方モ、社會デサウ云フ風ニ誤解スル人モアルノデスカラ、成ベクサウ云フ誤解ノ起ラヌヤウニ競馬ノ仕組ヲシテ行クト云フコトガ最モ必要ダト思フ、ソレデ監督ヲ嚴重ニシテ、規則ヲ厲行シ、今ノ競馬其モノノ組織ヲ變ヘテ行クトモ必要デアルト思フ、ソコデ第一必要ナコトハ、例ノ速歩競走デアリマス、アレニ馬券ガ付イテ居ルコトハ是ハ大キナ問題ダト思フ、騎乗ニシテモ繫駕ニシテモ非常ニ八百長ガ出來易イ、素人ガ見拔クニハ、一寸困難ナ乗方デアリマスカラ、アレハ一層馬券ヲ廢シタ方ガ良クハナイカト思フノデスガ、政府ニ御意思ガアルカドウカ、續イテ申シマスガ、先日私ハ參考書類トシテ農林省ノ監督官ノ復命書ヲ要求シタ、ソレハ實ハ此爲デアツテ、農林省ノ監督官ガドウ云フ復命ヲ爲サツタカ、ソレガ實ハ見タカッタ、昨年ノ暮ニ名前ヲ露骨ニ申シマスガ、京都デ行ハレタ速歩競走デハ全ク八百長ノ跡歴然タルモノガアル、私ガ仄ニ聞キマ

スレバ、其當時監督官トシテオ出デニ
ナツタ方々モ餘リニ其暴狀ヲ見兼テ、ド
ウモ怪シカラヌト言ハレタヤニ聞イテ
居ル、例ヘバ初日、二日、三日ト最高人
氣ヲ持ッテ居ル馬ガ二著ヲ取ッテ、四日
目ノ優勝「レース」ニ二著ノ權利ヲ買ッ
テ出テ、ソレガ完全ニ優勝シテ居ル、是
等ハ馬ノ狀態カラ言ッテモ、其他ノ狀態
カラ言ッテモ少シモ變ッテ居ナイノデス
カラ、若シ其馬ガ正直ニ騎乗速歩スル
ナラバ、初日ニ當然一著ニ出ナケレバ
ナラヌ、ソレヲ殊更ニ一日、二日、三日
ト三日間引張ッテ置イテ、四日目ニ「チ
ヤンビオン」ヲ取ル、サウ云フ例ハ京都
ノ例ダケデハナク幾多アル、勿論監督
官ハ御認ニナツテ居ルコトデセウカラ、
サウ云フモノニ對シテハ、寧ロ馬券ノ
ナイ方ガ宜イ、動モスルト昨今ノヤウ
ニ色々富籤デアルトカ、賭博デアルト
カ云フ懸念ガ素人ノ間ニ起ッテ來ル、平
川君ナドハ私ハ法理論ヲ知ラナイト言
ハレタガ、此事ハ實際問題デアル、平川
君ハ實際競馬ヲ見タコトガナイコトヲ
悲ム、賢明ナル平川君デアルカラ一遍
見レバスッカリ了解スルダラウト思フ、
ソレデアルカラ農林省デモサウ云フ懸
念ノアルモノハ能ク御調査ニナツテ、監
督ヲ嚴重ニシテ、苟モ競走センガ爲ニ
出場シタ以上ハ、馬ノ全能力ヲ發揮サ
セルト云フ風ニ監督ヲ嚴重ニシテ鞭撻
サセルコトガ、先ヅ第一義デアルト思
フ、ソレ故ニ第一ニ騎乗速歩ニ對シテ

ハ馬券ヲ禁ズル、サウシテ益競馬ト云
フモノヲ神聖ニシテ行ク、サウ云フ意
思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタ
イ

○戸田政府委員 速歩ノ點ハ考方ガ違ッ
テ居リマス、ソレハ今度競馬法ヲ改正
スレバ速歩ヲモット殖ヤサウト考ヘテ
居リマス、今マデハ御承知ノヤウニ一
回デアリマス、俱樂部ニ於テモ馬主ニ
於テモ速歩ト云フモノニ本當ニ理想的
ノモノハナイ、所ガ將來改正ニ依リマ
シテ、此速歩ト云フ競走ガ多數行ハレ
ルヤウニナレバ、無論今マデハ速歩ノ
方ハ第二次のニナツテ居ル爲ニ、小サイ
俱樂部デハ繫駕競走ヲヤラヌ俱樂部モ
アル位デ、理想的デハナイノデアリマス
ガ、是ガ理想的のニナツテ速歩競走ガ一日
ニ數回行ハレルヤウニナレバ、總テノ
今日ノ狀況ガ改善サレルト思ヒマス、
今ノヤウナ點ガ改善サレテ行カナケレ
バ俱樂部ハヤッテ行カレナイヤウニナ
ルダラウト思ヒマス、ソレデ今ハ僅ニ
一回ダケデ、外ノ競走ノ方ガ面白イノ
デ、餘リ重キヲ置カレナイ、隨テ出走馬
モ少ナイト云フ所カラ弊害ガ起ッテ、八
百長ガアルト云フヤウナ場合ニハ、ソ
レヲ制裁スル途ガ十分ニイカナイ、是
ハ出走馬ノ數ガ殖エレバ、入勝競走ノ
際ニ、詰リ二著ニナツタモノハ出走セシ
メナイト云フ風ニ、速歩競走ノ回數ガ
非常ニ多クナリ、隨テ出走馬ガ殖エル
ヤウニナレバ、サウ云フ弊害モ防ゲル

途モ出來ルト云フコトニナリマシテ、
速歩競走ヲ多數ヤラシテ、今ノヤウナ
變態的デナクシテ常態的ニナレバ、ソ
レガ理想デアリマス、今ノ御説ノヤウ
ニ馬券ヲ廢メルノハ一種ノ權道デアリ
マスカラ、サウ云フ方面デナク、積極的
ニ本質的ニ良イ方面ニ進メタイト考ヘ
テ居リマス

ナク、高イ三階カラ全「コース」ヲ見渡
シテ居ル知識アル監督官デモ認メテ居
ル、而モ京都ニ於ケル例ハ一番出場馬
ノ多イ例デスカラ、ソレハ貴方ノ言ハ
レルコトハ腑ニ落チナイ、何故ナラバ
アノ「レース」ノ仕方ガ一番八百長ノシ
易イ騎乗競走トカ繫駕競走ヲ殖シテ、
サウシテ「ノルマン」ナラ「ノルマン」ノ
種類ノ馬ヲ殖シテ行クト云フコトニ於
テ、其「レース」ヲ殖ヤシテ行クトハ
無論私ハ賛成デアルガ、アノ特殊「レー
ス」ニ付テハ寧ロ馬券ガナイ方ガ產馬
ハ慘メナ目ニ合ハナイ、隨テ世間デ競
馬ハ賭博富籤ニ類スルモノデアルト云
フ非難ヲ起サナイヤウニナルダラウト
思フ、寧ロ馬券ガナイ方ガ宜イト云フ
コトハ、是ハ單ニ私一人ノ意見デハア
リマセヌ、大抵「レース」ヲ知ッテ居ル者
ハ同意見ヲ民間デモ唱ヘテ居リマスガ、
其點ニ對スル御答辯ハ如何デスカ、尤
モ今ノ通りノ御答辯ナラバ聽ク必要ハ
ナイト思ヒマス

ハ馬券ヲ禁ズル、サウシテ益競馬ト云
フモノヲ神聖ニシテ行ク、サウ云フ意
思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタ
イ

○志村委員 ソレハ大分實際トハ違フ、
京都ノ繫駕競走、是ハ日本全國ノ公認
十一箇所ノ競馬場ノ中デ、繫駕競走ト
シテ出場馬ノ一番多クカッテアル、
出場馬ガ多ケレバ、サウ云フコトハナ
イト言ハレルケレドモ、出場馬ノ一番
多クカッテアル、私ハ實際論ヲ言フノ
デ、空論デハアリマセヌ、ソレハ何故騎
乗競走或ハ繫駕競走ガ八百長ガシ易イ
カト言ヘバ、馬ヲ引張ルコトハ「キャン
ター」スレバ宜イノデスカラ、ソレハ手
綱ノ加減或ハ騎乗ノ具合デスカラ一番
シ易イ、全方ヲ舉ゲテ馬ガ駆ケテ居ル
時ニ、馬ヲ引張ルト云フコトハ是ハ中
出來ヌコトデアル、ソレ故ニ世間デハ
八百長ト言フケレドモ、普通ノ驅足競
爭ニ於ケル八百長ハ、馬ガ一杯ニ驅ケ
テ居ル時ニハ、中々出來ヌコトダラウ
ト思フ、併ナガラ騎乗及繫駕ニ於テハ
一番シ易イ、是ハ到ル處ノ公認競馬、
東京橫濱ノコトハ別デスガ、地方ニ於
ケル公認競馬デモ、再々耳ニ致シテ居
ル、今實際「レース」ヲ知ッテ居ル人ガ確
ニ斯ウデアルト言ッテ居ルバカリデハ

○戸田政府委員 詰リ、ソレハ私ト貴
方ノ見解ノ相違ニナリマスガ、私ノ申
上ゲタノハ斯ウ云フ意味デス、詰リ速
歩競走ト云フモノハ今全體ニ於テ少イ、
今御話ノ例ニ取ラレタ京都ハ實際多カ
タデハナイカト言ハレマスガ、全體ト
シテ少イト云フ關係カラ、制裁方法ガ
偶々サウ云フコトガアツタ際ニハ——若
シ八百長ト云フコトガ分レバ、騎手ノ
騎乗ノ停止ヲ命ズルト云フコトガアリ

騎乗ノ停止ヲ命ズルト云フコトガアリ

マスクレドモ、今日制裁方法ヲ講ズル
ト云フコトハ、全體ガサウ云フ風ニ進
ンデ來ナイト出來ナイ、其意味デ申上
ゲタノデアリマス、偶々貴方ガ例ヲ御取
リニナッタ京都ハ多カッタラウト思ヒマ
スガ、全體トシテノ速歩競走ハ、外ノ「レ
ース」ニ較ベレバ程度ガ幼稚デアアルノ
デアリマス、サウシテ現状カラ言ッテ十
一回ノ中ニ一回シカナイト云フ狀況デ
アル、且ツ一番初メノ第一回ヲ、ソレニ
用キルト云フ譯デアアルカラ、看客カラ
言ッテモ割合ニ看客ガ少イシ、ソレカラ
回數ガ少ナイノデアリマス、先程申上
ゲマシタヤウニ、將來此「レース」ヲ理
想的ニ行フヤウニナレバ、速歩競走ノ
數モ多クナケレバナラヌ、ソレニ出走
馬モ殖エナケレバナラヌ、又看客ノ目
モズット肥エテ來レバ、所謂胡麻化シモ
自然ニ減ル譯デアリマス、今ノ制裁方
法モ各俱樂部一律ニサウ云フ制裁方法
デ以テ臨ムコトモ出來ルト云フ狀況ニ
ナル、全體ガ進ンダ場合ニサウ云フ方
法モヤリ得ルノデ、非常ニ具合ガ好イ
ト云フ話ヲ申上ゲタ譯デアリマス、其
點ニ付テハ多分御同感デアラウト思ヒ
マス

シナイト思フ、一體日本ノ競馬俱樂部
ハ會員組織ニナツテ居リマス。マスクレドモ、
頗ル是ガ保守的デ、新シイ會員ヲ絶對
ニ、絶對ニト申シマセヌケレドモ、中
許サナイ、サウシテ古イ會員ダケデヤッ
テ居ル、而モ會員デナケレバ馬ハ出セ
ヌトカ、持テヌトカ云フコトニナツテ居
リマスガ、アノ會員ノ範圍ヲ今少シク緩
和シテ、馬ヲ持ッテ居ル者ハ誰デモ競馬
ニハ馬ガ出セル、サウシテ俱樂部ト云
フモノハ今マデノヤウニ餘リ俱樂部自
身ガ儲ケズニ、成ベク其俱樂部ノ儲ケ
ト云フモノハ產馬關係ノ方ニ投出シ、
隨テ又大俱樂部ハ積立金、剩餘金ガ澤
山アリマスカラソレハ確カ政府ニ預ケ
テアルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ
資力ノアル俱樂部ニ向ッテハ、資力相應
ノ納付金ヲ取ッテ、サウシテ又資力ニ於テ
地方ノ公認競馬ノ如キハ、百分ノ二ト
言ハレマシタガ、百分ノ二デモ尙且ツ
負擔ガ重イ、札幌ヤ函館アタリハ一年
ノ賣上ガ百萬圓ニモ足ラナイト云フヤ
ウナ競馬場デ、而モ賞金ガ十萬圓モ出
マスカラ、俱樂部ノ所得ニナル分ハ、入
場料ヤ納付金ヲ引クト、アトハ總テノ
モノヲ合算シテモ、ソレノ純益ハ三萬
カ四萬シカナイ、其三、四萬デ高イ理事
者ノ月給カラ俱樂部ノ費用マデ拂ッテ
行ケルモノデナイ、ソコニ苦シイ所ガ
出來ル、ソレガ競馬ノ上ニ或ル種ノ影
響ヲ及ボシ、ソレガ延イテ世間ノ誤解
ヲ招クト云フコトニナル、其一例トシ

テ今ノ制限外配當資金デアアル、十倍ノ
制限外配當資金ヲ置イタ趣旨、射倖心ヲ
防グ手段ダト云ッテ居ル、ソレガ射倖心
ヲ防グ手段ニナルカドウカハ問題デアリ
マス。マスクレドモ、其反面ニハ非常ナ不合理
ガ含マレテ居ル、何トナレバ制限外配
當金ハ俱樂部ノ所得ニナル、俱樂部ハ何
ノ權利ガアツテ一旦集メタ金ヲ唯一片
ノ法令ニ依テ捲キ上ゲルカ、是ハ非常ニ
沒義道ナ話デ、一方是ハ賭博デナイ、或
ハ射倖心ヲ防止センガ爲ニ設ケタ法令
カ知レマセヌガ、一面カラ見テ、人ノ所
有物ヲ取上ゲルト云フコトハ不都合ナ
話デアアル、殊ニヒドイ例ハ、何萬ト云フ
金ヲ取立テタ中、當選馬ガ僅カ二頭カ
三頭デ、九十九「バーセント」ガ俱樂部
ノ制限外所得ニナツテ、而モソレガ何ニ
使ハレルカト言ヘバ、俱樂部ノ維持費
ニナル、是ガナケレバ俱樂部ハ競馬ノ
純益ダケデハ當然維持ガ附カナイ、維
持ガ附カナイガ、偶々此制限外ノ收入ガ
アルガ爲ニ、俱樂部ハ借金ヲ拂ッタリシ
テ息ヲ吐イテ行ケル、北海道及九州ニ
於ケル一、二ノ公認競馬場ハ、先年マデ
ハ維持ガ中ニ困難デアッタガ、最近ドウ
ヤラヤツテ行ケル、損ヲシテ居ル俱樂部
ハナイト云フ、併シソレハ競馬ノ純益
ニ依テ損ヲセズニ居ルト云フノデハナ
ク、皆御客カラ捲キ上ゲタ制限外ノ收
入ニ依テ息ヲ吐イテ行ケルノデアアル、
隨分無理ナ話デアルト思フ、ソレデア
リマスカラ寧ロ配當方法ヲ「クラッセ

ー」式ニ改正シテ、馬ノ鑑識鑑定ノ上カ
ラ言ッテモ、一著二著ハ、是ハ假令自分
ノ見立テタ馬ガ二著ニナツテモ、其差ハ
一著トノ鼻ノ差トカ、頭ノ差トカ、首ノ
差トカ云フコトデアレバ、其鑑定ノ上
ニハ何等ノ軒輕ハナイ、ソレニ拘ラズ
二著ニナツタガ爲ニ全然落第ニナルト
云フコトハ、是ハ配當方法ガ惡イノデ
アル、ソレハ出場馬ノ數ニ準ジテ一著
二著ヲ、或ハ三著マデ配當スルカ、或ハ
「クラッセー」式ト現行法ト併用スル
ト云フコトニシテ、其配當方法ヲ改メ
ルト云フヤウナ御考ハナイデアリマセ
ウカ、其點ヲ伺ヒマス

○戸田政府委員 御答致シマス、制限
外ノ收入ノ問題デアリマスガ、是ハ此
度ノ競馬法ノ改正ニハ、ソレデナクテ
モ色々一昨日以來御議論ノアルヤウニ、
競馬其モノガモウ少シ發達ヲシテ、一
般ノ誤解ヲ受ケナイヤウナ程度ニ進
デカラデアレバ宜イト思ヒマスガ、今
日ノ狀況デハ、根本的ノ改正ヲシテ、一
人一票ノ主義トカ、或ハ動モスレバ色々
ノ誤解ヲ招ク虞ノアルヤウナ點ニ付
テハ、全ク觸レナカッタ次第デアリマス、
ソレハ他日又サウ云フ機會ガアルカモ
知レマセヌガ、此度ハサウ云フ問題ニ
ハ觸レナイト云フ方針デアリマス、唯
經費ノ不足ヲ補ッテ行ク最少限度ニ止
メタ次第デアリマス、ソレカラ競馬ノ
收入ノ御話ガアリマシタガ、大キナ俱
樂部ニナルト何レモ御説ノヤウニ、一

寸今日マダ中、取り得ルヤウナ狀況ニ至ッテ居リマセヌ、百分ノ七トカ、百分ノ五ハ無理デアリマス、是ハ實際吾ミノ方デ俱樂部ノ狀況ヲ調べテ居リマスガ、百分ノ三マデハ宜イト認メマスガ、百分ノ四トナリマス、色々計算ヲシテ見ルト少シ「マイナス」ヲ勘定ニナリマス、ソレデ百分ノ三マデハ宜カラウト思ッテ居リマス、又斯ウ云フ關係ガアリマス、俱樂部ノ納付金ヲ一舉ニ非常ニ殖ヤスト云フコトガ、今日非常ニ困難ナノハ、比較的大キナ俱樂部ハ、例ヘバ土地ガ借地デアアル、移轉問題ヲ控ヘテ居ルトカ云フコトデ、其方ニ收入ノ一部ヲ積立ヲシナケレバナラス、或ハソレヲ實行スルニハ將來借財ヲシテ、一定ノ期間ニ返スト云フ方針デヤッテ行カナケレバナラス、大キナ俱樂部ハサウ云フ所ニ使ハレテ居ル、若ハソレガ既ニ實行ニナッテ居ル俱樂部デハ、十箇年トカ何箇年トカノ計畫デ、年次割デ償還スルト云フ計畫デヤッテ居リマス、サウ云フ狀況デ、比較的長年ヤッタ結果、金ヲモウ少シ取ッテモ宜イヤウニ思ハレマスガ、今申シマシタヤウナ工合デアリマスカラ、百分ノ三ノ程度ナラ宜カラウト思ヒマス、百分ノ五トカ七トカ云フコトハ、今日ノ實情トシテ無理ナ次第デアリマス、ソレカラ小サナ俱樂部ハ、御説ノヤウニ馬券ノ配當金ノ百分ノ八十五ヲ増シタ、俱樂部カラ言フト隨分苦シイノデアリマス、ソレ

デ入場料ト制限外ノ收入トデ漸ク息ヲ吐イテ居ル俱樂部モ實ハアルノデアリマスガ、サウ云フ俱樂部モ、今度ノ改正ニ依テ、今ヨリ惡クハナルマイ、今ノ程度ニハ行クダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ「クラッセ」ノ御話ガゴザイマシタガ、之ヲ徹底的ニヤルニハ、競馬法ノ改正ヲ要シマスケレドモ、現行ノ競馬法ノ範圍内デ、詰リ一人一票ノ範圍内デ、競馬法ニ觸レナイ程度デ「クラッセ」ヲヤッテ見タイト思ヒマス、是ハ直ニ來年カラ實行シヤウト云フ考ハアリマセヌガ、實ハ一年程前カラ、各競馬俱樂部ノ意見ナドヲ聽キマシテ攻究シテ居リマスカラ、競馬法ニ觸レナイ方法ニ依テ、近キ將來ニサウ云フ方法ガ行ハレルダラウト思ッテ居リマス、併シ是ハ言明致シ兼ねマス、サウ云フ攻究ダケハ致シテ居リマス

○志村委員 尙ホ御伺致シマスガ、先刻出マシタ抽籤馬ニ付テ、私ハドウシテモ今ノ競馬ノ内容ガ過渡的デ、サウシテ頗ル不完全デアルト思フノデス、先程ノ菅村君ノ話デハ、抽籤馬ハ廢メテハ困ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ反對デアアル、抽籤馬ハ過渡ノ施設デアッテ、日本ダケガヤッテ居ル一ツノ過去ノ遺物デアアル、隨テアノ制度ハ寧ロ廢シタ方ガ、産馬地デハ良イ馬ガ非常ニ値ガ良ク賣レルコトニナラウト思フ、ソレハ先程モ單走ノ御話ガアリマシタガ、東京ノ新呼馬デモ單走ガ度々

アッテ、サウシテ戸田サンハ京都ヤ大阪ニハ新呼馬ガ卸サレルト云フ御説明デアッタガ、アレハ間違デ、京都ヤ大阪デ新呼馬ガ卸サレルト云フコトハナイ、小倉デ新呼馬ガ盛ンデアリマス、ソレハ、小倉ハ九州ノ馬産地ヲ控ヘテ居ルカラデアアル、兎ニ角小倉ハ新呼馬ガ盛ンデスガ、御承知ノ通り皆高イ金ヲ出シテ自分デ撰リ抜イテ買ッテ來ル馬デスカラ、賞金モ取レナイ無暗ナ所ヘ出シテ、馬ヲ買ッテ金ノ償却モ出來ナイト云フヤウナ場所ニハ、中々卸シマセヌ、相手馬ニ成ベク勝チサウダト云フ所ヲ狙ッテ卸スノデスカラ、登録馬數ハ何十トアリマスケレドモ、實際卸ス時ニハ、五頭七頭卸スノハ宜イ方デアリマス、ソレハ相手ノ馬ヲ見テ自分ガウント取ラウト云フ野心ガアルカラ、是ハ賞金ヲウント良クシ、サウシテ新呼ノ持主ガ採算シ得ルヤウナ組織ニナレバ、必ズ其新呼ガ盛ンニナッテ新呼ガ盛ンニナラナケレバ本當ノ馬産ノ上ニ好イ影響ヲ持タスト云フコトハナイダラウト思ヒマス、殊ニ最近抽籤馬ノ内容ヲ見マスト、隨分滑稽ナ話ハ例ヘバ會員ガ組合ッテ二十頭ノ抽籤馬ヲ申込シテ、サウシテ其二十頭ヲ抽籤デ分ケラレルト致シマシテモ、一人前千二百圓ナリ千圓ナリ出スト致シマシテモ、其分ケラレタル抽籤馬ト云フモノハ、自分ガ出シタ金ヨリモズント安イ、又下ラナイ馬ガ當ル方ガ多イ、サウシテ其二十頭ノ

抽籤馬ノ中ニ僅ニ一頭カ二頭ズバ拔ケタ良イ馬ガ這入ッテ居ル、是ガ即チ俱樂部ノ經營者ガサウ云フ風ニシテ申込者ヲ引クト云フ一ツノ手デモアリマセウガ、又一面ニハ他ノ俱樂部トノ關係上、何處其處ノ俱樂部ノ抽籤馬ガ名譽ヲ得タト云フ爲ニ、特ニ其一頭ナリ二頭ナリズバ拔ケタ馬ガ來テ交ゼテ置ク、サウシテ會員ハズバ拔ケタ馬ガ取りタイ爲ニ下手ヲスレバ出シタ金ヨリ安イノガ當ルノヲ承知ソレヲヤッテ居ル、サウシテ而モドンナニ名馬ガ出テモ、呼馬ハ抽籤馬ノ中ノ列ニ這入レナイ、而シテ又抽籤馬ノ方ハ呼馬ノ方ノ何處デモ這入ッテ行ケル、デアリマスカラ呼馬ノ持主ト抽籤馬ノ持主ハ非常ニ利益ノ上ニ差ガアル、其證據ニハ呼馬トシテ一萬圓、今買ヒマスレバドンナニ安クテモ一萬圓、一萬圓以下ノ呼馬ト云フモノハ殆ド役ニ立タナイ、先達モ新聞ニ出テ居リマシタ通り、今マデ最高ノ値段トシテ先達西那須野ノ馬ガ三萬圓トカ三萬五千圓トカデ賣レタト云フヤウナ、假ニ三萬圓トシテモ三萬圓ノ呼馬ヲ持ッテ來テモ、其馬ガ一年ニ賞金ヲ得ノ位稼グカト云フト、今マデノ例カラ言ヘバ四萬圓、一年ニハサウハ稼ギマセヌ、二三年ノ間ニ四萬圓、四萬圓稼ゲバ關ノ山、抽籤馬ノ買人ガ千圓ナリ二千圓ナリノ組合金ヲ出シテ、ズバ拔ケタ良イ馬ニ當ルトスレバ、其馬ハ一生ノ間ニ三四年ヲ通ジテ約五萬圓ヲ稼イダ例ハ

デ入場料ト制限外ノ收入トデ漸ク息ヲ吐イテ居ル俱樂部モ實ハアルノデアリマスガ、サウ云フ俱樂部モ、今度ノ改正ニ依テ、今ヨリ惡クハナルマイ、今ノ程度ニハ行クダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ「クラッセ」ノ御話ガゴザイマシタガ、之ヲ徹底的ニヤルニハ、競馬法ノ改正ヲ要シマスケレドモ、現行ノ競馬法ノ範圍内デ、詰リ一人一票ノ範圍内デ、競馬法ニ觸レナイ程度デ「クラッセ」ヲヤッテ見タイト思ヒマス、是ハ直ニ來年カラ實行シヤウト云フ考ハアリマセヌガ、實ハ一年程前カラ、各競馬俱樂部ノ意見ナドヲ聽キマシテ攻究シテ居リマスカラ、競馬法ニ觸レナイ方法ニ依テ、近キ將來ニサウ云フ方法ガ行ハレルダラウト思ッテ居リマス、併シ是ハ言明致シ兼ねマス、サウ云フ攻究ダケハ致シテ居リマス

○志村委員 尙ホ御伺致シマスガ、先刻出マシタ抽籤馬ニ付テ、私ハドウシテモ今ノ競馬ノ内容ガ過渡的デ、サウシテ頗ル不完全デアルト思フノデス、先程ノ菅村君ノ話デハ、抽籤馬ハ廢メテハ困ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ反對デアアル、抽籤馬ハ過渡ノ施設デアッテ、日本ダケガヤッテ居ル一ツノ過去ノ遺物デアアル、隨テアノ制度ハ寧ロ廢シタ方ガ、産馬地デハ良イ馬ガ非常ニ値ガ良ク賣レルコトニナラウト思フ、ソレハ先程モ單走ノ御話ガアリマシタガ、東京ノ新呼馬デモ單走ガ度々

抽籤馬ノ中ニ僅ニ一頭カ二頭ズバ拔ケタ良イ馬ガ這入ッテ居ル、是ガ即チ俱樂部ノ經營者ガサウ云フ風ニシテ申込者ヲ引クト云フ一ツノ手デモアリマセウガ、又一面ニハ他ノ俱樂部トノ關係上、何處其處ノ俱樂部ノ抽籤馬ガ名譽ヲ得タト云フ爲ニ、特ニ其一頭ナリ二頭ナリズバ拔ケタ馬ガ來テ交ゼテ置ク、サウシテ會員ハズバ拔ケタ馬ガ取りタイ爲ニ下手ヲスレバ出シタ金ヨリ安イノガ當ルノヲ承知ソレヲヤッテ居ル、サウシテ而モドンナニ名馬ガ出テモ、呼馬ハ抽籤馬ノ中ノ列ニ這入レナイ、而シテ又抽籤馬ノ方ハ呼馬ノ方ノ何處デモ這入ッテ行ケル、デアリマスカラ呼馬ノ持主ト抽籤馬ノ持主ハ非常ニ利益ノ上ニ差ガアル、其證據ニハ呼馬トシテ一萬圓、今買ヒマスレバドンナニ安クテモ一萬圓、一萬圓以下ノ呼馬ト云フモノハ殆ド役ニ立タナイ、先達モ新聞ニ出テ居リマシタ通り、今マデ最高ノ値段トシテ先達西那須野ノ馬ガ三萬圓トカ三萬五千圓トカデ賣レタト云フヤウナ、假ニ三萬圓トシテモ三萬圓ノ呼馬ヲ持ッテ來テモ、其馬ガ一年ニ賞金ヲ得ノ位稼グカト云フト、今マデノ例カラ言ヘバ四萬圓、一年ニハサウハ稼ギマセヌ、二三年ノ間ニ四萬圓、四萬圓稼ゲバ關ノ山、抽籤馬ノ買人ガ千圓ナリ二千圓ナリノ組合金ヲ出シテ、ズバ拔ケタ良イ馬ニ當ルトスレバ、其馬ハ一生ノ間ニ三四年ヲ通ジテ約五萬圓ヲ稼イダ例ハ

澤山アル、サウシマス投資シタ金ト其馬ノ働イタ金トヲ比較スル、一方ハ僅ニ買入値段ノ二倍カ三倍ニシカ當ラナイ、一方ハ何十倍ニ當ル、サウスレバ三萬圓稼ゲバ三十倍、四萬圓稼ゲバ四十倍ニ當ル、斯ウ云フ風ニナリマスカラ抽籤馬ノ方ガ非常ニ有利デアル、隨ヒマシチ呼馬トシテ良イ馬ヲ買ッテ、サウシテ其割ニ多クモナイ賞金ヲ貰フカラ、呼馬ト云フモノガ段々少クナルカラ、呼馬ト云フモノガ盛ニナッテ來ナイ、呼馬ガ盛ニナッテ來ナケレバ、馬ノ實際ノ馬産ノ上カラ言ッテモ好結果ヲ持ッテ來ナイ、ソレデアルカラ會員ニノミ與ヘラレタ特權ト見ルベキ抽籤馬ト云フモノハ、寧ろ過渡期ノ遺物トシテ今後段々整理シテ行ク方ガ、馬產地ノ爲ニハ宜イダラウト思ヒマスガ、其邊ノ御研究ガアリマスカ、ドウデアリマスカ伺ヒタイ

○戸田政府委員 其點ハ先程御答シマシタ通りニ、理想トシテハ抽籤馬ト云フモノハ、日本特有ノ制度デアッテ、是ハ競馬法制定以前ノ沿革ニ依テ存シテ居ルノデアリマス、或ル俱樂部デハ廢メタ所ガアル、ト云フコトヲ御話シタヤウナ次第デ、理想トシテハ詰リ何ト言ヒマスカ、矢張過渡的ノ制度ト見ルノガ本當デハナイカト思ヒマス、ソレデ極クヤカマシイ理窟ヲ言ヘバ、抽籤制度其モノガ俱樂部ノ内部ニ於テ一種ノ何ト言ヒマスカ、競馬其モノト賭博ト

ノ關係ニ於テ、一昨日以來色々議論ガアッテ、風教上云々ト云フ御話ガアル位デアル、抽籤其モノニハ一種ノ幸不幸ガアリマスカラ、其點カラ言ッテモ非常ニ褒メタ制度デハナイト思ヒマスケレドモ、日本ノ今日ノ競馬法ノ成立チカラ言ヘバ、今直ニソレヲ廢止スルト云フコトハ出來ナイ程度デアラウト思ヒマスケレドモ、理想ヲ言ヘバ將來ニ於テハ全然廢止サレルコトガ本當デアラウト思フ、少クトモ私ハ個人トシテハサウ考ヘテ居ル、デ先程モ御話シタヤウナ譯デ、是ハ或ハソレヲ行政ノ方面カラ言ヘバ、直ニ之ヲドウ斯ウシヤウト云フ所迄十分研究シテ居リマセヌ、現状デハソレヲ直グ廢止スレバ色々ナ點ニ支障ガアリマスノデ、色々攻究ヲ要シマスカラ、是ハ自發的ニ廢メタ俱樂部ニ對シテハ贊成ノ意ヲ表シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今之ヲ一刀兩斷的ニ、廢メル方ガ宜イト云フ風ナコトハ申上ゲ兼ねルノデアリマス、理想的ノモノデハナイト思ッテ居ルノデアリマス

○志村委員 ソレカラ兄弟馬ノ配當ニ付テ御尋シタイノデスガ、今ノ規則ニ依リマススト云フト、兄弟馬ノ配當ト云フモノハ、ソレガ制限ノ適用ヲ受ケナイ場合ニ於テハ何等問題ハ起リマセヌガ——ソレデモ問題ハアリマスケレドモ、大シタ、不合理ハアリマセヌガ、偶々制限ノ適用ヲ受ケタ場合ニ、今ノ現行法ノ何カラ行キマス、先ヅ第一ニ勝ッタ馬ガ制限内ノ配當ダケヲ控除シテ、其控除シタモノヲ他ノ兄弟馬ニ配當スルト云フコトニナッテ居リマスガ、アレハ兄弟馬トシテ同ジ配當ヲスルト云フ趣意ナラバ、兄弟馬ノ賣レ高總額ヲ以テ、總賣レ高カラ其配當ダケヲ控除シテ、サウシテ兄弟馬ニ分ケルト云フ方が合理的デアラウト思ヒマス、恐クハ是ハ其規則ヲ作ル時分ノ立法者ガ思ヒ及バナカッタ結果ダラウト思ヒマス、實際ニ當ッテ實例ヲ引イテ見マス、先達新潟ノ「レース」デ「サンク」ト云フ馬ガ勝ッタ、ソレハ而モ二票シカ賣レテナイ、八百何十票ノ中二票シカ賣レテナイ、所ガ偶々「サンク」ニハ「ビロホ」ト云フ兄弟馬ガアッテ、ソレガ又二票シカ賣レテナイ、ソレデ規則通りニ行キマスト云フト、勝馬ノ「サンク」ニ賣レタ高ノ二票、ソレニ制限ヲ適用シタル四百圓ト云フモノヲ控除シテ其四百圓ヲ兄弟馬ニ配當スルト云フコトニナリマスカラ、兄弟馬ハ合計デ四枚賣レテ居リマスカラ、一人百圓ノ配當デアリマス、是ハ立派ニ規則通りノ配當デアリマス、所ガ八百何十枚、即チ約一萬八千圓バカリ賣レテ居ル中デ、僅ニ四百圓ヲ控除シテ、而モ其配當ヲ受ケタモノガ勢一杯ノ配當ヲ受ケ得ナカッタ、其半額ニシカ及バナイト云フコトハ、所謂競馬「ファン」ニハ決シテ理解アル印象ヲ與ヘテ居ナイ、規則ガ斯ウダカラト言ッテ

ソレヲ直覺シマシテ、一萬八千圓ニ近イ金ノ中デ僅ニ四百圓ヲ配當シテ、サウシテ後ハ全ク俱樂部ガ之ヲ取ッテシマフノデアアル、而モ其四百圓ト云フモノハ四枚ニ對シテ制限ダケノ配當ヲ切メテスルナラバ宜イケレドモ、制限ノ半分ダケシカ配當シナイト云フコトハ、是ハ俱樂部ガ餘リニヒドイナド、言ッテ、是ハ言フ方ガ少シ無理デアラウト思ヒマスケレドモ、人情カラ言ヘバ決シテ無理トノミ言ヘマイト思フ、ソコデ非常ニ「ファン」ガ——觀衆ガ憤慨シテ事務所ニ殺到シタ、事務所デモ弱ッタ、農林省カラハ監督官ガ、御出デニナッテ眼ヲ光ラシテ居ル、サリトテ觀衆ヲ抑ヘルニモ餘リ好イ説明ヲシ得ナイモノデアリマスカラシテ、已ムヲ得ズ俱樂部ニ於テハ仕方ナシニ四枚ニ對シテ二百圓ヅ、ノ配當ヲシタ、定メシ後デ農林省カラ譴責カ何カノ指令ガアッタデアリマセウ、又アッタト云フコトモ聞イテ居ル、サウ云フコトハ規則通りニヤッテ居ルノデアリマスカラ、實際ニ於テ制限外ノ所得ヲ總テ俱樂部ノ所得ニスルト云フコトハ、「ファン」ニ對シテ好イ印象ヲ與ヘナイ、如何ニ競馬ヲ完全ニ發達サセヤウトシテモ、俱樂部ノ當事者トカ、監督官ノ意思トカ、或ハ馬ノ持主トカ、或ハ馬產地ノ意嚮トカ、觀衆ノ意嚮トカ、シツクリ合ハナケレバ、中々競馬ト云フモノハヤッテ行ケナイデアラウト思ヒマス、何處カニ無理ガ

アレバ騒動が起リ易イモノデアリマス
カラ、此兄弟馬ノ配當ノ如キモノハ、兄
弟馬ノ賣レ高ヲ合算シテ總賣レ高カラ
配當トシテ控除シテ、兄弟馬ニ配當シ
ナケレバ合理的デハナイト斯ウ思ヒマ
スガ、其邊ノ御研究ハドウデアリマスカ

○戸田政府委員 今ノ問題ヲ御答スル
前ニ、抽籤馬ノ制度ニ付テ一寸補足ヲ
シテ置キマスガ、抽籤馬ノ制度ニ付キ
マシテモ、現在先程モ申上ゲマシタヤ
ウニ、直チニ之ヲ廢止スルト云フ譯ニ
ハ行カナイト思ヒマス、此制度ヲ維持
スル上カラモ、改善方法トシテハ若干
攻究ノ餘地ガアルト思ヒマス、ソレデ
例ヘバ「アラブ」ノ馬ヲ購入セシメル
ト云フヤウナコトモ、特ニ特殊競走ヲヤ
ルト云フヤウナコトニナレバ、産馬主
トノ關係カラ言ヒマシテモ、一ツノ方
法ニモナルト思ヒマシテ、是モ色々攻
究ノ餘地ハマダ存シテ居ルヤウニ思ヒ
マス、ソレカラ只今ノ御話ハ、非常ニ稀
ナ例ナノデス、實際アッタノダカラ、無
イトハ申シマセヌガ、屢々起ル例デハナ
ク、極ク稀ニ起ル現象デアリマス、ソレ
デ立法ノ當時ニ於キマシテモ、兩方ノ
計算方法ヲ攻究ヲシタノダサウデアリ
マス、唯配當制限ハ、先程モ申上ゲマシ
タヤウニ、サウ云フ所ニ觸レナイデモ、
一昨日以來色々根本問題ノ議論ガ出ル
位ノ狀況デアリマスカラ、サウ云フ根
本ノ問題ニ觸レルモノハ、此度ハ觸レ
ナカッタノデアリマスガ、尙ホ今ノヤウ

ナ特殊ナ場合等ニ付テハ、更ニ審政課
長カラ答辯スルコトヲ御許シテ願ヒマ
ス

○志村委員 只今ノ事ハ配當制限ノ根
本問題ニ觸レルト云フ意味デハアリマ
セヌ、兄弟馬ノ配當方法、之ニ付テノ意
見デアリマスカラ、特殊ナ場合デアリ
マス、一般ノ場合デアリマセヌ、サウシ
テ貴方ガ今仰シヤッタ、私ノ偶々引イタ
例ハ減多ニナイ例ダト云フ御話デスガ、
可ナリ多イノデス、先達テノ横濱デモ
起ッテ居リマシテ、例ノ「プリモス」ト「コ
ーニー」ガ兄弟馬デ出テ居ル、サウシテ
「プリモス」ガ勝ッタ、是ハ當然何百圓ノ
配當ガ附ク筈デアル、所ガ「コーニー」
ト云フ兄弟馬ガ非常ニ多ク賣レテ居
タ爲ニ、僅カニ四十何圓シカ附カナカ
タト云フ例モアリマスカラ、最近デハ
時々起ルノデアリマス、デスカラ兄弟
馬ノ配當ト云フ特殊ナ場合ヲ假想シテ、
是ハ何トカ改善ノ途ガアルダラウト思
フ、ソレカラ今一ツハ兄弟馬ノ名稱ニ
付テ、名稱ト内實トガ一致シナイ例ガ
澤山アル、今ノ兄弟馬ト云フノハ、一
ノ持主ガ持ッテ居ル馬ガ同時ニ同一「レ
ース」ニ出タ場合ニ兄弟馬ト稱シテ居
リマスケレドモ、此兄弟馬ニ對シテハ、
鑑識以外ニ置イテ、何レガ勝ッテモ同ジ
配當ヲスルト云フコトヲ決メテ趣意ト
云フモノハ、兄弟馬デアルカラ、兄ガ勝
ツカ弟ガ勝ツカ、其區別ガ一寸鑑識シ
難イ、隨テ鑑識シ難イモノニ對シテハ、

成ベク競馬「ファン」ニ對シテ損害ヲ與
ヘマイト云フコトガ趣意デアラウ
ト思ヒマス、サウシマス鑑識ノシ難
イト云フコトハ、唯同一人ガ持ッテ居ル
馬ト云フダケデハナイノデ、ソレヨリ
モモット實際ニ於テ鑑識シ難イノハ、同
ジ概念ニ繋ガレテ居ル馬ト云フモノハ、
尙ホ鑑識ガ附キ難イ、名前ノ兄弟馬デ
ナク、實際ノ兄弟馬デアル、甲ノ厩ニ轡
ヲ列ベテ飼ハレテ居ル二ツノ馬ガ、同
一「レース」ニ出ル事ガアル、是ナドハ
全ク鑑識ガシ難イ、而モ觀衆ノ方デハ、
同一厩舍ノ馬デアルト云フコトハ一寸
知り難イ、知り難イガ爲ニ、眞面目ナ
「レース」ヲスルモノダラウト思フト、
一ツ厩ノ馬デアルカラ、一方ヲ犧牲馬
ニシテ一方ヲ勝タセルト云フコトガ往
往アリ勝チナノデアル、往々ドコロデ
ハナイ、殆ド其例デアル、是ハ同一人ガ
持ッテ居ル馬ト云フヨリモ、ヨリ以上ニ
實際ニ於テハ鑑識上困難デアル、是等
ニ對シテハ、兄弟馬同様ノ取扱ヲスル
御研究ガアリマスカドウデスカ

○戸田政府委員 大體ニ於テ稀ナ例ト
思ヒマスガ、屢々起ルヤウデアレバ、省
令以下デ研究ノ出來ル事デアリマスカ
ラ、攻究スル必要ガアラウト思ッテ居リ
マス

カラ増設スルト云フ御話デアリマシタ
ガ、私ハアベコベニ、新シク俱樂部ヲ設
ケタナラバ、ソレニ出ス馬ガ或ハ不足
スルノデハナイイカ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス、實際ニ於テ能力檢定ト云ヒマス
ケレドモ、ソレハモウ御承知ノ通り、後
ヘ種馬トシテ殘スダケノ馬ガ能力檢定
ヲ要スルノデ、一般ノ馬ニ對シテ能力
檢定ヲスル必要ハナイノデアル、或ハ
能力檢定ヲ要スル馬ハ、優秀ナ馬ニ限
ラレテ居ル、隨テ競馬ニ出スノニハ相
當走ルダケノ能力ノアル馬デナケレバ
持主ハ出サナイ、一遍モ賞金ヲ取り得
ナイヤウナ、駄馬ニ等シイヤウナ馬デ
ハ、飼ッテ置イテモ食扶持倒レニナルカ
ラ、サウ云フ馬ヲ出ス氣支ハナイ、俱樂
部デ使用スルニハ、出來ルダケ良イ馬
ヲ安ク探シテ來テ出スノデ、サウナッテ
來マス、現在競馬ニ出シ得ルト思ハ
レルヤウナ馬ガ數アルトシマシテモ、
實際ニ於テ當ッテ見マス、ソレダケノ
馬ハ中々揃ヘルコトガ困難デアル、殊ニ
競馬ニ出シマスノハ、抽籤馬ハ總テ四歲
以上デアリマスカラ、現在ノ馬產地ヲ
巡ッテ見マシテモ、三歲デ良イ馬ハ今殆
ド無イヤウデス、誰カハ大抵豫約シテ
生産者カラ買取ッテ、サウシテ育成所
ヘ皆廻シテアリマスカラ、今俱樂部ガ
新シク行ッテ買ハウトスルト、其育成所
ニ廻シテアル持主カラ買フヨリ仕方ガ
ナイ、サウナッテ來レバ、値段ノ相談デ
アリマスカラ、中々容易ク手ニ入ルマ

難イ、隨テ鑑識シ難イモノニ對シテハ、

イト思フ、ノミナラズ極ク良イ馬ハ中ミ手離サナイ、先達テ私ノ友人ハ、北海道カラ青森ヲ巡リマシタケレドモ、大概極マッテ居ル、何處其處ノドウ云フ系統ノ何處ノ馬ハ誰ガ持ッテ居ル、何處ノ明ケ二歳ノ馬ハ何頭アルト云フ事ハ殆ド極ッテ居ル、而モソレハ明ケ二歳デアル、是カラ來年ノ春ヤルトスレバ、少クトモ今日明ケ三歳ニナッテ居ナケレバナラヌ、明ケ三歳ノ馬デ、是カラ五箇所ノ競馬場ニ補充スルダケノ馬ハ一寸出來マイト思フ、隨テ折角競馬場ヲ拵ヘテモ、馬ガ足ラヌノデハナイカト思フ、殊ニ「アングロ・アラブ」ノ「レース」ヲ特設スルトシマシテモ、「アングロ・アラブ」ノ種族ノ競馬用ノ馬ト云フモノハ何頭モアリマセヌ、先達テ中山デヤリマシタガ、是ハ中山ダケガ單獨デヤッテモ維持ハ出來ナイ、各競馬俱樂部ガ呼應シテ「アングロ・アラブ」ノ「レース」ヲヤルノデナケレバ、其「レース」ト云フモノハ永續シマイト思フ、デアルカラ唯中山ガ英斷ヲ以テヤッタ、中山ダケノ成績ヲ以テ一般ヲ律スル譯ニ行キマセヌケレドモ、少クトモ此間中山デヤッタ状態カラ見マスレバ、初日ノ登録馬數ハ慥カ十二頭デアリマスケレドモ、出タ馬ハ五頭カ六頭、ソレガ段々減ッテ四日目ニハ登録馬數ハ十五頭アリマシタケレドモ、出タ馬ハ僅ニ三頭、而モ其間ノ勝負ト云フモノハ、誰ガ見テモモウ決マッテシマッテ勝負ハ單調デアル、

四日目ニハ偶然ニモ大穴ガ出マシタケレドモ、是ハ一種ノ天災デ、勝ツベキ馬ノ「ジョッキ」ガ泥田ノ中ニ馬ノ脚ヲ突込シテ、自分ノ眼ニ泥ガ入ッタモノデアルカラ、馬ヲ御スル事ガ出來ナクテ負ケタト云フノデ、勝負ガ非常ニ單純デアル、勝負ガ單純デアルト、延イテソレニ對スル賣レル馬券ガ少クナッテ來ル、隨テ政府ノ豫想サレタ百八十七萬圓ト云フモノガ段々減ッテ來ル、其邊デモ私ハ此收入ガ減ルト云フ事ヲ懸念シテ居ル、デアルカラ先ヅ收入ノ問題ハ別トシマシテモ、「アングロ・アラブ」ノ「レース」ヲ置クトシテモ、其馬ガ今果シテ「レース」ヲ置クダケノ數ガアルヤ否ヤ、又「アングロ・アラブ」ニアラザル一般ノ「レース」ヲ新設スルニシマシテモ、ソレヲ補充スル馬ガアルヤ否ヤ、一競馬場——此競馬法ニ依リマシテモ、新設ノ「レース」ト云フモノハ少クトモ一組十五頭以上ナケレバナラヌ、サウシマスト春秋二期ヲ通ジテ一俱樂部デ新シイ馬ガ三十頭ナケレバナリマセヌ、五箇所デアレバ百五十頭デアルカラ、少クトモ二百頭ノ馬ガナケレバナラナイノデスガ、明ケ三歳ノ馬或ハ明ケ四歳ノ馬デ、初メテ競馬ニ出ス新シイ馬ヲ二百頭、實際ニ於テ揃ヘ得ラレルヤ否ヤ、甚ダ其點ハ懸念ニ堪ヘナイノデスガ、政府ノ御調ベハドウナッテ居リマスカ

○戸田政府委員 其點ハ吾々ノ方デハ、種馬ノ増ス生産力、種付ノ數、其他馬產地ノ狀況ヲ種々馬產課デ見テ居リマスガ、是カラ推シテ、サウ云フ懸念ガナイト思ヒマス、詳シクハ馬產課長カラ御説明スルコトヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、或ハ過渡時代トシテ、施行ノ第一年位ハ巧イカヌカトモ思ヒマスガ、大體ニ於テ御心配ガナイト思ヒマス、又一步ヲ譲リマシテ、假ニ一兩年拙イト致シマシテモ、國防上ノ見地ナリ、馬政上ノ見地カラ、サウアラシメタイト思ッテ居リマス、假令餘程讓歩シテ考ヘマシテ、二年ナリ三年ナリハ拙イニシマシテモ、數年ナラズシテ十分巧ク行ク見込デアリマス、ソレハ餘程讓歩シテノ論デアリマシテ、確ニサウ云フコトハナイ積リデアリマス

○横屋馬產課長 現在ノ平地競争ニ於テ、現行ノ「サラブレッド」萬能ト云フ意味カラ、「サラブレッド」ノ系統ノ馬ヲ以テ、將來新設五箇所ニ及ブト云フコトニナレバ、或ハ志村サンノ御話ノ通りニナルカモ知レマセヌ、併シ若シ之ヲ「サラブレッド」系統ノ馬ヲ、私ノ私見トシマシテ、新呼ビ馬ノ方面ニ廻シテ、現行ニ於ケル所ノ抽籤新馬ノ制度ヲ「アングロ・アラブ」競争ト云フ方ニ向ケタトシマシタナラバ、我國ニ於ケル現在頭數カラ見テ、決シテ御懸念ノアルヤウナコトハナカラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス、極ク簡單ニ其事ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、現在ニ於キマス所ノ「サラブレッド」ハ、種馬ノ頭數カラ申シテ見マス云フト、種馬ハ現在百五十三頭デゴザイマス、此中外國產ガ四十二頭、內國產ガ百十一頭、是ハ全國ニ於ケル種牡馬ノ頭數カラ參ッテ居リマス、尙ホ「アラブ」ガ三十頭、其中外國產十七頭、內國產十三頭、「アングロ・アラブ」ガ百二十三頭、「ギドラ」ガ九十一頭、昭和二年末現在ニ於キマシテゴザイマス、我國ニ於ケル馬產ハ、二十七八年戰役後ニ於キマシテ、濠洲カラ入レタ馬ヲ以テ馬匹改良ニ資シマシタ關係上、其種牡馬ガ千五百九十三頭、其中デモ輕種系ノ頭數モ相當ゴザイマス、極ク簡單ニ結論ヲ申上ゲタイト思ヒマス、最モ新シイ所ノ昭和三年ニ於キマシテ、全國ニ於ケル「サラブレッド」系統ノ種牡馬、純血「サラブレッド」デアリマスガ、「サラブレッド」ノ種附頭數ヲ見マシタ所ガ、鹿兒島種馬所管内ノ分ガ成績ガ分リマセヌ、ソレカラ沖繩縣ニ於ケル分ハ殆ドナカラウト思ッテ居リマスガ、百二十五頭ノ種牡馬ニ依リマシテ五千四百五頭ノ種附ヲ了シテ居リマス、ソレカラ東北ニ於ケル、昨年ニ於キマス「アラブ」、「アングロ・アラブ」、「ギドラ」ノ種牡馬ノ種附頭數ヲ見マス二百三十頭ノ種牡馬ニ依リマシテ一萬四百六十七頭ノ種附頭數ガアルノデアリマス、吾々ハ二歳ノ東北地方、或ハ北海道ノ如キ、又九州方面、長野縣ノ西筑摩郡ノ西部ニ於テハ、當歲ノ糶ニナッテ

居リマス、二歳ノ糶デ種附ヲ了シテ居リマスガ、假ニ一萬頭アリマス、當歲ノ時ニ種々ノ病氣トカ、或ハ流産ト云フコトデ少クナリハ致シマスガ、假ニ多クノ場合ニ於テ、五十「パーセント」ハ二歳デ市場ニ出ルト云フコトガ、從來ノ經驗カラ見ルト殆ド當ツテ居ルト考ヘテ居リマス、詰リ「サラブレッド」ノ種牡馬ハ、國有ノ種牡馬ト、民有ノ種牡馬トアリマシテ、國有種牡馬ハ七十八頭アリマスガ、民有モ略々同數アリマシテ、純血「サラブレッド」ノ種牡馬トシテハ百四五十頭在ルノデアリマス、是カラ考ヘマス、現在十一箇所ノ競馬場ニ駈ケテ居ル馬ハ五千四百五頭デ、其中デ鹿兒島ノ民有ノ種馬所モ入レマシテ三千内外ノ馬ヲ生産シテ居ルノデアリマスガ、今後「アラブ」、「アングロ・アラブ」、「ギドラ」デ申シマス、丁度種付頭數モ倍數ニナリマシテ、一萬四百六十七頭、詰リ五千頭バカリ「アラブ」、「アングロ・アラブ」ノ競走ニ參加スルコトガ出來ルヤウニナリマス、我國ニ於ケル軍部ノ御要求ノ乘馬ト申シマスモノハ、中間種系統ノ重乘馬方面モアリマスガ、此方面ハ輕種系統ノ「アングロ・アラブ」ノ型ヲ持ッテ居ルモノヲ以テ乘馬トシタイト云フ御希望モアリマシテ、此方面マデ能力鍛練ヲシテ、其種牡馬ノ蕃殖ニ貢獻スルト云フコトハ、詰リ競馬デ駈ケル馬匹ノ範圍ガ——各競馬俱樂部デ御買ニナル上カラ言ッテモ、購

買ノ範圍ガ廣クナルヤウニ考ヘテ居リマス、尙先程ノモノハ種附頭數カラノ推定デアリマスガ、更ニ之ヲ前年ノ昭和二年ニ於キマス實蹟カラ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、昭和元年ノ種附ガ四千六百七十七頭アッタデゴザイマス、其生産頭數ガ二千六百二十三頭、今マデノ昭和元年、二年頃ニ於テハ丁度數字ガ此位ニナツテ居リマスガ、是ガ詰リ「アラブ」、「アングロ・アラブ」、「ギドラ」ノ、斯ウ云フ方面ニナリマス、種附ハ一萬四千一百一十一頭、子供ノ方ハ五千六百六十九頭、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマシテ、丁度昭和二年ニ於キマシテ生レタ數モ、昭和三年ニ於テ生レタ數モ「アラブ」、「アングロ・アラブ」、「ギドラ」系統ノ馬ハ、「サラブレッド」ノ系統馬ノ約倍以上ニナツテ居リマスガ、是ダケノモノガアリマスカラシテ、此處デ競馬番組編成ノ方法ヲ變ヘタナラバ決シテ馬ニ對シテノ御心配ハナイデヤナイカ、當局トシテハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○志村委員 實ハ私ハマダ不審ノ點ヲ御聽キシタイノデアリマスケレドモ、餘リ長クナリマスニカラ、今一ツダケ御尋シテ質問ハ全部打切りタイト思ヒマス、ソレハ最後ニ競馬俱樂部ノ會員組織ノ狀態ガ、組合ニ依リマシテハ中々新會員ヲ、容易ニ許サヌノデアリマス、而モ一面ニハ會員ニアラザレバ馬ヲ出スコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、會員ニアラザレバ馬ヲ出スコトガ出來ナイト云フコトハ、廣ク會員ヲ全國ニ募ツテ、全國ニ馬事思想ヲ普及スルト云フコト、第一矛盾スルコトデアラウト思フ、併ナガラ實際ニ於テハ可ナリノ人ガ馬ヲ出シテ居ル、ソコデ一方ノ俱樂部ノ方ハ、會員ノ範圍ヲ中々殖ヤサナイ、無論會員ヲ選擇スルト云フ必要ハアリマセウガ、申込者ヲ無制限ニ許スト云フコトハ困難デアルノミナラズ、俱樂部組織自體ヲ低下セシムル虞ガアルカラ、會員ノ質ヲ選擇スルト云フコトハ無論必要デアリマセウケレドモ、程度以上ニ餘リニ嚴格嚴重ニ過ギル爲ニ、一方デハ馬ヲ出シタイ、併ナガラ資格ガナイト云フ爲ニ、會員ノ名前ヲ借りテ、他ノ者ガ馬ヲ出シテ居ルト云フコトハ事實ニ於テ往々吾々ノ認メテ居ル所デアル、ソレデアルカラ今少シ俱樂部ノ方デモ會員ノ選擇ニ對シマシテハ嚴重ナル檢査ヲスルト云フコトハ、宜シイデスケレドモ、今マデノヤウニ、何デモ彼デモ新シイ會員ハ容易ニ許サナイト云フコトデナク、相當ノ者カラ會員ノ申込ガアツタ場合ニハ十分調査ヲシテ此人ナラバ會員ノ名譽ヲ毀ケルコトハ無カラウト云フヤウナ、或ル程度ノ御見込ガ付イタナラバ、成ルベク俱樂部ノ新加入者ヲモ許スト云フ風ニ、是ハ農林省ノ關係デハアリマセスケレドモ、農林省ハ監督官廳ノ立場トシテ、サウ云フ御方針デ俱樂部

ヲ鞭撻シテ行カレタナラバ、益々競馬ト云フモノガ盛ンナリ、一方ニハ各種ノ團體ヲ統一シ、例ヘバ先達ヲ此競馬法ノ改正ニ對シテ、農林省ガ諮問サレタ馬政委員會ノ會議ノ如キモ、其内容ヲ洩レ聞キマスレバ競馬俱樂部ハ寧ロ此増設ニ反對シタト云フ話デアル、是ハ頗ル矛盾シタル、無理解ナル反對ダラウト思フ、サウシテ一方デハ馬匹協會ノ方ハ大賛成デアル、兩方ノ會長ヲ兼ねテ居ル松平賴壽君ガ、兩方ノ板挾ミニナツテ辭メラレタノデアリマスガ、競馬場ノ増設ニ競馬俱樂部自體ガ反對スルガ如キハ、競馬ヲ解セザルモ甚シキモノダト私ハ考ヘザルヲ得ナイ、甚ダ遺憾デアル、サウ云フ俱樂部ガマダ存置シテ居ル今日デアリマスカラ、餘程農林省ハ鞭撻シテ行カナイト、眞ノ競馬ト云フモノ、實ガ擧ラナイ虞ガアル、ソレデアルカラ其邊ニ對シテハ、農林省ハ特ニ御留意下スツテ、會員組織ノ範圍ヲ廣クシ、或ハ進ンデ競馬協會ナドハ廢メテ是ハ國營デヤツタ方が宜イト思フ、本當ニ國防上經濟上止ムヲ得ザルモノナリト云フ前提ガアルナラバ、是ハ進ンデ國營ニシテ、國デヤツテモ宜イ位ノモノダラウト思フ、所ガ今ノ競馬俱樂部ハ俱樂部自體ガ是ニ反對スル、ソレナ馬鹿ナ話ハナイ筈デアル、實ニ自己本位、俱樂部本位ニナツテ居ル、競馬俱樂部ガ反對シタノハ、方々ニ俱樂部ガ出來ルナラ、自分ノ俱樂部

ノ殷盛ヲ殺ガレル、サウ云フヤウナ自
己本位ノ邪説ハ大ニ農林省ノ方カラ監
督シテ、サウシテ此競馬ノ内容ノ改善
ト云フコトニ最モ力ヲ注ガレテ、サウシ
テ内容ガ充實シタカラ、是デハモウ其
外ニ獎メテモ差支ナイ、斯ウ云フコト
デナケレバ増設ノ意味ヲ爲サヌ、足元
ノ定マラナイ中ニ、無暗ニ先キニト
出テハ尺蠖ニ笑ハレテシマフ、足元カ
ラ先キニ出ナケレバイケヌ、先ヅ農林
省ハ自分ノ足元ニアル競馬俱樂部ヲ大
ニ鞭撻指導シテ、其内容ヲ改善サレタ
イト云フコトヲ希望シテ私ハ此質問ヲ
打切りマス

○東政府委員 只今ノ志村君ノ説ハ至
極同感デアリマス、吾々ハ何モ別ニ強
ヒテ此改正案ヲ理由ナシニ出シタ譯デ
ハナイ、全ク只今ノ御意見ノ通り、我國
ノ國防、産業上ノ見地カラ、一ツ理想的
ニ競馬ヲ改善シタイ、サウシテ同時ニ
吾ガ産業國防ニ副フダケノ理想ヲ實現
シタイト云フ爲ニ、此法案ヲ提出致シ
タノデアリマスカラ、只今ノ御意見ハ
能ク拜聴シテ置キマス

○内野委員長 野中君ト田中君、平川
君ニ御相談デスガ、アナタ方ガ御出デ
ニナラナカッタガ、此委員會デ質問ハ今
日デ打切り、次回ニハ討論ニ入り採決
スル、斯ウ云フコトニ決議サレマシタ、
ソレデ此大ニナリマス、時間ノ關係
上十分ノ質問ガ出來ナイコトニナルカ
モ知レマセヌカラ、ドウゾ六時マデ

辛抱シテ戴キタウゴザイマス

○野中委員 マダ質問ノ通告者モアリ
マスカラ、十三日ノ午後一時カラ委員
會ヲ開イテ質問ヲ繼續ナスツテ、其日ニ
討論ヲナサレンコトヲ望ミマス

○内野委員長 豫算ノ關係ガアリマス
カラ、其前ニドウシテモ決メナケレバ
ナラヌ、ドウシテモ十二日ノ午前中ニ
決メナケレバナラヌ、サウ云フ關係デ
スカラ、若シ簡單デアレバ質問ヲ願ヒ
タイ、若シ長クナレバ途中デ打切りマ
スカラ御承知ヲ願ヒタイ

○田中委員 昨日政府委員ヨリ百分ノ
三以内ト云フ答辯デアリマシタガ、色々
狀況ヲ斟酌シテ、百分ノ三若クハ百
分ノ二ニスル考デアル、斯ウ云フ事デ
アリマシタ、而シテ其斟酌ヲスル標準、
百分ノ二若クハ百分ノ三ニスル其標準
ト云フモノガ、勅令若クハ省令デ新ニ
規定スルノデアリマス、農林省ノ手
心デヤルノデアリマス、其點ヲ伺ヒ
タイ

○戸田政府委員 ソレハ何レ省令デ公
示スル形ヲ取ル考デアリマス、各俱樂
部デ勝手ニ、オ前ノ所ハ幾ラ、オ前ノ所
ハ幾ラト云フコトデナク、標準ヲ定メ
テ、何百圓以上ハ百分ノ三、何百圓以上
ハ百分ノ二ト云フコトニナルダラウト
思ヒマス、確定的ノコトハ申上ゲラレ
マセヌガ、大體サウ云フ標準ニナルデ
ヤナイカト思ヒマス、何レ省令デ規定
スルト云フコトニ多分ナルダラウト思

ヒマス、箇々ノ俱樂部ニ勝手ニオ前ノ
所ハ幾ラト云フコトデナク、一般
ノ標準ニスル、少ナクトモサウ云フ定
メ方ヲスル積リデアリマス

○田中委員 ソレカラ志村君カラ寄附
ノ問題ガアリマシタガ、任意寄附ト言ッ
テモ、オ前ノ方ハ此位ト云フ内意ヲ通
ズルノデハナイノデセウカ、唯自分ノ
懷ロヨリ、本當ノ意味ニ於テノ任意ニ
出スト云フコトハ受取レナイノデスガ、
其關係ハ如何デスカ

○戸田政府委員 ソレハ競馬法ノ通過
ノ時ノ沿革ガアリマシテ、馬券ガ禁止
ニナツタ爲ニ非常ニ困ツテ、俱樂部モ困ッ
タケレドモ、馬產地モ困ツタ、競馬法ガ
通過ニナツタノデ、競馬關係者ガ相當餘
裕ガアレバサウ云フコトヲスルノガ宜
イト云フコトヲ考ヘテ居ルノデス、サ
ウ云フ者ニ對シテハ餘裕ガアッタノデ、
ソコデ是モ金額ハ段々變テ來テ居リ
マスガ、初メノ五萬圓ガ十萬圓トナリ、
追々出スヤウニナツテ、今ハ約七十萬圓
内外ト思ヒマスガ、競馬協會、競馬俱樂
部——直接馬券產地カラ畜産組合ニ出
シテ居ルモノモアリ、ソレカラ馬匹協
會ヲ經テ——馬匹協會ガ金ヲ貰ツテ事
業ヲシテ居ルノモアリマス、ソレカラ
凡ソドウ云フ風ニ使ウガ宜イカト云フ
コトハ、農林當局ノ方デ、便宜其案ヲ作ッ
テ貰ヒタイト始メノ頃希望ガアリマシ
タノデ、詰リドウ云フ所ヘ使ハセルガ
宜イカト云フコトノ、參考案見タヤウ

ナモノヲ農林當局ノ方ヘ頼ンデ作ッテ
貰ツテ、ソレヲ協會デ協議シテ決メマス、
サウシテ又其金ノ實際ノ出シ方ハ、各
俱樂部ニ依テ負擔能力ガアリマスカラ、
各俱樂部ノ話合ニ依テ決メマス、サウ
云フ狀況ニナツテ居リマス

○内野委員長 次回ノ開會ノ時日ハ公
報ヲ以テ御知セシマスガ、先ヅ十二日
ノ午前十時カラヤル豫定デゴザイマス、
其時ニハ質問ノ殘リト討論、ソレカラ
採決ヲ致シマス、其御準備ヲシテ戴キ
タイト思ヒマス、今日ハ是デ散會
午後五時二十二分散會

昭和四年二月九日印刷

昭和四年二月十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社